春日市総合戦略に関するアンケート調査

調査結果報告書

目　次

Ⅰ　調査の概要 4
１．調査の目的 4
２．調査の概要 4
３．報告書の見方 4

Ⅱ　市民アンケート調査結果 5
１．基本属性 5
２．現在の就労状況について 7
３．就職・転職・再就職・起業の意向について 12
４．結婚の状況や意向について 17
５．子育て中の男女の働き方について 23
６．春日市の住み心地について 24
７．地域の活動について 30
８．男女共同参画に関することについて 31
９．春日市の人口減少問題について 32
10．自由回答 34

Ⅲ　転入者アンケート調査結果 49
１．基本属性 49
２．春日市への転入について 50
３．自由回答 56

Ⅳ　転出者アンケート調査結果 60
１．基本属性 60
２．春日市からの転出について 61
３．自由回答 66

Ⅴ　事業者アンケート調査結果 69
１．基本属性 69
１．春日市内での事業活動について 71
２．働き方改革について 74
３．子育て世代の社員の勤務や雇用状況について 76
４．現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進について 78
４．新技術・高度技術の導入や国際化について 80

Ⅵ　調査票 82

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

「第３期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に関する基礎資料として、市民や市内事業者を対象に結婚や出産、子育て、就労、住まい等に関する意向や行政サービスに対する意見を収集するために実施しました。

２．調査の概要

■ 調査内容

調査地域	**春日市全域**
調査対象者	**（①一般市民）春日市内に居住する 18 歳以上の男女** **（② 転入者 ）春日市に転入した人** **（③ 転出者 ）春日市から転出した人** **（④ 事業者 ）春日市内に立地する事業者**
抽出方法	**住民基本台帳から無作為抽出**
調査方法	**調査票を使用した郵送によるアンケート調査（無記名式）** **※web からのアンケート回答システム併用**
調査期間	**（発送）令和６年７月８日** **（投函締切）令和６年７月 31 日**

■ 回収結果

	一般市民	転入者	転出者	事業者
発送数	**2,000 件**	**500 件**	**500 件**	**500 件**
有効回収数	**766 件** （郵送： 605 件） （Web：161 件）	**154 件** （郵送：97 件） （Web：57 件）	**153 件** （郵送：110 件） （Web：43 件）	**120 件** （郵送：99 件） （Web：21 件）
回収率	**38.3%**	**30.8%**	**30.6%**	**24.0%**

３．報告書の見方

（１）回答は、各質問の回答者数（計）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第２位を四捨五入しているため、比率の合計が100%を超える場合がある。なお、回答率は小数点以下第２位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

（２）複数回答を求めた質問では、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。

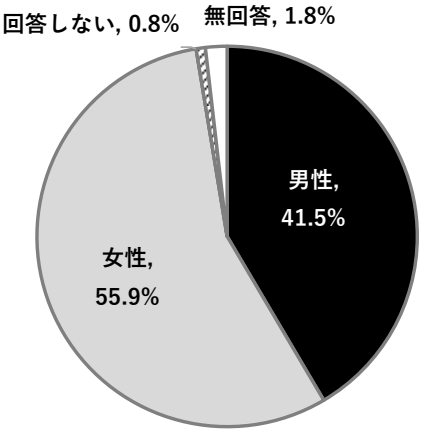
（３）数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。

N＝標本全数　　n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）

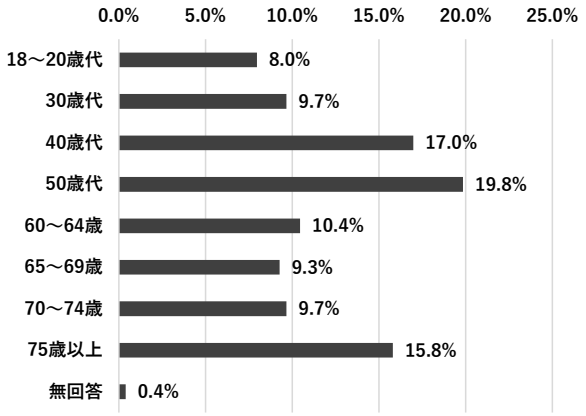
Ⅱ　市民アンケート調査結果

１．基本属性

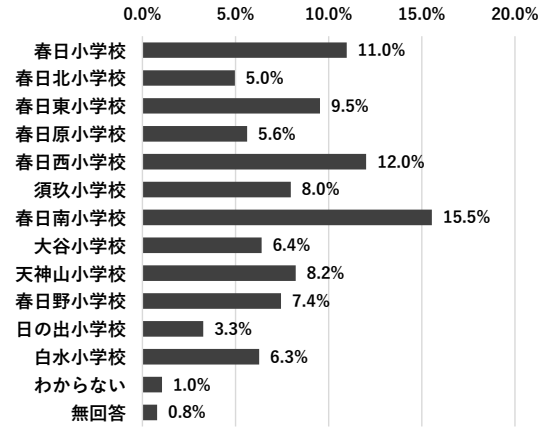
①　性別　(N=766)



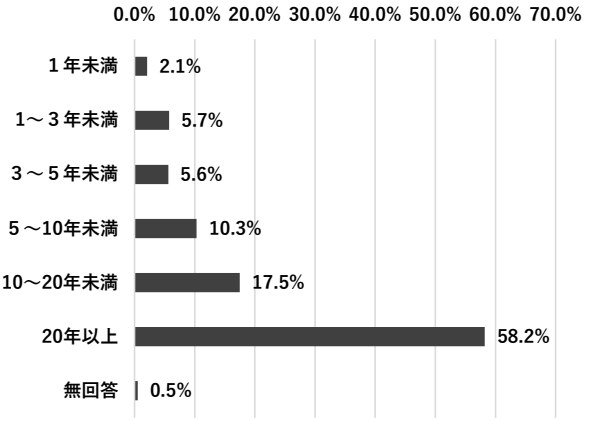
②　年代　(N=766)



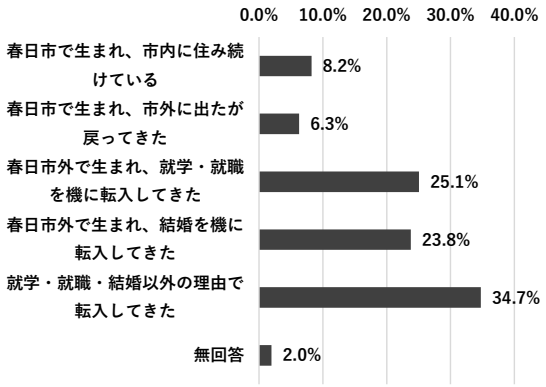
③　住まいの小学校区　(N=766)



④　春日市における居住年数　(N=766)

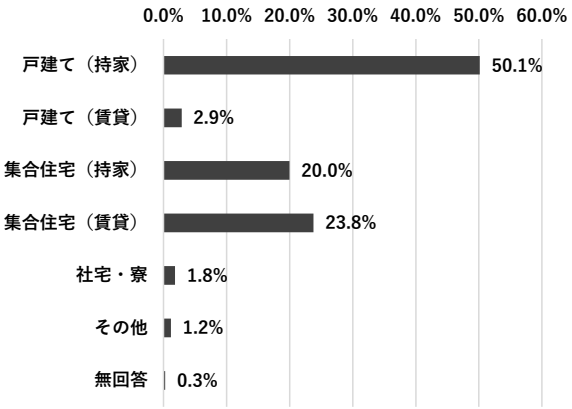


⑤　転入の有無　(N=766)

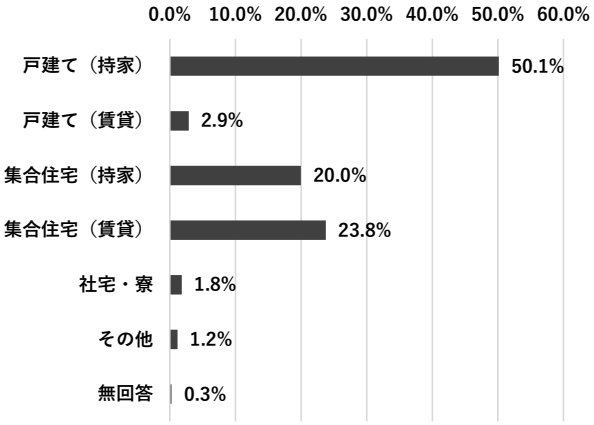


（就学・就職・結婚以外の主な理由）
住宅購入、家族の転勤、家族の介護　等

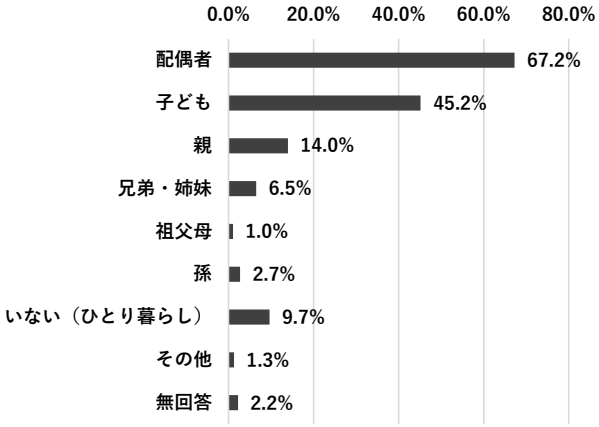
⑥　住居の種類　(N=766)



⑦　同居家族の構成員数　(N=766)



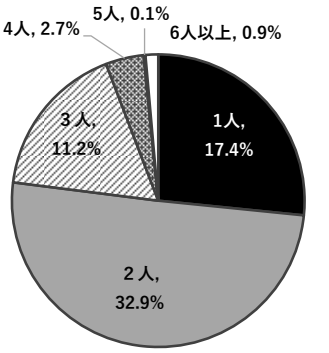
⑧　同居者　(複数回答　N=766)



⑨ 子どもの人数(同居の有無に関わらず　N=766)

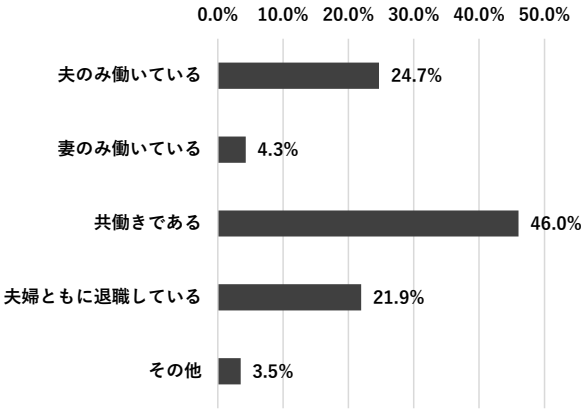
	1人	2人	3人	4人以上
未就学児	6.1%	3.5%	1.0%	0.0%
小学生	8.5%	2.3%	0.3%	0.0%
中学生以上の学生	9.8%	6.9%	1.2%	0.0%
社会人	14.2%	19.6%	6.8%	0.8%

【子どもの人数（合計）】

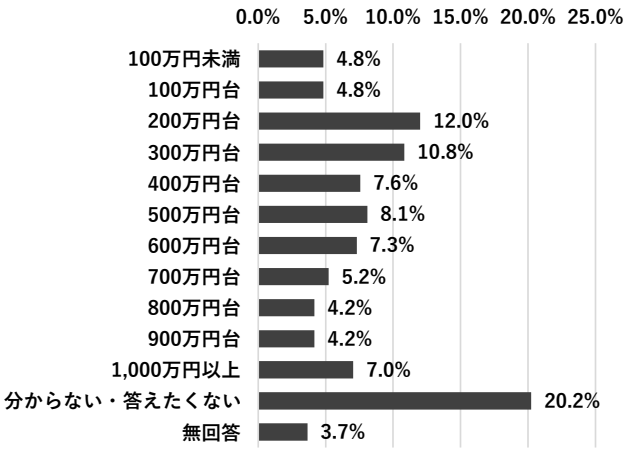


⑩　世帯の働き方

(⑧で「配偶者」と回答した方　n =515)



⑪　昨年１～12月の世帯年収　(N=766)



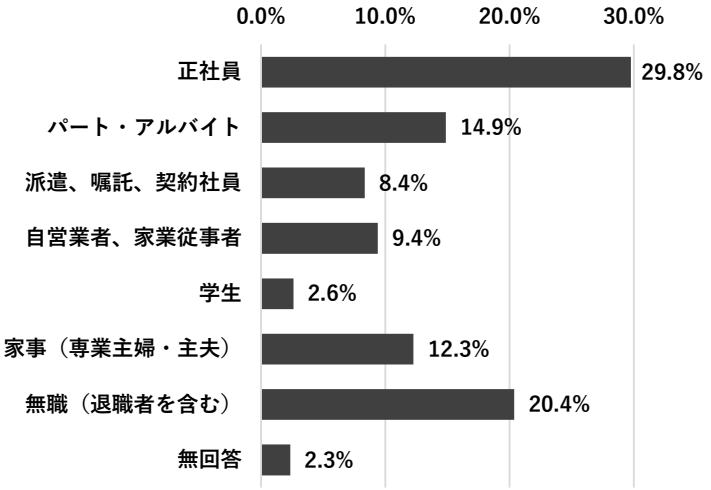
２．現在の就労状況について

（１）ご自身の就労形態について

■　就労形態は「**正社員**」が29.8%と最も高く、次いで「**無職**（退職者を含む）（20.4%）」となっています。

■　属性別でみると、「正社員」は「**10～50歳代**」で高く、「無職」は「**70歳以上**」で高くなっています。また、**女性**で「**パート・アルバイト**」が高くなっています。

【問２：あなたの就労形態についてお聞かせください。(N=766)】



【問２：性別・年代別クロス】

	全体 (n=766)	前回調査 (n=771)	男性 (n=318)	女性 (n=428)
正社員	29.8%	30.9%	**42.1%**	21.3%
パート・アルバイト	14.9%	17.0%	4.7%	**22.7%**
派遣、嘱託、契約社員	8.4%	6.5%	9.7%	7.5%
自営業者、家業従事者	9.4%	8.0%	15.7%	4.9%
学生	2.6%	3.0%	2.2%	2.6%
家事（専業主婦・主夫）	12.3%	12.7%	0.0%	**21.5%**
無職（退職者を含む）	20.4%	17.1%	24.2%	16.8%
無回答	2.3%	4.8%	1.3%	2.8%

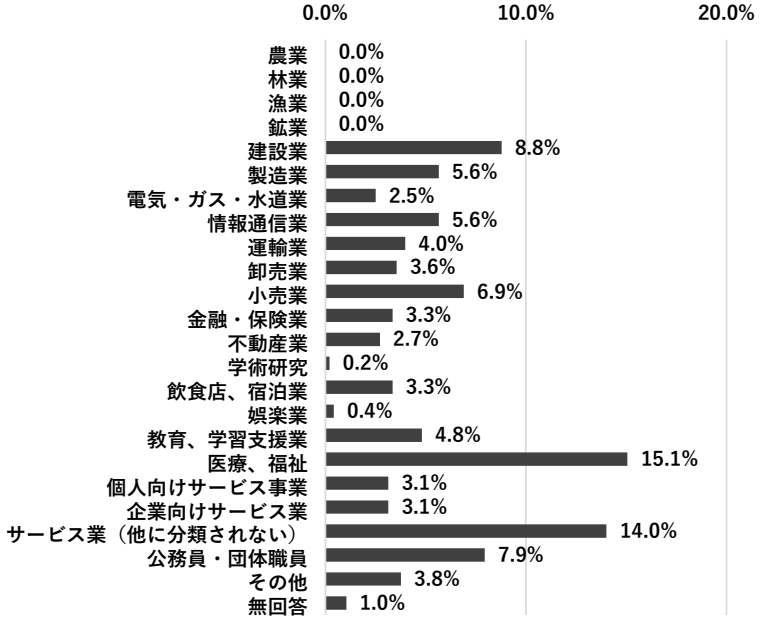
	全体 (n=766)	18～20歳代 (n=61)	30歳代 (n=74)	40歳代 (n=130)	50歳代 (n=152)	60～64歳 (n=80)	65～69歳 (n=71)	70～74歳 (n=74)	75歳以上 (n=121)
正社員	29.8%	**47.5%**	**52.7%**	**53.8%**	**40.1%**	22.5%	9.9%	2.7%	0.8%
パート・アルバイト	14.9%	6.6%	14.9%	20.8%	22.4%	11.3%	23.9%	16.2%	0.0%
派遣、嘱託、契約社員	8.4%	3.3%	10.8%	3.1%	7.9%	21.3%	19.7%	6.8%	0.8%
自営業者、家業従事者	9.4%	6.6%	5.4%	9.2%	11.8%	12.5%	11.3%	9.5%	7.4%
学生	2.6%	**32.8%**	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家事（専業主婦・主夫）	12.3%	1.6%	12.2%	6.9%	13.2%	16.3%	7.0%	14.9%	21.5%
無職（退職者を含む）	20.4%	1.6%	4.1%	6.2%	4.6%	16.3%	26.8%	**43.2%**	**59.5%**
無回答	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	6.8%	9.9%

（2）仕事の業種

■　就労している回答者の仕事の業種は「**医療、福祉**」が15.1％と最も高く、次いで「**サービス業**（14.0％）」となっています。

【問２-１　あなたのお仕事の主たる業種をお答えください。（n=478）】

※　就労形態で、「正社員」、「パート･アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業･家事従事者」と回答した方のみ。

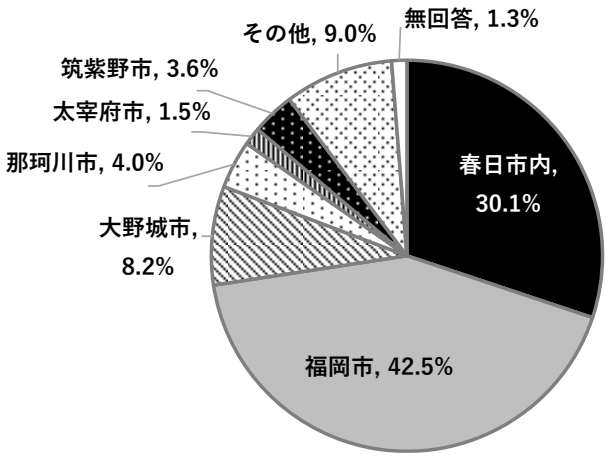


（3）勤務地

■　就労している回答者の勤務先は「**福岡市**」が42.5％と最も高く、次いで「**春日市内**（30.1％）」となっています。

【問２-２　勤務地の所在地はどちらですか。（n=467）】

※　就労形態で、「正社員」、「パート･アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業･家事従事者」と回答した方のみ。



■「福岡市」の回答者の区別内訳

・博多区（93件）　・南区（48件）
・東区（14件）　・中央区（13件）
・早良区（６件）　・城南区（５件）
・西区（４件）

■　その他

久留米市、糟屋郡、北九州市　等

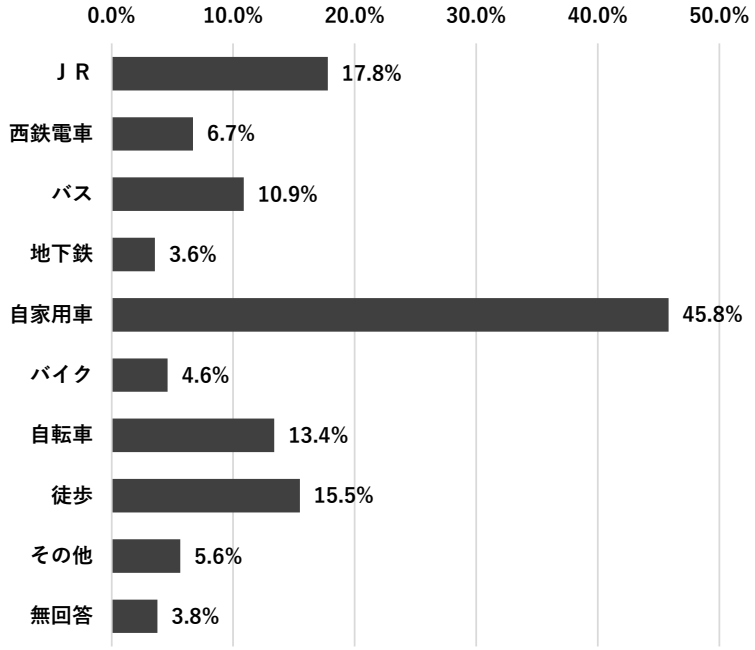
（４）勤務地までの交通手段と通勤時間

■　就労している回答者の自宅から勤務地までの交通手段は「**自家用車**」が45.8％と最も高く、次いで「**ＪＲ**（17.8％）」となっています。

■　通勤にかかる所要時間は「**30～60分未満**」が27.4％と最も高く、（無回答を除く）平均時間は**33分**となっています。

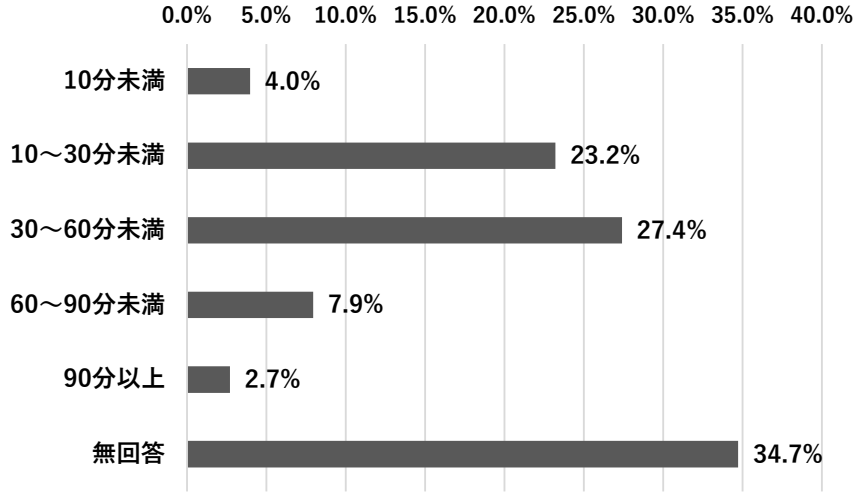
【問２-3 自宅から勤務地までの交通手段は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）（n=478）】

※　就労形態で、「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業・家事従事者」と回答した方のみ。



【問２-３　通勤にかかる所要時間はどれくらいですか。（n=478）】

※　就労形態で、「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業・家事従事者」と回答した方のみ。



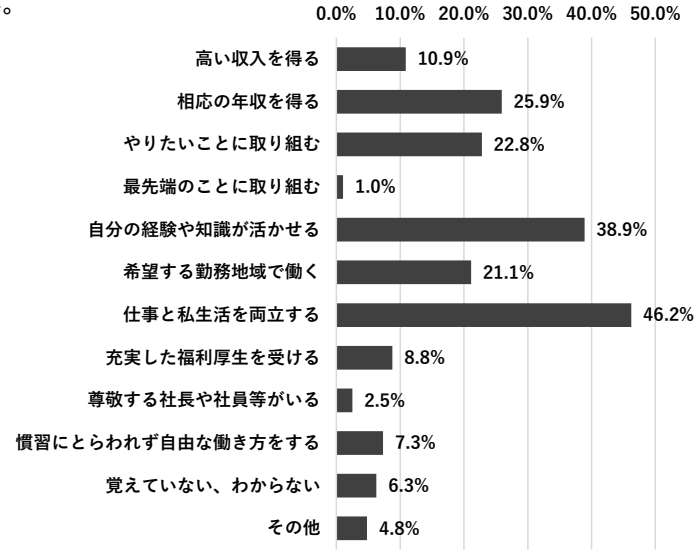
（5）仕事を選ぶ上で重視したこと・重視していること

■　仕事を選ぶ上で重視したこと・重視していることは「**仕事と私生活を両立する**」が46.2%と最も高く、次いで「**自分の経験や知識が活かせる**（38.9%）」となっています。

■　属性別でみると、「**女性**」で「仕事と私生活を両立する」は高く、「**男性**」「**30歳代**」では「相応の年収を得る」が高くなっています。

【問２-4 あなたが仕事を選ぶ上で重視したことまたはしていることは、どんなことですか。（最もあてはまるものを最大３つまで○）（n=478）】

※　就労形態で、「正社員」、「パート･アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業･家事従事者」と回答した方のみ。



【性別・年代別クロス】

	全体 (n=478)	前回調査 (n=481)	男性 (n=230)	女性 (n=241)
高い収入を得る	10.9%	11.0%	13.0%	8.7%
相応の年収を得る	25.9%	29.7%	**33.0%**	19.5%
やりたいことに取り組む	22.8%	30.6%	28.7%	17.0%
最先端のことに取り組む	1.0%	4.0%	1.7%	0.4%
自分の経験や知識が活かせる	38.9%		37.0%	40.7%
希望する勤務地域で働く	21.1%	23.5%	16.5%	26.1%
仕事と私生活を両立する	46.2%	50.3%	33.5%	**58.5%**
充実した福利厚生を受ける	8.8%	12.1%	9.1%	8.3%
尊敬する社長や社員等がいる	2.5%	3.7%	1.7%	3.3%
慣習にとらわれず自由な働き方をする	7.3%	8.5%	5.7%	8.7%
覚えていない、わからない	6.3%	5.2%	8.3%	4.6%
その他	4.8%	11.2%	3.0%	6.2%

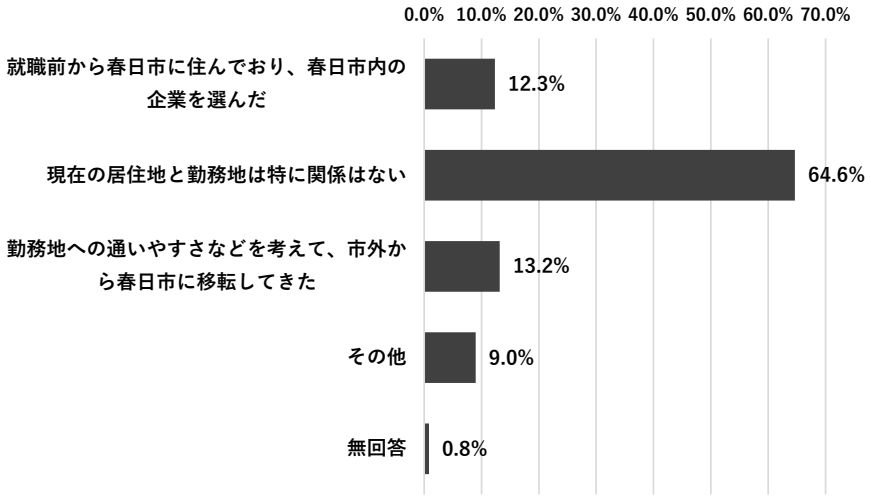
	全体 (n=478)	18～20歳代 (n=39)	30歳代 (n=62)	40歳代 (n=113)	50歳代 (n=125)	60～64歳 (n=54)	65～69歳 (n=46)	70～74歳 (n=26)	75歳以上 (n=11)
高い収入を得る	10.9%	20.5%	17.7%	16.8%	8.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
相応の年収を得る	25.9%	28.2%	**35.5%**	23.9%	27.2%	31.5%	13.0%	19.2%	18.2%
やりたいことに取り組む	22.8%	**30.8%**	24.2%	31.0%	20.8%	13.0%	21.7%	11.5%	0.0%
最先端のことに取り組む	1.0%	0.0%	6.5%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自分の経験や知識が活かせる	38.9%	28.2%	35.5%	41.6%	40.0%	40.7%	39.1%	46.2%	36.4%
希望する勤務地域で働く	21.1%	15.4%	22.6%	25.7%	**30.4%**	14.8%	8.7%	3.8%	9.1%
仕事と私生活を両立する	46.2%	48.7%	50.0%	54.0%	42.4%	48.1%	30.4%	46.2%	45.5%
充実した福利厚生を受ける	8.8%	15.4%	8.1%	11.5%	7.2%	7.4%	8.7%	3.8%	0.0%
尊敬する社長や社員等がいる	2.5%	5.1%	6.5%	2.7%	0.0%	3.7%	2.2%	0.0%	0.0%
慣習にとらわれず自由な働き方をする	7.3%	10.3%	6.5%	5.3%	7.2%	7.4%	8.7%	11.5%	9.1%
覚えていない、わからない	6.3%	10.3%	0.0%	6.2%	8.8%	5.6%	6.5%	3.8%	0.0%
その他	4.8%	5.1%	4.8%	2.7%	6.4%	5.6%	2.2%	7.7%	9.1%

（６）現在の居住地と勤務地の関係

■　現在の居住地と勤務地の関係について、「**現在の居住地と勤務地は特に関係はない**」が64.6%と最も高く、春日市の居住地と勤務地の関係は低い結果となっています。

【問２-５　現在の居住地と勤務地の関係について、あてはまるものをお選びください。（n=478)】

※　就労形態で、「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」、「自営業・家事従事者」と回答した方のみ。



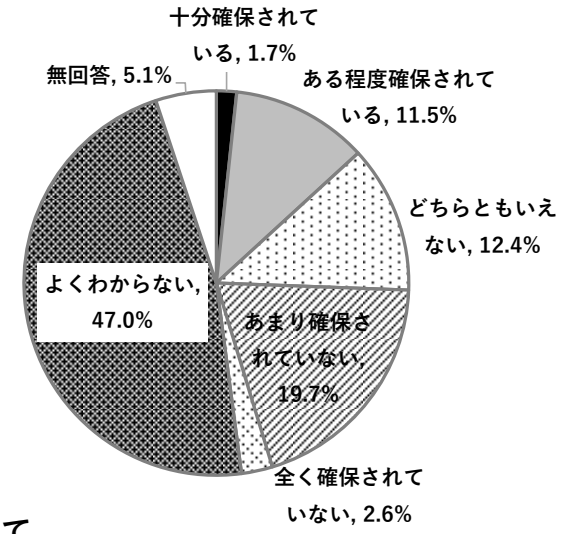
3．就職・転職・再就職・起業の意向について

（1）市内の雇用の場について

■　春日市には、「雇用の場」が『確保されている（十分確保されている+ある程度確保されている）』は13.2%と低く、一方、『確保されていない（あまり確保されていない+全く確保されていない）』は22.3%となっています。

■　「よくわからない」が47.0%と最も高くなっています。

【問３　春日市には、「雇用の場」が十分に確保されていると思いますか。(N=766)】

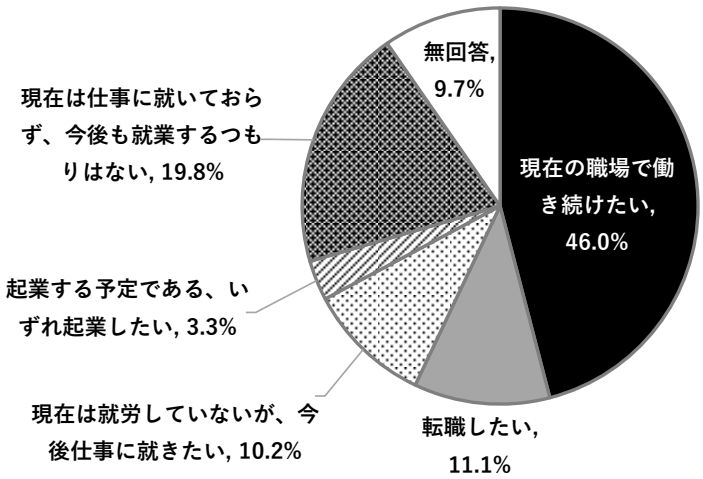


（2）今後の就業について

■　今後の就業について、「**現在の職場で働き続けたい**」が46.0%と最も高く、次いで「**現在は仕事に就いておらず、今後も就業するつもりはない**（19.8%）」となっています。

■　「転職したい」「現在は就労していないが、今後仕事に就きたい」「起業する予定である、いずれ起業したい」はあわせて24.6%となっています。

【問３　春日市には、「雇用の場」が十分に確保されていると思いますか。(N=766)】



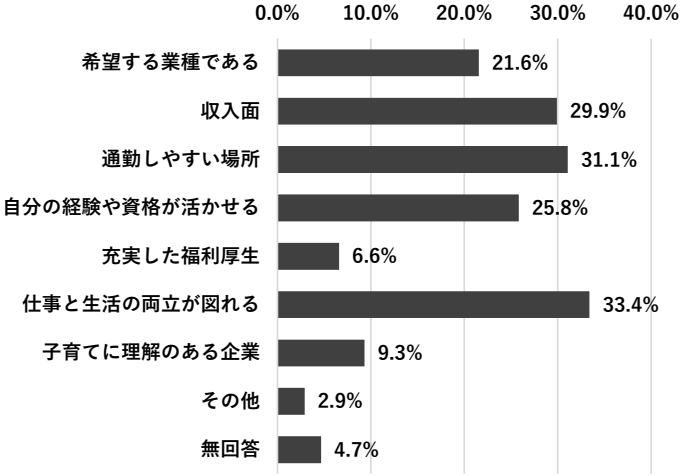
（3）仕事に求める条件

■　仕事に求める条件は、「**仕事と生活の両立が図れる**」が33.4%と最も高く、次いで「**通勤しやすい場所**（31.1%）」「**収入面**（29.9%）」となっています。

■　属性別にみると、「**女性**」では「通勤しやすい場所」が高く、「自分の経験や資格が活かせる」は「**65歳以上**」で高くなっています。「**18～20歳代**」は「希望する業種である」「収入面」が高くなっています。

【問４-１　あなたが仕事において求める条件は何ですか。（最もあてはまるものを２つまで○）（n=515）

※今後の就業について、「現在の職場で働き続けたい」、「転職したい」、「現在は就労していないが、今後仕事に就きたい」と回答した方のみ



【性別・年代別クロス】

	全体 (n=515)	前回調査 (n=523)	男性 (n=226)	女性 (n=281)
希望する業種である	21.6%	22.8%	24.8%	18.1%
収入面	29.9%	35.6%	32.7%	16.1%
通勤しやすい場所	31.1%	26.4%	23.5%	**21.7%**
自分の経験や資格が活かせる	25.8%	24.3%	31.0%	12.5%
充実した福利厚生	6.6%	7.5%	5.8%	4.4%
仕事と生活の両立が図れる	33.4%	34.4%	31.9%	20.7%
子育てに理解のある企業	9.3%	9.2%	2.2%	9.0%
その他	2.9%	2.7%	2.7%	1.9%

	全体 (n=515)	18～20歳代 (n=57)	30歳代 (n=63)	40歳代 (n=121)	50歳代 (n=133)	60～64歳 (n=59)	65～69歳 (n=47)	70～74歳 (n=22)	75歳以上 (n=10)
希望する業種である	21.6%	**35.1%**	11.1%	16.5%	24.8%	20.3%	29.8%	13.6%	10.0%
収入面	29.9%	**43.9%**	34.9%	**38.8%**	33.1%	16.9%	8.5%	9.1%	0.0%
通勤しやすい場所	31.1%	14.0%	30.2%	28.9%	36.1%	**40.7%**	34.0%	27.3%	20.0%
自分の経験や資格が活かせる	25.8%	19.3%	17.5%	27.3%	21.8%	32.2%	**36.2%**	**40.9%**	**40.0%**
充実した福利厚生	6.6%	17.5%	9.5%	5.0%	3.8%	3.4%	8.5%	4.5%	0.0%
仕事と生活の両立が図れる	33.4%	21.1%	38.1%	37.2%	36.1%	35.6%	21.3%	**45.5%**	20.0%
子育てに理解のある企業	9.3%	12.3%	30.2%	14.9%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2.9%	0.0%	1.6%	2.5%	2.3%	5.1%	4.3%	4.5%	10.0%

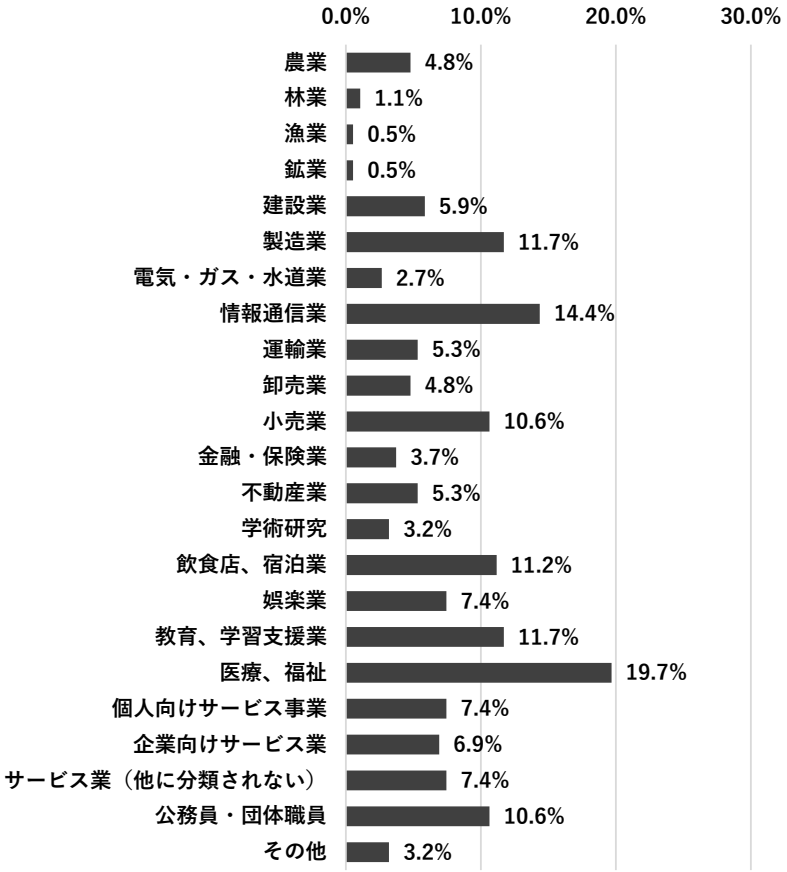
（4）関心のある業種

■　就職や転職・起業する場合に関心のある業種は、「**医療、福祉**」が19.7%と最も高く、次いで「**情報通信業**（14.4%）」「**製造業**（11.7%）」となっています。

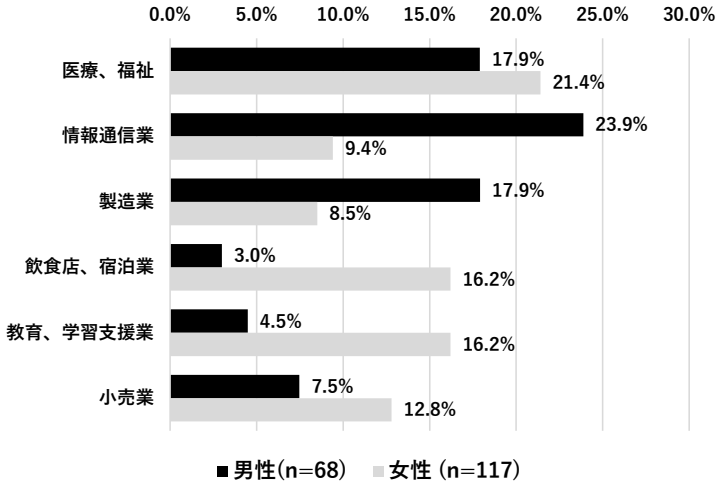
■　属性別でみると、「医療、福祉」は「**女性**」で高く、「情報通信業」「製造業」は「**男性**」で高くなっています。

【問4-2 就職・転職・起業する場合、関心のある業種は何ですか。（あてはまるものすべてに○）（n=188）

※今後の就業について、「転職したい」、「現在は就労していないが、今後仕事に就きたい」、「起業する予定である、いずれ起業したい」と回答した方のみ



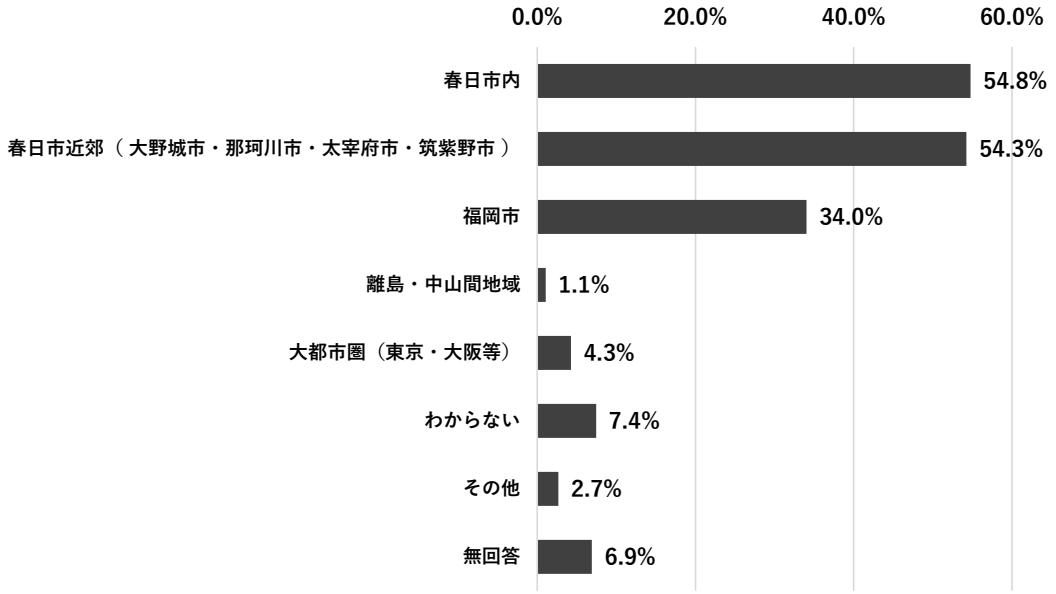
【上位業種の性別クロス】



（5）希望の勤務地

■　就職や転職、起業する場合、働く場所は、「**春日市内**」が54.8％と「**春日市近郊**（ 大野城市・那珂川市・太宰府市・筑紫野市 ）」が54.3％とほぼ同率で最も高くなっています。

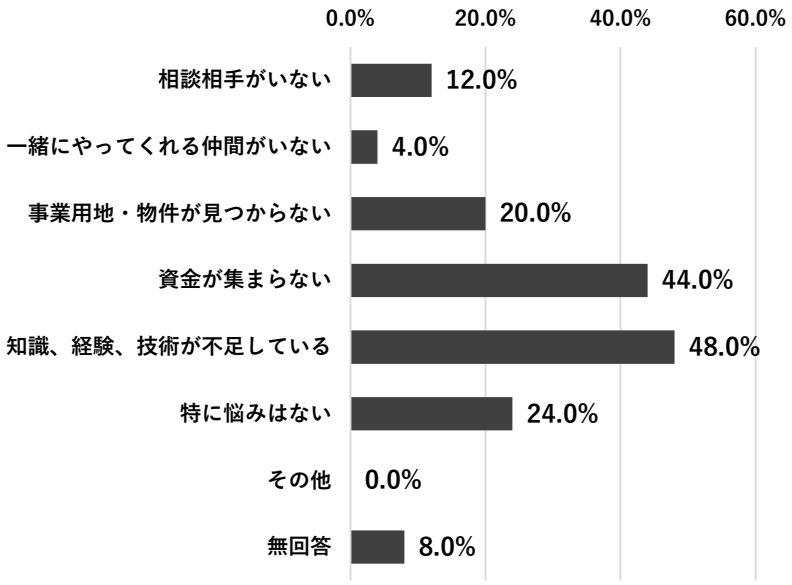
【問4-3 就職・転職・起業する場合、働く場所はどこがよいですか。（あてはまるものすべてに○）(n=188)】
※今後の就業について、「転職したい」、「現在は就労していないが、今後仕事に就きたい」、「起業する予定である、いずれ起業したい」と回答した方のみ



（6）起業に向けた課題

■　起業する（したい）人の課題は「**知識、経験、技術の不足**」が48.0％で最も高く、次いで「**資金が集まらない**（44.0％）」となっています。

【問4-4 起業の準備に際し、以下のような悩みを感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）
(n=25)】※今後の就業について、「起業する予定である、いずれ起業したい」と回答した方のみ

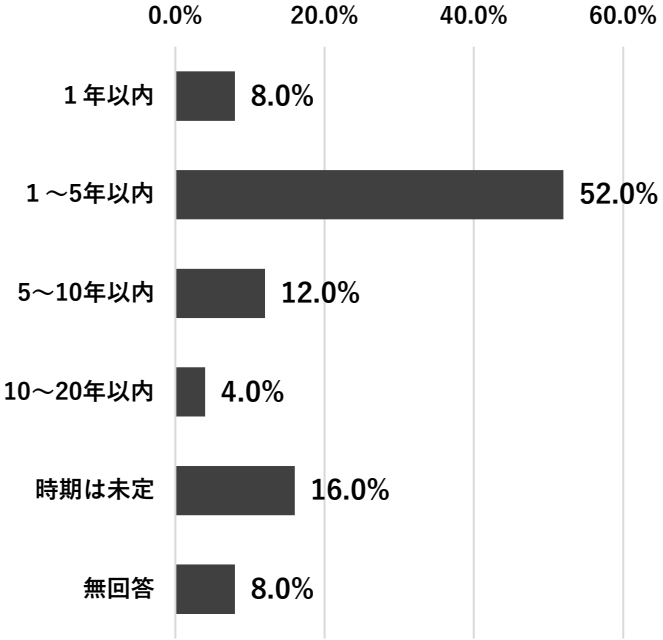


（7）起業する時期

■　起業する（したい）人の起業時期は「**1～5年以内**」が52.0％で最も高くなっています。

【問4-5 起業する時期はどのくらいを予定していますか。（n=25)】

※今後の就業について、「起業する予定である、いずれ起業したい」と回答した方のみ

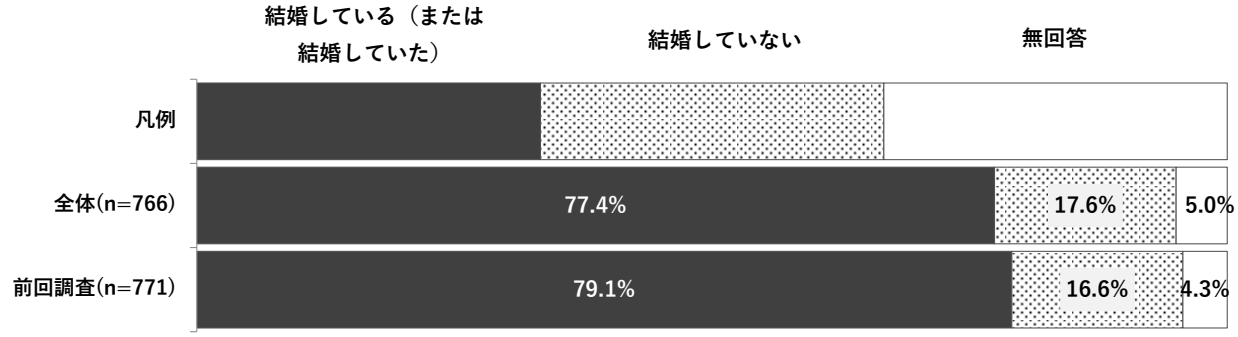


４．結婚の状況や意向について

（１）回答者の結婚の状況について

■　現在、「結婚している（または結婚していた）」は**77.4%**となり、前回調査と比較して**若干低く**なっています。

【問５　あなたは現在、結婚（事実婚を含む）していますか。(N=766)】



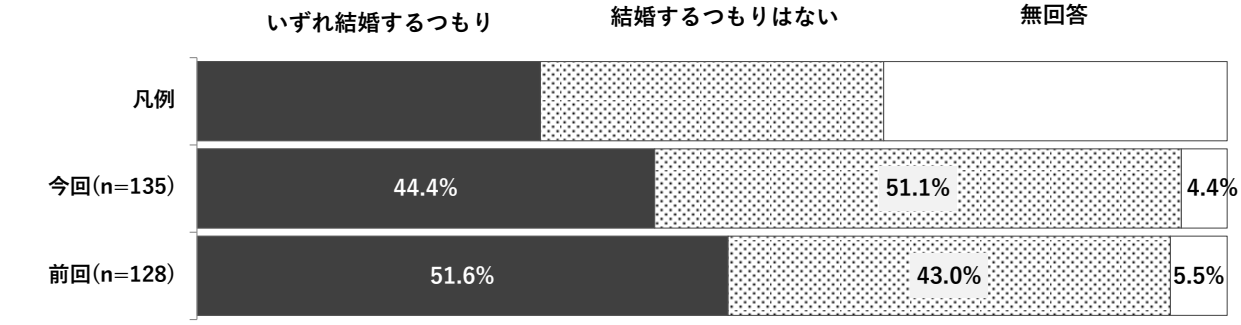
（２）未婚者の結婚に対する考え

■　「結婚していない」回答者の結婚についての考えは、「**結婚するつもりはない**」が51.1%と最も高く、前回調査と比較して**高く**なっています。

■　属性別でみると、「**30歳代以下**」では「いずれ結婚するつもり」が高く、それ以降の年代で「結婚するつもりはない」が高くなっています。

【問５-１　結婚（事実婚を含む）に関するお考えをお聞かせください。（ｎ=135)】

※「結婚していない」と回答した方のみ



【性別・年代別クロス】

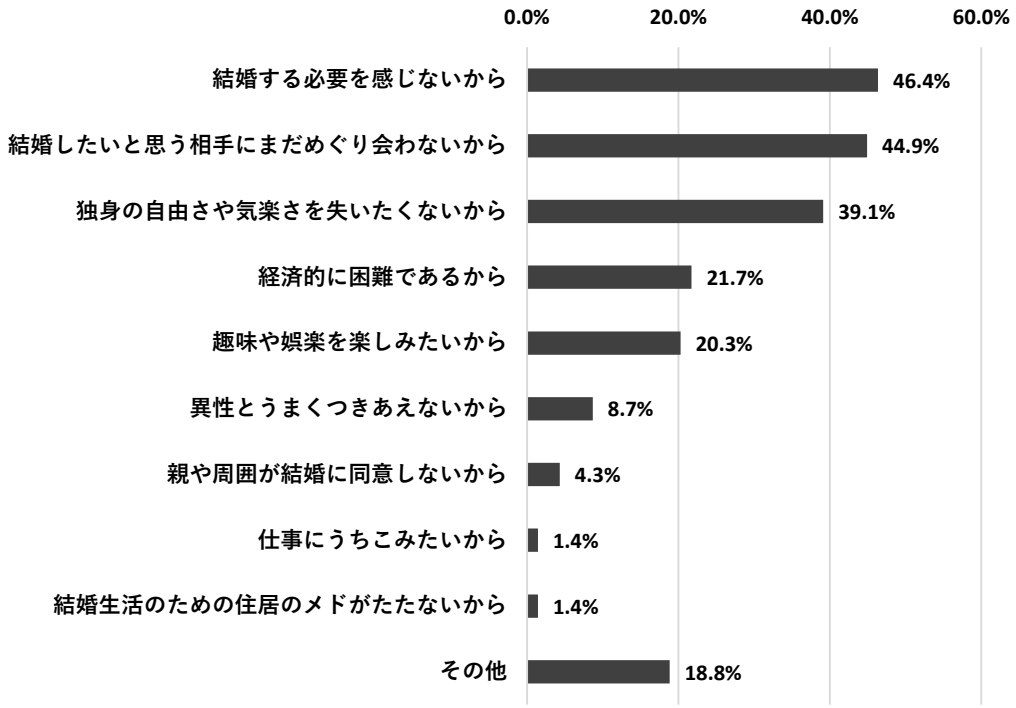
	今回 (n=135)	男性(n=47)	女性(n=85)	18～20歳代 (n=51)	30歳代 (n=20)	40歳代 (n=18)	50歳代 (n=18)	60～64歳 (n=10)	65～69歳 (n=9)	70～74歳 (n=5)	75歳以上 (n=2)
いずれ結婚するつもり	44.4%	46.8%	44.7%	**72.5%**	**50.0%**	44.4%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
結婚するつもりはない	51.1%	51.1%	50.6%	23.5%	45.0%	**50.0%**	**72.2%**	**80.0%**	100.0%	100.0%	100.0%
無回答	4.4%	2.1%	4.7%	3.9%	5.0%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（3）結婚するつもりのない理由

■　「結婚するつもりはない」回答者のその理由は、「**結婚する必要を感じないから**」が46.4％と最も高く、次いで「**結婚したいと思う相手にまだめぐり会わないから**（44.9％）」となっています。

【問５-２　結婚するつもりがない理由は何ですか。（○は３つまで）（ｎ=69)】

※「結婚するつもりはない」と回答した方のみ

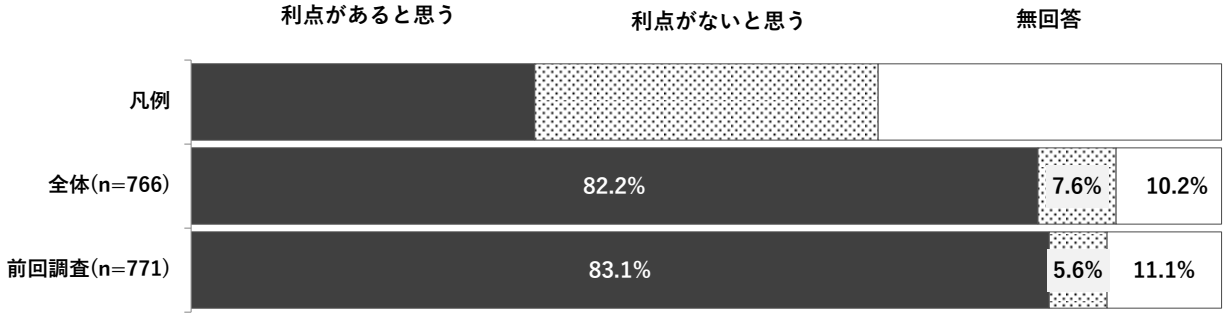


（4）結婚することの利点

■　結婚することに「利点があると思う」が**82.2%**で、前回調査より若干低くなっています。一方、「利点がないと思う」が**7.6%**で前回調査より若干高くなっています。

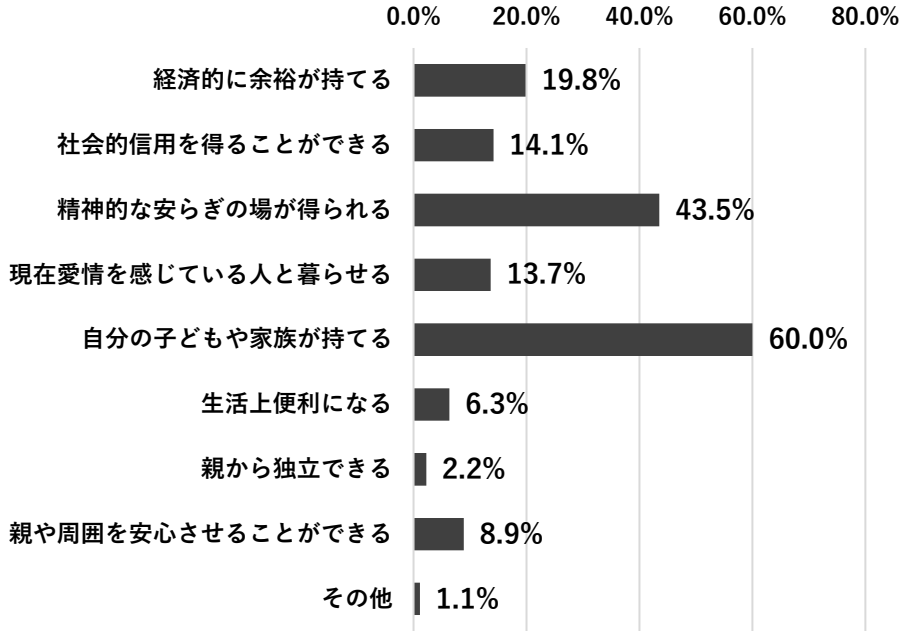
■　具体的な結婚することの利点は、「**自分の子どもや家族が持てる**」が60.0%と最も高く、次いで「**精神的な安らぎの場が得られる**（43.5%）」となっています。

【問６　結婚することには何か利点があると思いますか。(N=766)】



【問６-１　具体的な利点をご回答ください。（○は２つまで）(n=630)】

※結婚することには、「利点があると思う」と回答した方のみ

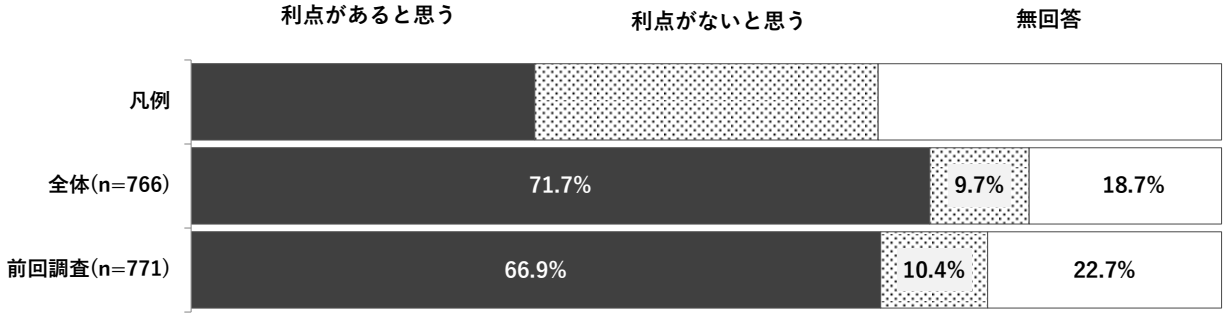


（５）独身生活の利点

■　結婚することに「利点があると思う」が**71.7%**で、前回調査より高くなっています。一方、「利点がないと思う」が**9.7%**で前回調査より若干低くなっています。

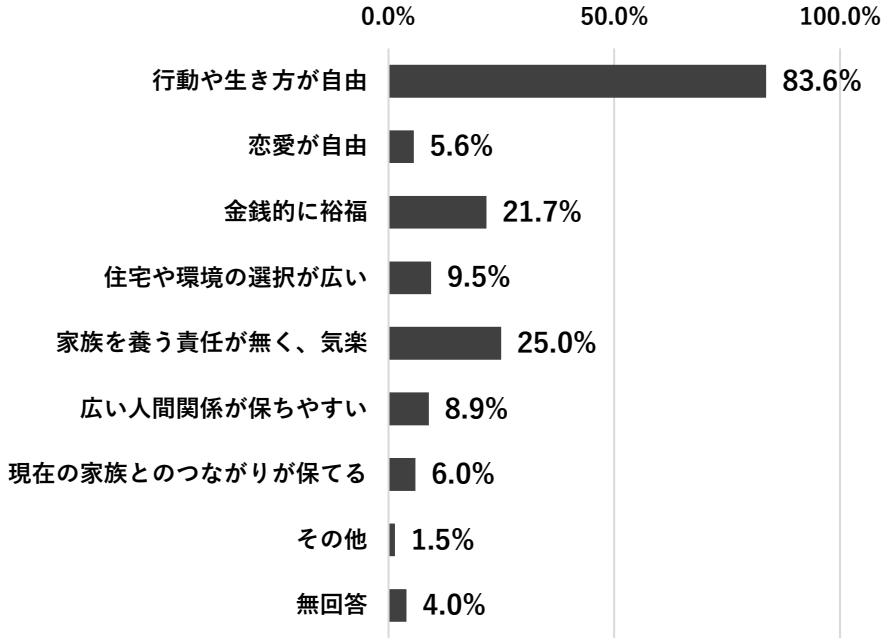
■　具体的な結婚することの利点は、「**行動や生き方が自由**」が83.6%と最も高くなっています。

【問７　独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。(N=766)】



【問７-１　具体的な利点をご回答ください。（○は２つまで）(n=549)】

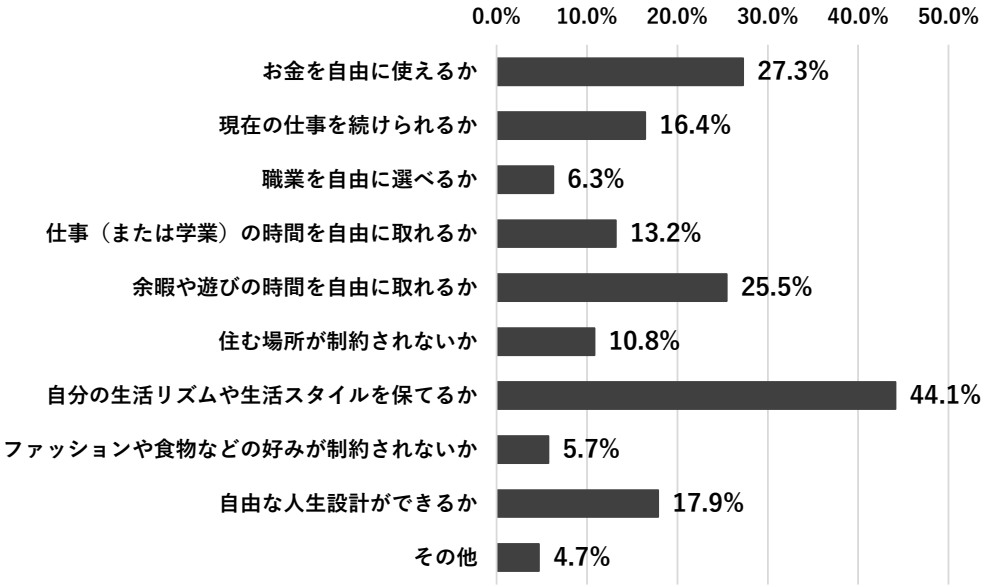
※独身生活には、「利点があると思う」と回答した方のみ



（6）結婚を考えたときに気になること

■　具体的な結婚することの利点は、「**自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか**」が44.1％と最も高くなっています。次いで「**お金を自由に使えるか**（27.3％）」「**余暇や遊びの時間を自由に取れるか**（25.5％）」となっています。

【問８ 結婚することを考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか（気になりましたか）。（あてはまるものすべてに〇）（N=766)】

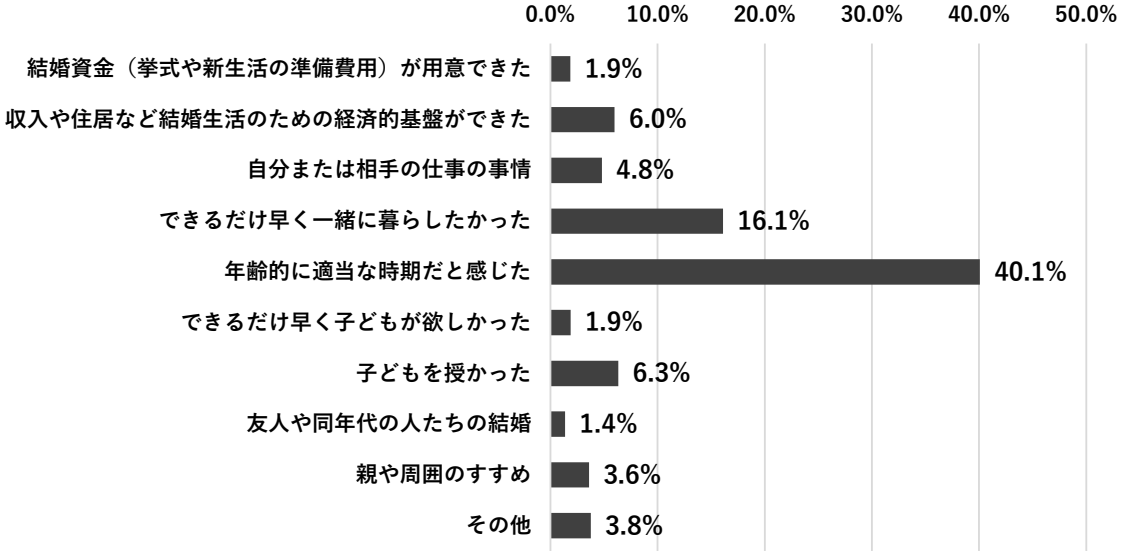


（7）結婚を決めたきっかけ

■　結婚している回答者が、最終的に結婚を決めたきっかけは、「**年齢的に適当な時期だと感じた**」が40.1％と最も高くなっています。

【問９ あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めた時の直接のきっかけは何ですか。（ｎ=593)】

※「結婚している」と回答した方のみ

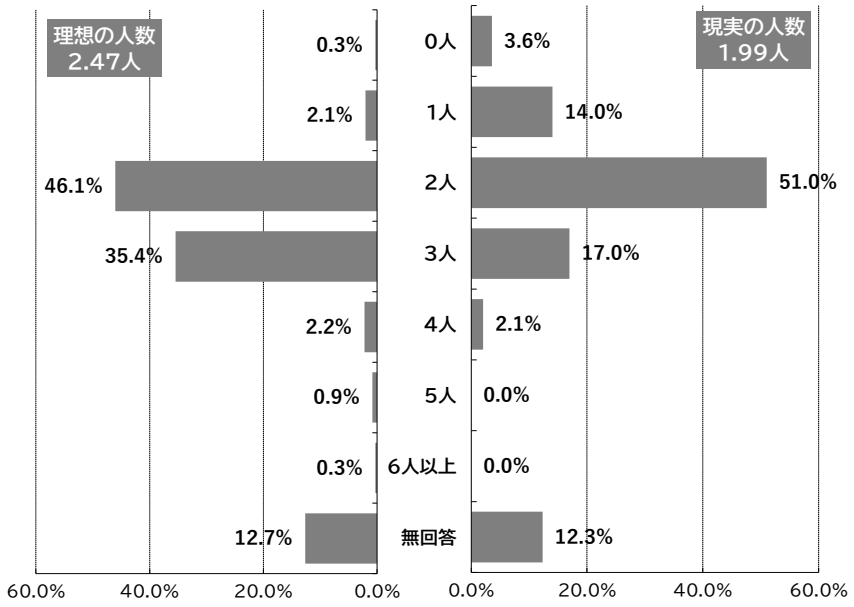


（８）理想と現実の子どもの人数

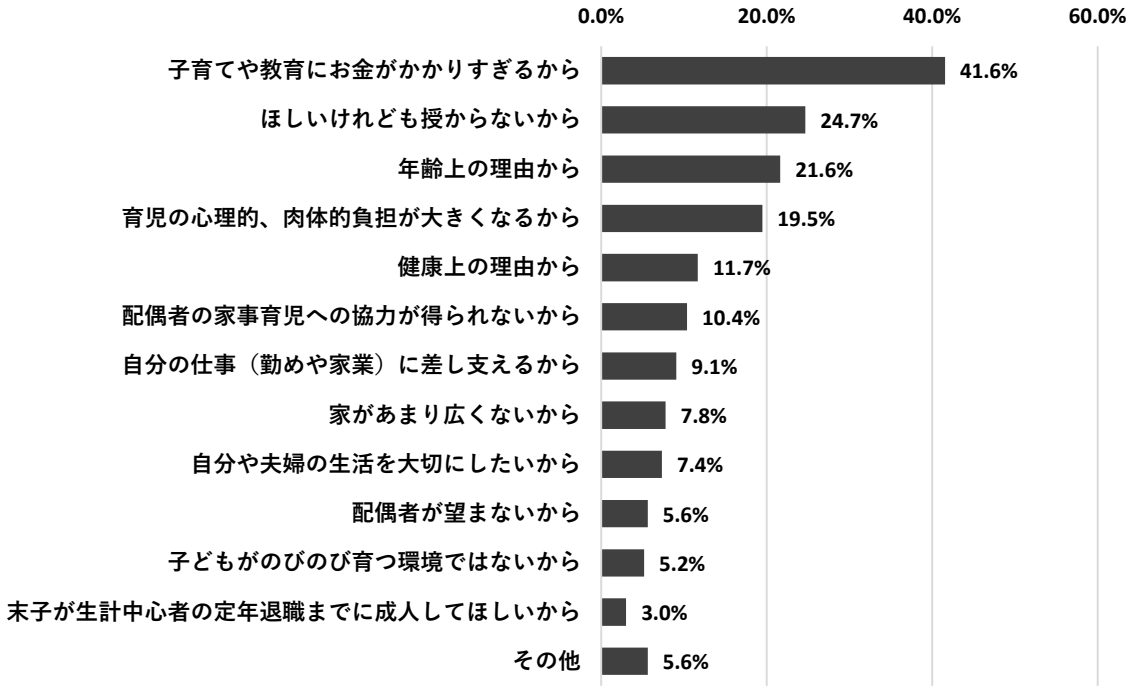
■　結婚している人の「理想の子どもの人数」は平均で**2.47**人となり、「現実の子どもの人数」の**1.99**人より0.48人少なくなっています。

■「理想の子どもの人数」が「現実の子どもの人数」よりも少ない回答者の理由は、「**子育てや教育にお金がかかりすぎるから**」が41.6%と最も高く、次いで「**ほしいけれども授からないから**（24.7%）」「**年齢上の理由から**（21.6%）」となっています。

【問１０ あなたにとって理想的なお子さんの数と、実際に持てると思う（持てた）お子さんの数はそれぞれ何人ですか。（ｎ=593)】※「結婚している」と回答した方のみ



【問１１ 持つつもりのお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか。（○は３つまで）（ｎ=231)】※「理想的なお子さんの数より、実際に持てると思う（持てた）お子さんの数が少ない方のみ



５．子育て中の男女の働き方について

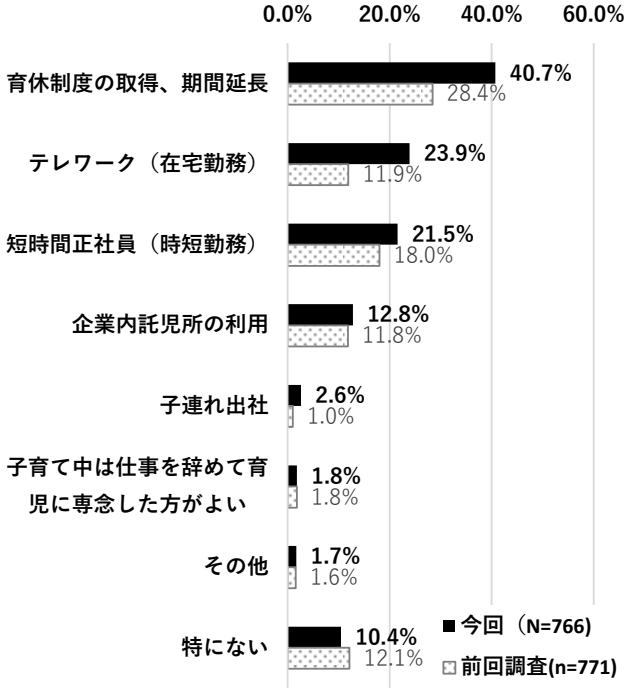
（１）理想とする子育て中の男女の働き方について

■　理想とする子育て中の（男性・女性の）働き方は、男性、女性ともに「**育休制度の取得、期間の延長**」の割合が最も高く、前回調査と同様の傾向となっています。

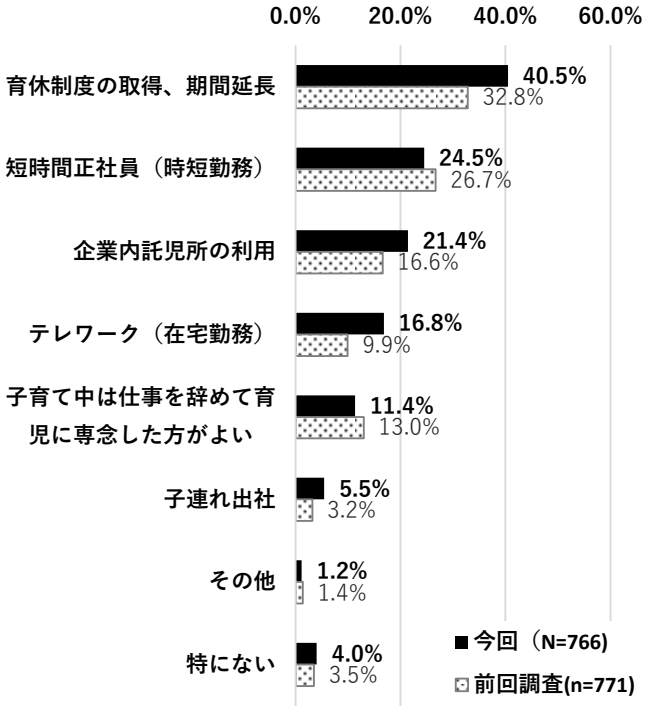
■　前回調査と比較して、「**テレワーク（在宅勤務）**」の回答が高くなっており、特に男性の働き方に対して高くなっています。

【問１２ 子育て中の働き方として理想とするものは次のどれですか。男性の場合と女性の場合、両方お答えください。(N=766)**】**

【男性の子育て中の働き方】



【女性の子育て中の働き方】



6．春日市の住み心地について

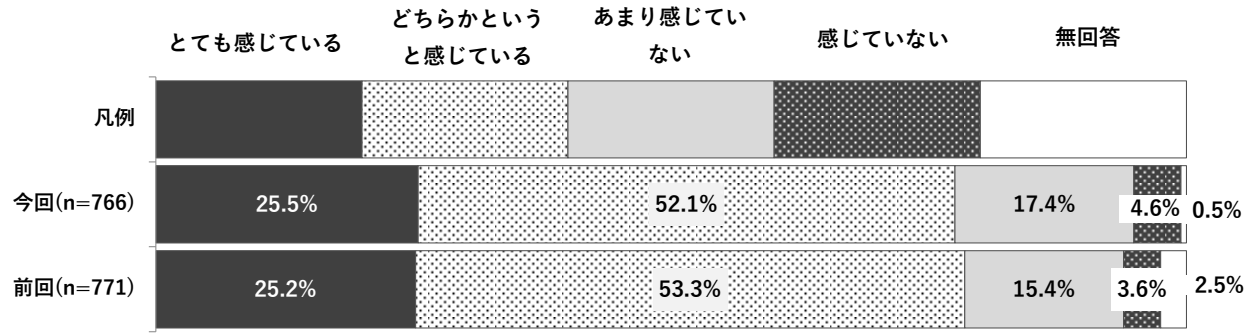
（1）春日市に対する愛着や誇りについて

■　春日市への愛着を『**感じている**（とても感じている＋どちらかというと感じている）』が**77.6%** となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっています。「**感じていない**」は4.6%に留まっています。

■　属性別でみると、年代別の「**70 歳以上**」で『感じている』が高くなっています。「感じていない」 は居住年数別の「**3年未満**」で高くなっています。

■『感じている』回答者の愛着・誇りを感じる点は、「**買い物など日常生活に便利なところ**」が66.5%と半数以上と最も高く、次いで「**交通の便（公共交通・道路整備）がよいところ**（48.0%）」となっています。

【問１３ あなたは、春日市に対して「自分のまち」としての愛着や誇りをどの程度感じていますか。
(N=766)】



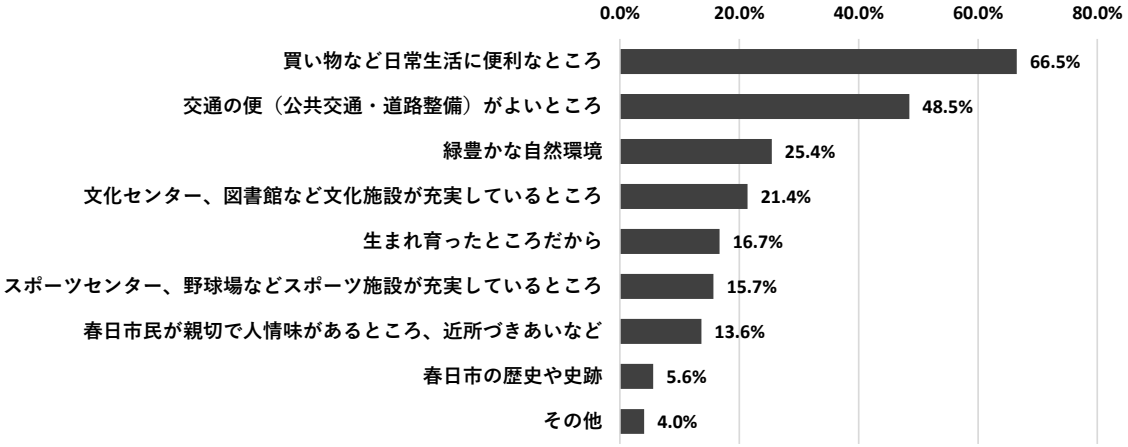
【年代別・居住年数別クロス】

	全体 (n=766)	18～20歳代 (n=61)	30歳代 (n=74)	40歳代 (n=130)	50歳代 (n=152)	60～64歳 (n=80)	65～69歳 (n=71)	70～74歳 (n=74)	75歳以上 (n=121)
とても感じている	25.5%	**31.1%**	27.0%	19.2%	22.4%	28.8%	19.7%	25.7%	**33.1%**
どちらかというと感じている	52.1%	39.3%	44.6%	48.5%	57.2%	50.0%	**57.7%**	**58.1%**	55.4%
あまり感じていない	17.4%	23.0%	21.6%	**24.6%**	16.4%	20.0%	18.3%	5.4%	9.9%
感じていない	4.6%	4.9%	6.8%	7.7%	3.9%	1.3%	2.8%	10.8%	0.0%
無回答	0.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.7%

	全体 (n=766)	1年未満 (n=16)	1～3年未満 (n=44)	3～5年未満(n=43)	5～10年未満(n=79)	10～20年未満(n=134)	20年以上 (n=446)
とても感じている	25.5%	25.0%	13.6%	16.3%	16.5%	26.9%	28.7%
どちらかというと感じている	52.1%	37.5%	34.1%	48.8%	**63.3%**	50.0%	53.1%
あまり感じていない	17.4%	18.8%	**36.4%**	27.9%	17.7%	15.7%	15.0%
感じていない	4.6%	**18.8%**	**13.6%**	7.0%	2.5%	7.5%	2.5%
無回答	0.5%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%

【問１３-１ あなたは春日市のどのようなところに愛着や誇りを感じていますか。（○は３つまで）(n=594)】

※春日市に対しての愛着や誇りを、「とても感じている」、「どちらかというと感じている」と回答した方のみ

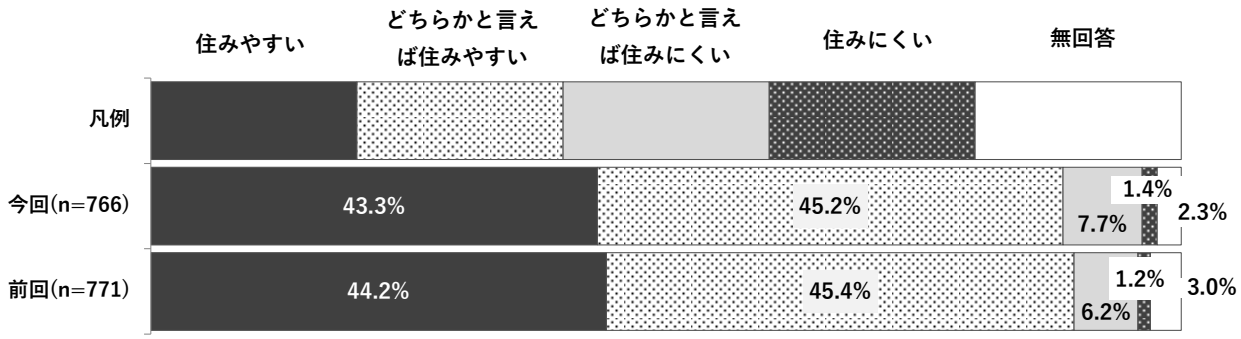


（２）春日市の住みやすさ

■ 春日市の住みやすさは『**住みやすい**（住みやすい＋どちらかというと住みやすい）』が **88.5%** となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっています。「住みにくい」は1.4%に留まっています。

■ 属性別でみると、年代別の「**18～20歳代**」「**70 歳以上**」で『住みやすい』が高くなっています。『住みにくい』 は「**40歳代**」で他年代と比較して高くなっています。

【問１４ あなたは、春日市を住みやすいまちだと思いますか。(N=752)】



【年代別クロス】

	全体 (n=766)	18～20歳代 (n=61)	30歳代 (n=74)	40歳代 (n=130)	50歳代 (n=152)	60～64歳 (n=80)	65～69歳 (n=71)	70～74歳 (n=74)	75歳以上 (n=121)
住みやすい	43.3%	**55.7%**	45.9%	35.4%	45.4%	50.0%	42.3%	36.5%	42.1%
どちらかと言えば住みやすい	45.2%	36.1%	40.5%	46.9%	44.7%	38.8%	46.5%	**51.4%**	**51.2%**
どちらかと言えば住みにくい	7.7%	1.6%	6.8%	**13.8%**	8.6%	8.8%	5.6%	9.5%	2.5%
住みにくい	1.4%	1.6%	4.1%	3.1%	0.7%	1.3%	1.4%	0.0%	0.0%
無回答	2.3%	4.9%	2.7%	0.8%	0.7%	1.3%	4.2%	2.7%	4.1%

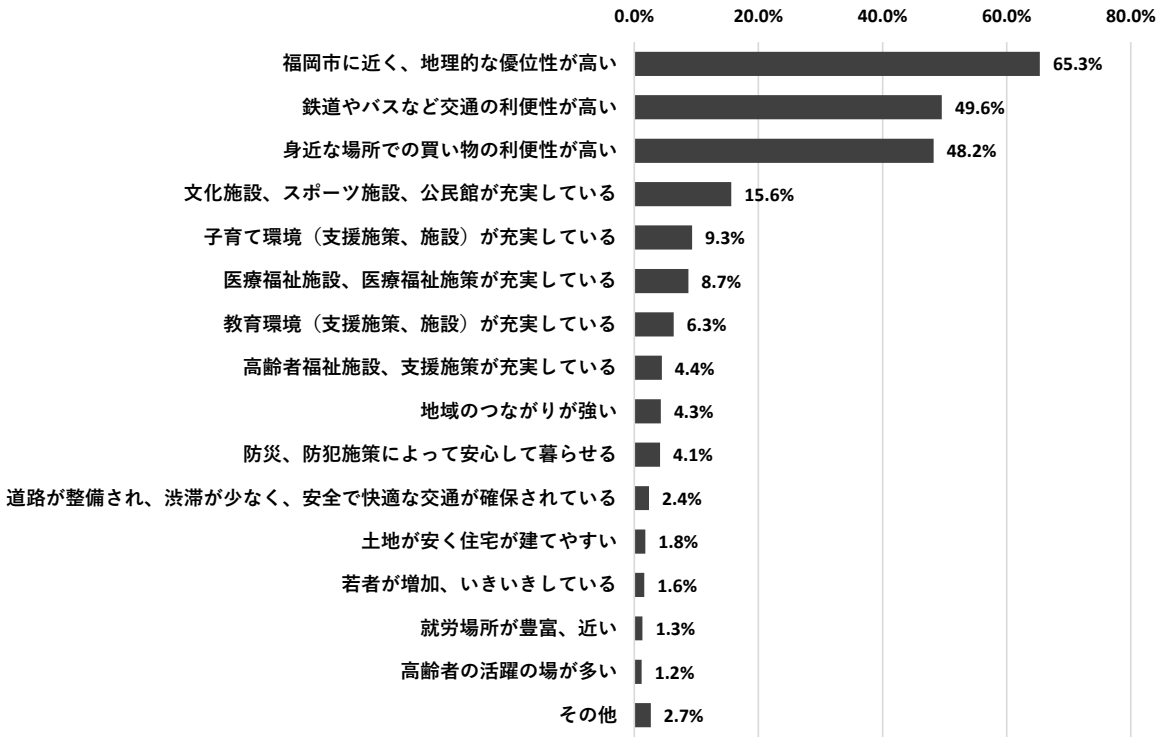
（3）春日市の住みやすい理由、住みにくい理由

■　春日市が住みやすいと感じる回答者のその理由は、「**福岡市に近く、地理的な優位性が高い**」が65.3%と最も高く、次いで、「**鉄道やバスなど交通の利便性が高い**（49.6%）」「**身近な場所での買い物の利便性が高い**（48.2%）」となっています。

■　春日市が住みにくいと感じる回答者のその理由は、「**鉄道やバスなど交通の利便性が低い**」が51.4%と最も高くなっています。

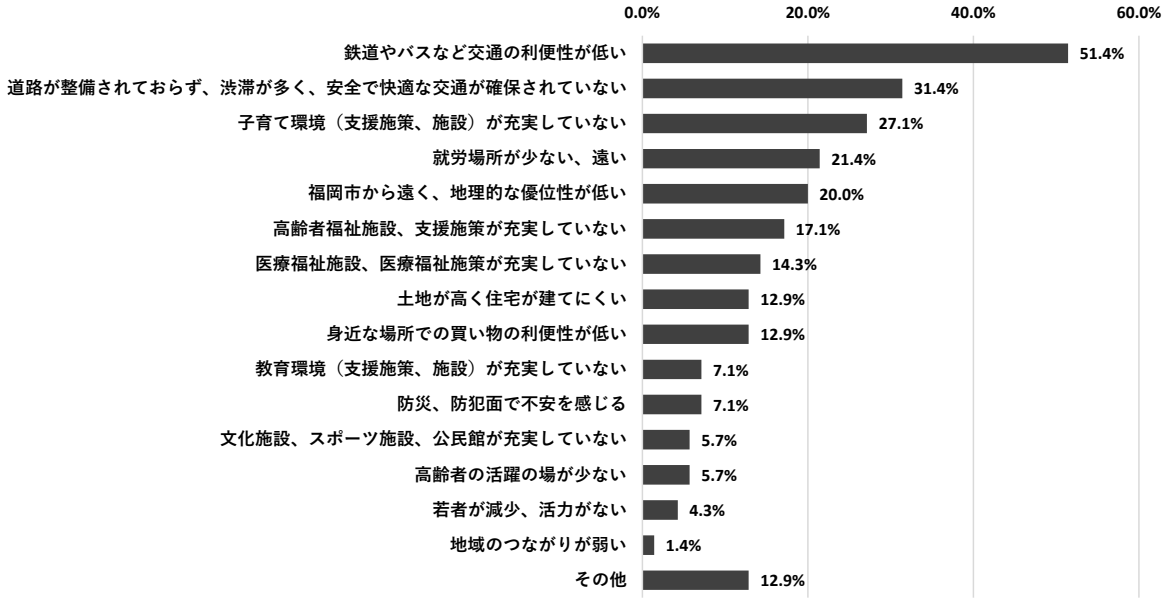
【問１４-１　春日市が住みやすいと感じる理由は何ですか。（○は３つまで）(n=678)】

※春日市が「住みやすい」、「どちらかと言えば住みやすい」と回答した方のみ



【問１４-２ 春日市が住みにくいと感じる理由は何ですか。（○は３つまで）(n=70)】

※春日市が「住みにくい」、「どちらかと言えば住みにくい」と回答した方のみ

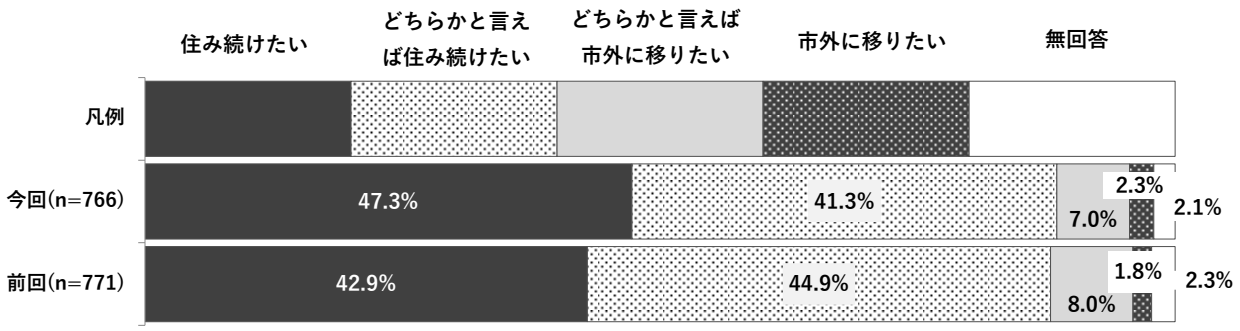


（４）今後の春日市への定住意向（住み続けたいか）

■　春日市への定住について、『**住み続けたい**（住み続けたい＋どちらかというと住み続けたい）』が **88.6%** となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっていますが、「**住み続けたい**」の回答は**前回調査から増加**しています。「市外に移りたい」は2.4%に留まっています。

■属性別でみると、「**65歳以上**」の『住み続けたい』意向が高いほか、居住年数の「**５年以上**」から『住み続けたい』傾向が高くなっています。

【問１５　あなたは、今後も春日市に住み続けたいと思いますか。(N=766)**】**



【年代・居住年数別クロス】

	全体 (n=766)	18～20歳代 (n=61)	30歳代 (n=74)	40歳代 (n=130)	50歳代 (n=152)	60～64歳 (n=80)	65～69歳 (n=71)	70～74歳 (n=74)	75歳以上 (n=121)
住み続けたい	47.3%	27.9%	39.2%	36.9%	43.4%	55.0%	**62.0%**	50.0%	**62.0%**
どちらかと言えば住み続けたい	41.3%	54.1%	47.3%	45.4%	44.1%	35.0%	31.0%	43.2%	32.2%
どちらかと言えば市外に移りたい	7.0%	8.2%	10.8%	**13.8%**	6.6%	7.5%	4.2%	4.1%	0.8%
市外に移りたい	2.3%	4.9%	2.7%	3.1%	4.6%	1.3%	0.0%	1.4%	0.0%
無回答	2.1%	4.9%	0.0%	0.8%	1.3%	1.3%	2.8%	1.4%	5.0%

	全体 (n=766)	１年未満 (n=16)	1～３年未満 (n=44)	３～５年未満(n=43)	５～10年未満(n=79)	10～20年未満(n=134)	20年以上 (n=446)
住み続けたい	47.3%	25.0%	27.3%	32.6%	38.0%	42.5%	**54.3%**
どちらかと言えば住み続けたい	41.3%	62.5%	50.0%	44.2%	53.2%	42.5%	37.0%
どちらかと言えば市外に移りたい	7.0%	**12.5%**	**11.4%**	**16.3%**	8.9%	10.4%	4.3%
市外に移りたい	2.3%	0.0%	**6.8%**	**7.0%**	0.0%	3.0%	1.8%
無回答	2.1%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	1.5%	2.7%

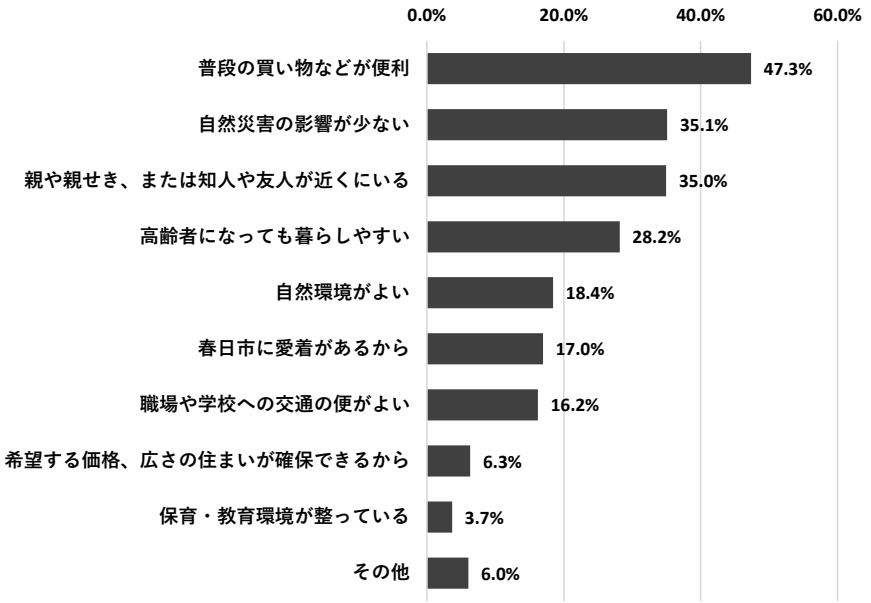
（５）住み続けたい理由・住み続けるために必要な条件

■　『住み続けたい』回答者の住み続けたい理由は、「**普段の買い物などが便利**」が47.3%と最も高く、次いで「**自然災害の影響が少ない**（35.1%）」「**親や親せき、または知人や友人が近くにいる**（35.0%）」があがっています。

■　『市外に移りたい』回答者の住み続けるための条件は、「**交通機関が充実している**（36.1%）」「**希望する価格、広さの住まいが確保できる**（33.3%）「**徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている**（33.3%）」が上位にあがっています。

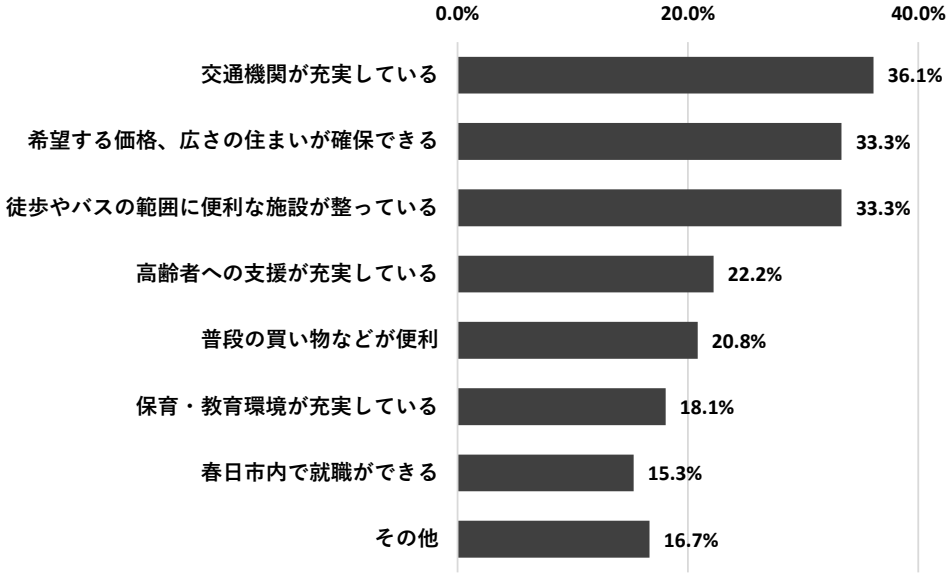
【問１５-１　あなたが、春日市に住み続けたい理由は何ですか。（○は３つまで）（n=665）】

※春日市が「住み続けたい」、「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した方のみ



【問１５-２　どのような条件が整えば、春日市に住み続けたいですか。（○は３つまで）（n=71）】

※春日市が「市外に移りたい」、「どちらかと言えば市外に移りたい」と回答した方のみ

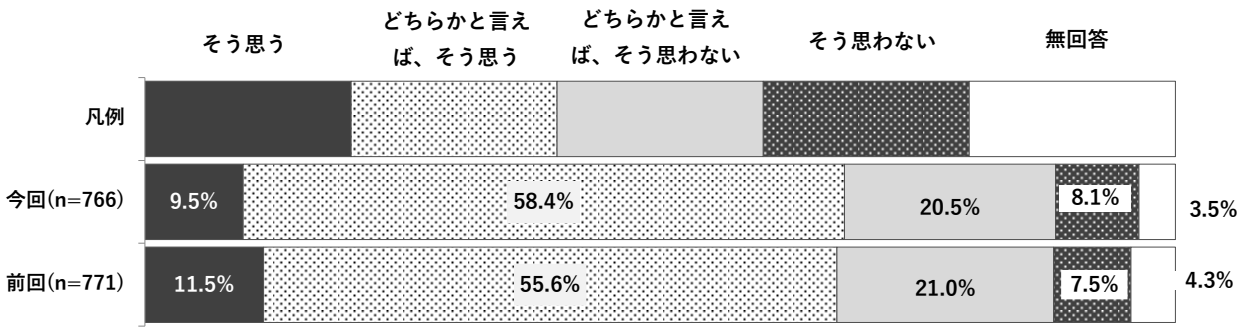


7．地域の活動について

（1）市民の活動について

■　春日市は市民の活動が活発なまちであると『**そう思う**（そう思う＋どちらかと言えばそう思う）』が**67.9%**となり、前回調査と同様の結果となっています。

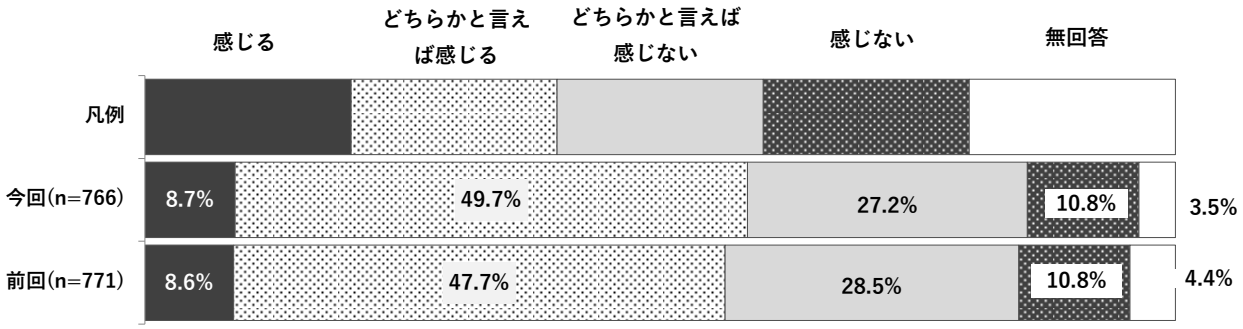
【問１６　あなたは、春日市が、まちづくりや教育、福祉の分野で市民の活動が活発であり、生活の場面の多くを支えていると思いますか。(N=766)】



（2）地域の連帯感について

■　春日市は地域の連帯感を感じるまちであると『**感じる**（感じる＋どちらかと言えば感じる）』が**58.4%**となり、前回調査より若干高くなっています。

【問１７ あなたは、春日市が、市民の交流の機会が多く、地域の連帯感を感じるまちだと思いますか。
(N=766)】

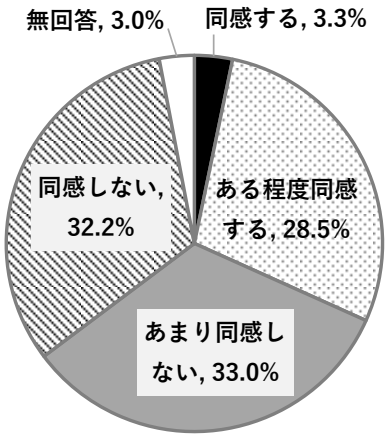


8．男女共同参画に関することについて

（1）「男は仕事、女は家庭」という考え方について

■　「男は仕事、女は家庭」という考え方について、『**同感しない**（同感しない＋あまり同感しない）』が**65.2%**となり、『**同感する**（同感する＋ある程度同感する）』の**31.8%**を上回る結果となっています。

【問１８　「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなたは、この考え方にどの程度同感しますか。(N=766)】



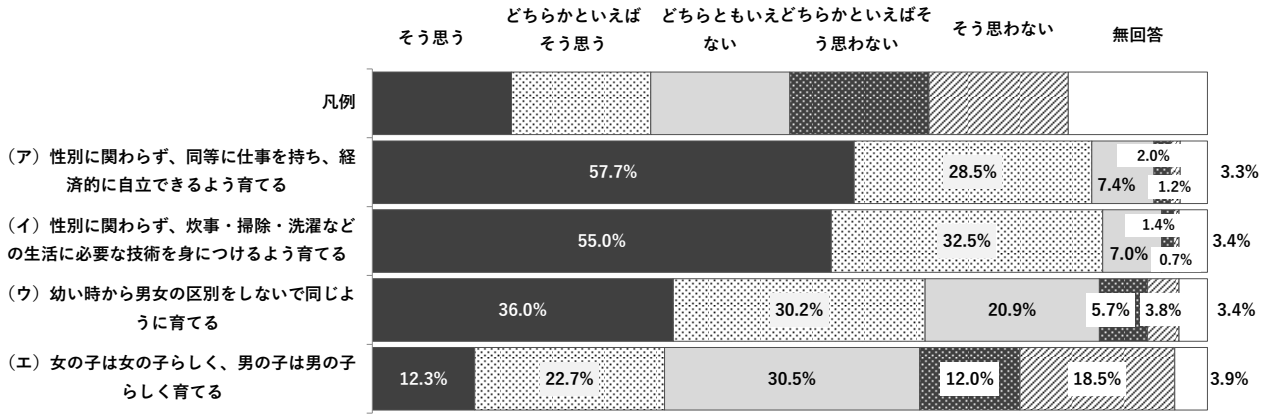
（2）子どもの育て方について

■　子どもの育て方について、「（ア）**性別に関わらず、同等に仕事を持ち、経済的に自立できるよう育てる**」「（イ）性**別に関わらず、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけるよう育てる**」の2項目は50%以上が「そう思う」と回答しています。

■　「（ウ）**幼い時から男女の区別をしないで同じように育てる**」についても、「どちらかと言えばそう思う」を加えた『そう思う』が66.2%と半数以上となっています。

■　一方、「（エ）**女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる**」については、『そう思う』回答と『そう思わない』回答が分かれる結果となっています。

【問１９ あなたは、子どもの育て方についてどのような考え方をお持ちですか。お子さんの有無にかかわらず、次の（ア）から（エ）のそれぞれについて、あてはまるものを選んでください。(N=766)】

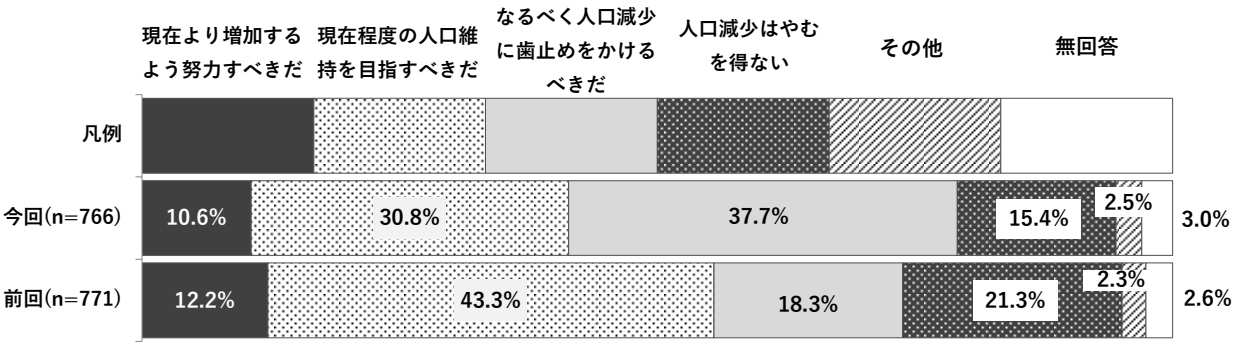


９．春日市の人口減少問題について

（１）人口減少に対する考え方について

■　将来的な春日市の人口が減少していくことについて、「なるべく人口減少に歯止めをかけるべきだ」が37.7%と最も高く、前回調査では、「現在程度の人口維持」が最も高かった（43.3%）ことと比較すると、人口減少はやむをえないと容認する方向に傾いていることがわかります。

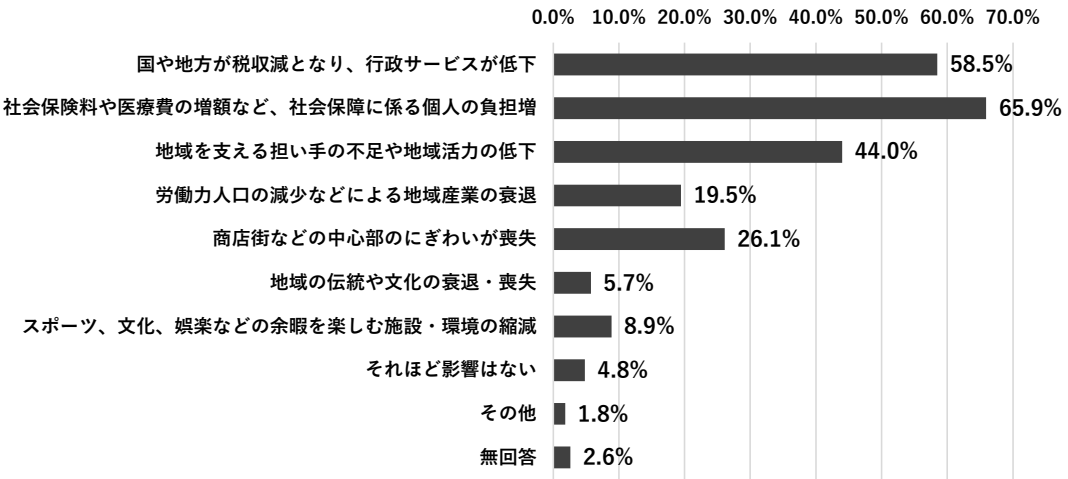
【問２０ 将来的に春日市の人口が減少していくことについてあなたの考えに最も近いものをお答えください。(N=766)】



（２）人口減少が与える社会への影響について

■　春日市の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響が大きく、不安に感じる点は「**年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増**」が65.9%と最も高く、次いで「**国や地方が税収減となり、行政サービスが低下**（58.5%）」となり、行政サービスに関する影響を不安視している傾向が高くなっています。

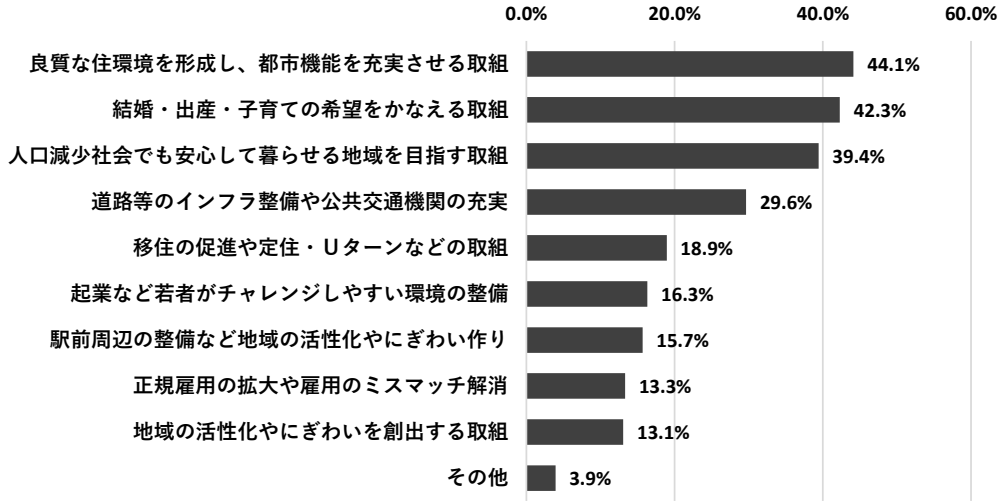
【問２１ 春日市の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、次のうち、影響が大きいと考えること及び不安に感じることは何ですか。（○は３つまで）(N=766)】



（3）人口減少を克服するために春日市が取り組むべきこと

■　人口減少を克服するために春日市が取り組むべきことは「**良質な住環境を形成し、都市機能を充実させる取組**」が44.1%と最も高く、次いで「**結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組**（42.3%）」となっています。

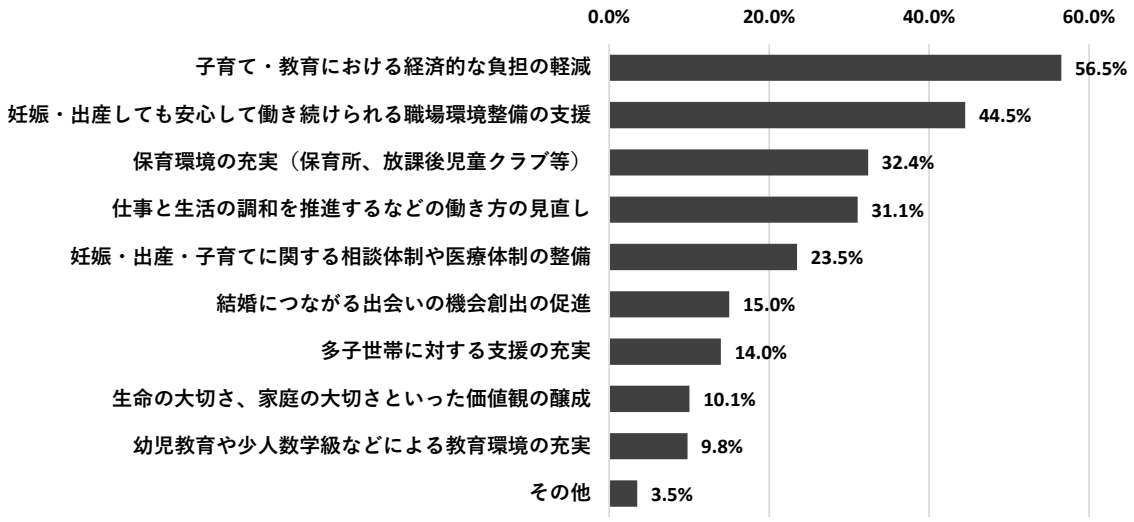
【問２２ 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、春日市が今後取り組むべきことについて、重視すべきことは何だと思いますか。（○は３つまで）(N=766)】



（4）少子化に歯止めをかけるために力を入れるべきこと

■　少子化に歯止めをかけるために力を入れるべきことは「**子育て・教育における経済的な負担の軽減**」が56.5%と最も高く、次いで「**妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備の支援**（44.5%）」となっています。

【問２３ 春日市がこれから少子化に歯止めをかけるため、どういった取組に力を入れるべきだと考えますか。（○は３つまで）(N=766)】



10. 自由回答

【問２４ 人口減少や少子化、これからのまちづくりなどについて、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。】

① 子育て・少子化対策（69件）

内容	性別	年代	居住校区
以前にも書きましたが、保育料の第２子半額の第２子の定義を「同じ保育所に通っている」ではなく、第１子の年齢に関係なく対象にしてほしい。同じ税金を払っているのに、なぜ歳が近い子がいる家庭だけ優遇されるのですか？春日市の財政ならできると思います。福岡市ぐらいまでとは言いませんが、もう少し子育て世帯に対して何かしらできると思います。病児保育も３カ所くらいありますが、中央か那珂川市よりにはなくて、結局利用できていないのでもっと増やしてほしいです。	男性	30歳代	大谷小
3人目から圧倒的に得をするくらいに優遇しないと無理です。	男性	40歳代	春日南小
人口減少・少子化は今後さらに加速化していくものと思われます。晩婚化だけでなく、結婚しない人の増加もあるが、そもそも恋愛をしない人も多いようだ。さらに同性婚などが増えると一気に人口減少が進むだろう。 一括りに言えないが、自我が未熟な若者が多いが、これは教育制度も問題があるように思われる。競争意識の低さや周囲への関心・意欲の欠如など、教育分野からも対策を講じる必要があると思われる。	男性	40歳代	須玖小
子ども手当は一時金ではなく、毎月手当を出した方が良い。例えば、子ども１人あたり月3～５万円、３人子どもがいれば9～15万円になります。	男性	75歳以上	春日東小
人それぞれだと思いますが、今より５～10万程度市民税を下げて頂けたら、結婚する人、子どもが増えるかと思います。	男性	30歳代	春日西小
出産費用の負担をなくす事	男性	70～74歳	春日小
出産前後の支援、幼児の医療費の改善等、教育費の支援、結婚祝い金等	男性	50歳代	春日南小
今年28歳の男ですが、同世代の多くが、結婚・子どもをもつことについて、お金の面で不安があります。春日市は子どもが多いまちだとの認識がありますが、引き続き、若者世代が安心して子どもを持ち、育てられるようなまちになってくれたらうれしいです。福岡市のオムツ宅急便など春日市に定住するメリットがもっとほしいです。	男性	18～20歳代	春日西小
春日市は学童入所の基準が厳しすぎる。午後２時から4時までの時間帯を含む、1日4時間以上、月16日以上と非常に細かい。近隣の自治体（福岡市、大野城市、那珂川市、筑紫野市等）はもっと緩く働きやすい。小学校入学まで週2から3日のペースで働いていた保護者は辞めるか、契約内由生の変更を行わなければならない。春日市の学童の料金も高い。子育てしやすいまちのイメージがあるが実態がともなっていない。	男性	40歳代	天神山小

内容	性別	年代	居住校区
福岡市から引っ越してきました。保育料等は福岡市くらい充実したものにしてほしいなと思います。	男性	30歳代	春日西小
家族で遊ぶことができるイベントを定期的に実施してほしい。屋内の遊び場の充実、授乳室、オムツ交換場所、トイレの清潔感の充実	男性	30歳代	春日野小
子育てのためにかかる費用について、妻は子どもと過ごす時間を確保するために時短で勤務しているが、保育園費用がかかるため扶養内で働くと収入が少なく、金銭的に厳しい。子どもとの時間を減らしてフルで働くと扶養を外れ社会保険に加入し、手取りはそんなに変わらないのに小学生の学童に預けるため別の費用がかかってくる。他の地域では学童の費用がかからなかったり、第3子保育無償化など、少子化をとめるための行動をおこしている。春日市は変化することへの抵抗が強いと感じている	男性	30歳代	春日西小
多子世帯やひとり親世帯、非課税世帯ばかりに支援があることに不満がある。そんな中で春日市が子どもの医療費を無料にして頂いた事はすばらしいと思います。少子化については春日市だけではないですが、東京都のように高校無償化の取組をして頂きたいです。共働きで収入があるとみなされ、補助が受けられず学費（高校）が高いです。子どもが増えるわけがないと思います。喫緊の課題です。	男性	40歳代	春日東小
粕屋町は人口が増加し、県内でもトップクラスの出生率の高さで公園などに行くと子どもの多さにびっくりしました。参考にしてください。	男性	65～69歳	白水小
子どもの教育・医療の経済的負担の無償化。母親への精神的援助など	男性	50歳代	春日北小
子育てしやすい市と聞いていたが、他と比べると実はそうではない。大野城市のような学童利用を誰でもできるようにしてほしい。目に見える少子化対策をしてほしい（家政婦事業の支援）	男性	40歳代	春日南小
子どもがいる家庭、いない家庭、欲しいけどできない家庭いろいろあると思いますが、それぞれに応じた政策、対策もっとできることがある。妻も妊活中ですが、妊活にもお金がかかるし、仕事もなかなか調整が難しそうなので、市が妊活をもっと、応援してくれるのであれば、（妊活で仕事を休んだとしても、生活費を保証するとか、年齢に応じた体外受精の保険適用の回数制限をなくす。など））少子化も食いとめられそうですが。 女性が社会で活躍することはとてもいいことですが、妊娠、出産が、働く女性にとっては、しがらみになっていることも多いと思うので、なにか市で取り組めることがあるなら取り組んで欲しい。	男性	30歳代	春日野小
子育て支援など経済面での負担軽減策	男性	60～64歳	須玖小
経済的負担の少ない長時間保育、学童保育	男性	50歳代	須玖小
金銭的な問題から子供作るのを諦める・先延ばしにする若者がいると聞きます。子供がいる家庭への継続的な支援や負担軽減のための施策を望みます。	男性	18～20歳代	春日東小
医療や教育の無償化など子育てし易い街づくりを推進してほしい	男性	75歳以上	春日東小
春日市が子供達への投資をする。	男性	40歳代	春日小

内容	性別	年代	居住校区
保育料を第２子以降は無償にしてほしい。福岡市は無償です。	女性	30歳代	春日南小
【子育ての充実】医療費無料化の年齢を18歳未満に引き下げ、子育てするにあたって、遊び場所をみていると外の活動に関するところはかなり豊かになったと思う。しかし、雨天に室内遊びができるところ、体育館のような施設に自由に親子楽しめる空間があると嬉しい。以前、福岡市に「あいあい」という、子どもが食べ物に関する事を遊びながら学べるところがあった。今はないがとても良かった。安心して遊び、学べるこのような空間があると良い。	女性	75歳以上	須玖小
子どもを増やすという政策に重きをおくならば、結婚せずに出産した母子には手厚い体制が必要だと思う。女性が子どもを一人でも育てられる社会になっていってほしい。	女性	50歳代	春日野小
お子様はいる家庭にスポットがあてられる事が多いけれど、子どもができなくて夫婦で暮らしている方もたくさんいると思う。お子様のいる家庭にはお金を。みたいな事はたくさんあるけれど、子どもがいない家庭は疎外感を感じてしまう。子どもがいなくてもワクワク感があるような地域であると人が集まってくるような気がする。	女性	40歳代	春日原小
春日市のみではなく、女性の方も考え方は変化しているとは思いますが、子どもを育てるのは小学校、せめて３歳、年少時までは母親とか両親と過ごす時間を多くした方がいいのでは。愛情不足でこれから成長していく上で人情味のない人間が増えている気がする。女性も働きたい人ばかりではない。	女性	50歳代	春日小
子育て支援に関する助成金は福岡市が充実しており、同等は無理かと思うが、今よりは増やした方が良いと思う。保育士の給料が安すぎて、娘は保育士だったがすぐやめた。まずは保育士の待遇をかなりあげないと働き手がいなくなるし、女子が仕事したいと思っても預けられなくなると思う。小さい子どもがいる人は短時間労働を選べるようにしないと子どもが寂しいと思います。	女性	50歳代	春日南小
10月からこども医療費の18歳まで無料になる助成拡大は子育て世代にとても魅力的なものだと思います。	女性	40歳代	春日南小
保育園に入る、その後、少しの熱でも早退・休むなど、キャリア形成を考えると、子どもを持つ事は難しい。小学校に入っても、親が何かと出る事が多い。朝の通学の見守りもすると仕事に遅刻するなど、産む時ではなく、その後の小学校卒業までの10年以上の負担（主に女性）を考えると、少子化になるのも仕方がないと思う。シルバー人材センターの人材などで何とかならないものか。	女性	40歳代	春日東小
ミルクやオムツの定期便をしてほしい。保育園に入りやすいようにしてほしい。子連れで行ける外食をマッピングしてほしい。子育て応援パスポートが使える店がわかりにくい。	女性	18～20歳代	天神山小
子育て世代の負担を肉体的・精神的・金銭的に少しでも軽くしてあげられる取組をしてほしい。	女性	50歳代	天神山小
出産費をアップしてほしい。子育ての時、手助けをしてあげてほしい。	女性	60～64歳	春日野小
子ども達が安心して外で遊べるまちづくりを希望	女性	65～69歳	春日西小
主婦が短時間、気楽に子どもが預けられる場所があるとうれしい。	女性	30歳代	春日南小

内容	性別	年代	居住校区
専業主婦だった私の子育てと共働きの今の子育てはずいぶんと違う。県外に住んでいる息子夫婦は共働き、子どもは2、3人ほしいけど、経済的に無理、共働きしないと生活できない。いつも仕事・家事・子育てに追われているように感じます。保育施設や仕事時短等を充実していけば安心して出産し、少子化は歯止めがかかるのでは。	女性	50歳代	春日原小
保育環境を充実するためには、まずそこで働く保育士の処遇の充実が不可欠だと思う。完全週休2日や給料のベースアップ等で良い人材確保が必要だと考える。「春日市の保育所で働きたい」と思える環境をつくってほしい。保育士だけでなく、老人施設の充実のため介護士に対しても同じことが言える。	女性	50歳代	春日小
市報により、様々な取組を努力されている市だと感じています。市長さんも身近に感じ、安心して暮らす事ができる市で住みやすいです。昨今、性の不一致による裁判事例が目につきますが、日本は女性天皇制度を認めない限り、性の不一致による結婚は認められないと思っています。また、子育てに関する費用の高額さは少子化に影響していると思うため、高校までの義務教育化、教育費の無料化は子どもを持とう、という意識高揚につながる。	女性	40歳代	春日原小
春日市に限らず、子育てにお金がかかりすぎるから、単身者の方がいいと思うし、シングルマザーでは仕事も家事も全部ワンオペでがんばっても経済的に苦しい。	女性	40歳代	春日野小
幼稚園の園児数減少でクラス数が減っているので、少子化を身近に感じるようになりました。子育て世帯への支援等がもっとあれば良いなと願っています。	女性	30歳代	須玖小
少子化は若者が結婚しても、子ども達の生活資金やその他の経費がかかるので育成のための資金を充実させ助成金を増額したら良いと思います。最低二人の子どもを誕生させたら少子化対策になるでしょう。	女性	75歳以上	天神山小
結婚・出産・子育ての3本柱で春日市なら住んでみたいと思い、子ども達を育ててゆく夢がいだけるまちに。「母親にやさしい春日市」保育環境の充実、金銭面でも子どもの成長に応じた支援をする。	女性	70～74歳	春日小
土日に子どもを預けられる所を増やす又は紹介してほしい。専業主婦だと土日に子どもを預けられる所がない。春日市内の保育園に一時預かりをお願いしようとしても、仕事をしていないと預かって貰えないのを知っていますか。今、春日市が一時預かりを紹介している保育園全部です。	女性	30歳代	春日西小
認可保育園が少なすぎる。母が勤める保育園も建物も立派なのに認可ではない。保育士も不足している。そもそも保育士の給与が低すぎる。もっと援助があれば十分な保育士の確保ができるのでは。認可と同じ系統なのに無認可という理由で保育料もかかる。	女性	18～20歳代	春日南小
子どもを産みたいと思えるように卵子凍結保存などの費用を保険適用にするなどの対策が必要。 障害のある子どもが産まれた際にも障害の種類によってかかる費用もバラバラなのでより良いサービスを受けられるように充実させる。 保育士・介護士など、人の世話をする職種の方への賃金を増やすべき	女性	18～20歳代	春日南小

内容	性別	年代	居住校区
まずは経済的に安心して子育てが出来る社会にしてほしい。まだ子どもを生んだら罰ゲームみたいな社会である。	女性	50歳代	大谷小
子供達が外でのびのびと遊べる施設が増えて欲しい。支え合える街になって欲しい。	女性	40歳代	天神山小
まだ当たり前に、女性の立場が弱そう。離婚してシングルマザーになった場合、養育費を貰っていない女性も多い様子。この辺りは必ず支払われる様に是正が必要。子供を持つ事や子育ては、まず安心をつくる所から。	女性	40歳代	春日原小
よく見かけるスーパーの光景として大人（特に母親）が疲弊しイライラしている人が多く見受けられるように思います。私もそうですが余裕がないのです。時間的余裕・お金・子育ての協力体制この3つのどれかだけでも行政や企業から恩恵を受けているということを実感することが大切で、恩恵を感じることでその先に市に対して愛着が生まれてまちづくりにも目がいくようになるように思います。また、子育てすることで感じられるメリット（精神論ではなく）教育・医療の充実・経済的な豊かさなどが感じられると結婚・出産をしていいかもっと思う方達は増えるのではないかとも思いました。	女性	40歳代	春日西小
春日市に限った話ではないですが、人口減少が悪化の一途を辿っているのは、若者に金銭的余裕がなく、将来に不安を抱えているからだと考えます。少子化問題を解決するためには、実質賃金を上げ、安心して子育てができる環境を整備することが必須だと思います。また、今の日本は不況の渦中にあり、活気がなく、環境さえ整えば良いという話でもなくなってきています。さらに言えば、子供を持つこと自体が完全にデメリットだと捉える人も少数派ではなくなってきているように感じます。テレビCM等を通して子供を持つことのメリットを知らせたり、子供のいる円満な家庭像を提示したりすることで、若者の心に訴えかけていく必要があるのではないでしょうか。	女性	18～20歳代	春日南小
仕事（正社員）を続けながら子育てをしていく予定です。仕事と育児の両立はなかなか難しいものだと理解しています。妊娠すれば担当業務から外されたり、子供の体調不良で周囲に謝ったり、男性と対等に働きたいのに、両立に苦労したりします。 就業環境は事業所内の人間関係等に左右されるもので、すぐに解決できるものはありません。しかし、保育園への預けやすさ、病児保育の利用のしやすさなど行政からのサービスで、共働きの夫婦は随分と助かると思います。 たくさん子どもは欲しいけれど、仕事と子育ての両立に自信がないと感じています。しかし共働きでなければ、子どもを大学まで進学させることは難しく、子どもの希望を叶えてあげられる親でありたいと思います。贅沢かもしれませんが、女性も男性も仕事も家庭も子育てもどれも大切にしながら幸せな生活ができる世の中になることを願っています。	女性	30歳代	白水小
子どもがいることで得られるサービス等があれば、子どもも楽しく、親も嬉しい	女性	18～20歳代	春日南小
福岡市と比べると子育ての経済的援助、医療費援助が少ない。子どもを遊ばせる場所が少ない。	回答しない	50歳代	春日南小学校

内容	性別	年代	居住校区
子育てに悩みがあっても、日々仕事も大変で支援場所に行くこともなかなか気軽には難しい。子供が3人いると、順番で熱を出し、仕事も思うようにできない。 学童や病児保育等あっても、子どもは嫌だと泣かれてしまいます。 実際子供を育ててみて、子供をたくさん欲しいと思う人を増やすのは難しいと感じます。	女性	40歳代	春日南小

② 教育（学校教育・社会教育・給食）（18件）

内容	性別	年代	居住校区
貧富に関係なく平等に希望すれば大学まで進学でき、教育にお金がかからないように子育てに負担かからないようにしてください。	男性	70～74 歳	天神山小
子育てにはお金がいる。特に教育の支援が重要です。	男性	70～74 歳	天神山小
私たちの世代は学校教育において、結婚観や人生設計などを学んだ覚えはありません。時代によって教育内容は変わるものと思いますが、今後の子どものためにもいろいろな角度から生きていく上でのヒントになるような教育の時間があると良いなと思います。	男性	50 歳代	天神山小
春日市内の子ども等の政治関心が低くなっているように感じる。春日市の行政ではどういうことをしているのかなど、中学生向けに話すことによって、若い世代の政治への関心が少しでも高くなるうえに中学生の学びにもつながる。	男性	18～20 歳代	日の出小
学校教育と地方自治の交流拡大	男性	75 歳以上	春日北小
中学校に給食があってほしい	男性	40 歳代	天神山小
少子化で子供が減って、家から学校までが遠い家庭は１人で長い距離を登下校になる可能性もあるので、住所で学区を決めるのではなく、家から近い学校等を自由に選択できるようになるといいと思う。 我が家も中学校までがすごく遠いので、不安。	男性	40 歳代	大谷小
教育に力をいれてほしい。	男性	50 歳代	春日野小
男性が育休をとった方がいいという動きが最近みられるが、それはその通りだが、その前に「子どもを育てる」とはどういうことなのか。小中学校から教育を受けさせてほしい。育休を男性がとったところで、女性のかわりに育児・家事をしている男性が何割いるのか本当に疑問。男性も考え方を変え、仕事・家事・育児を両立できるようにならない限り子どもは増えないと思う。そのためにも、小さい時から学校で教えてほしい。もしくは婚姻届を出す時にガイドブックのようなものを渡したりするべきだと思う。	女性	30 歳代	白水小
子ども達が平等に学んで学校生活をより良いものにするため、学校給食の無償化（小中学校）を進めてほしい。	女性	40 歳代	春日南小
公立小中学校の質の向上を望みます。教職員の熱意が働き方改革により損なわれているように感じます。子どもが育つ上で１日１日の時間は大切で戻ってきません。毎年クラス替えをするようですが、いつも落ち着きのない子と一緒になり注意ばかりの時間が増して勉強時間が少なくなっているようです。今から成長していく子ども達を大切に育ててほしいです。	女性	70～74 歳	天神山小

内容	性別	年代	居住校区
春日市全体で抜きんでた教育レベルをつくり、福岡県内でも子育てに選んでもらえるような個性をつくる。教育にはお金がかかるので、その分、結果的に高所得な人が移住し、税率が向上するかも。	女性	40 歳代	春日野小
中学校の学校給食がないと聞いてびっくりしました。共働き世帯が増えている中、子育て世帯を呼び込むためにも必要。	女性	65～69 歳	春日南小
春日市は人口が増え続けているのではないですか？孫が春日南小学校に入学しましたが 31 人の 5 クラスもあります。先生の目が行き届いているのか不安です。	女性	65～69 歳	春日南小
中学高校で、20 代で出産するよう教育すべきだと思う。	女性	50 歳代	春日西小
ある程度の人口減少は仕方ないと思う。数少ない、生まれてくる子たちを、いい環境で育てられるような努力が必要。特に公教育の質の低下は気になる。	女性	50 歳代	春日東小
中学校の完全給食実現を早急に願います。5 年以内に中学校に進学する子を持つため、現状を不安に感じます。太宰府市も実現しているので、ノウハウを聞くなり共に協力するなりして春日市も実行していただきたいです。	女性	40 歳代	春日南小
学校での ICT 設備を急ぐべき。福岡市に比べるとかなり遅れています。また、学校教育をアップデートする必要があると思います。	女性	30 歳代	春日南小

③　公共交通（15件）

内容	性別	年代	居住校区
バス等の交通の便を良くしてほしい。さらに星見ヶ丘付近では渋滞がひどいので道路整備が必要である。星見ヶ丘から博多南に直行で行けるバスの新設	男性	70～74 歳	天神山小
西鉄・JR 間とのバスの連携・駅とアクロスモール等の繁華街との連携	男性	50 歳代	須玖小学
コミュニティバスを利用していますが最近、若い人の乗車が増えて年配者が座る事ができない時もあるので、１時間おきではなく、１時間に１本もしくは朝の時間には本数を増やしてもらえないかと思います。	女性	65～69 歳	春日南小
やよいバスの 1 日の便を増やしてほしい。西小校区のバス停も増やしてほしい。	女性	40 歳代	春日西小
【交通の便】やよいバスがあるが、今ひとつ便利さを考えてほしい。年寄りは時間があるが元気がないので、センターまで行って各所へ乗り換えは時間がかかりすぎて困難であるので、途中でやよいに乗り換えられるような時刻表の考慮をしてもらえたらと願っています。	女性	75 歳以上	天神山小
まちづくりでは、春日市は地形的にすごく優利だと思います。できないのは行政のやり方の問題だと思ってみています。10 月からやよいバスが無料になるそうなので外出するようにしたいです。	女性	75 歳以上	天神山小
コミュニティバスのバス停に屋根のある待ち合わせ場所があると助かります。	女性	70～74 歳	春日野小
やよいバスの増便希望。	女性	50 歳代	春日南小

内容	性別	年代	居住校区
平田台の交通面が悪すぎる。やよいバスは駅まで行かない。西鉄バスが通るようにしてほしい。駅から遠いので大変困っています。	女性	18～20 歳代	春日野小
以前住んでいた長崎と比べ、タクシーが少ない。交通の便が悪い。やよいバスを利用させてもらっていますが、２時間に１本なんてあまりにも少なすぎる。料金をあげていいからせめて１時間に１本は欲しい。	女性	70～74 歳	春日南小
春日市に住んで交通の便利は感じます。駅の利用にあたり、バスの利用する本数が少ない。	女性	75 歳以上	春日小
免許返納者や高齢者へ福岡市のようにバスチケットやタクシーチケットを配布してほしい。	女性	50 歳代	須玖小
高齢化が進むのに、市内の交通手段が少ない。乗り合いタクシーややよいバスの増便などを考えた方が良い。	女性	65～69 歳	春日東小
高齢化に伴い、自家用車以外の移動ができるよう、コミュニティバスの充実やタクシーの利用はしやすい環境など整備されると安心して生活できます。	女性	65～69 歳	大谷小
やよいバスの本数を増やしてほしい。	女性	65～69 歳	春日南小

④　公園・社会教育施設（12件）

内容	性別	年代	居住校区
子どもを育てるために公園などを少しでも増やしてほしい。老人にとってもゆっくりできる場所にもなるのではないでしょうか。		75 歳以上	白水小
福岡県における春日市の果たすべき都市機能はベッドタウンとしての機能がこれからもより求められると思う。春日公園と同じ規模の公園がもう一つあればさらに良いと思う。	男性	60～64 歳	天神山小
スポーツセンターのウォーキングコースが整備されて犬の散歩ができなくなりました。犬を介してのコミュニケーションの場を失ったことをどう思われますか。	男性	60～64 歳	大谷小
自転車を練習する場所が少ない。道路は学校にクレームがくるし公園は禁止が多い。	男性	40 歳代	天神山小
大野城市にはあるが、広い室内の子供が遊べるような環境がない。 加えて、魅力的な市民プールがない。	男性	30 歳代	春日小
・池の周辺整備・公民館のエレベーター設置・公民館のＨＰ開設（市が行う）	男性	75 歳以上	春日南小
公民館にエレベーターが必要。	女性	50 歳代	春日南小
春日市の一等地にそびえ立っている「グローバープラザ」の存在価値が伝わっていないのでは。すばらしい建築物だからこそ、市民がより良く利用できるような空間をつくって頂きたいです。例えば、まだまだ元気な高齢者のサークル、就業場所や子育て世代から中高年と多くの方が安心して気軽に利用できる空間をつくって頂ければうれしいです。	女性	50 歳代	春日東小
那珂川市のミリカローデンみたいな図書館になればうれしいです。	女性	40 歳代	春日西小

内容	性別	年代	居住校区
近くに一の谷第１公園があります。子どもが友達とサッカーをするのをとても楽しんでいました。ある日突然看板が立ち「ここでボール遊びをしてはいけません」と。警察の方が来られているのも見て、怒られそうだからと遊びに行かなくなりました。近所の方も同じことを何人も言っていました。子どもを増やそうとするならば、子どもの楽しむ場を奪わないでください。フェンスを高くするなり、楽しめるよう工夫をしてください。フェンスを高くするなり、楽しめるよう工夫をしてください。外にあそびに行けず、家でゲームばかり。親も子もストレスです。	女性	30 歳代	春日西小
健康のためのトレーニングは体育館中心ではなく、大野城市のように市民が選べる場所を 2，3 箇所設けてほしいです。コミュニティバスは時間もかかるし、本数も少ないので不便です。	女性	70～74 歳	春日原小
子どもが自由に遊べる公園ではボール遊びもできずにとてもかわいそうです。住宅地にある公園などボール遊びが禁止されている。見直してほしい。	女性	40 歳代	天神山小

⑤　まちづくり・都市開発（11件）

内容	性別	年代	居住校区
春日市は面積が 14 ㎢程度の小さな自治体であるにも拘わらず、国や県が所有する広大な施設が多数存在します。市のトップが市民のためにこれらの施設をどこまで縮小しようと本気で考えるかがこれからのまちづくり戦略の理念につながることになると思います。		70～74 歳	春日南小
春日市としての存在意義を明確にしなければ地方都市として埋もれてしまう。若者が住んでみたいと思えるような将来に向けたビジョンを若者を中心に意見をまとめ、打ち出し、全国に発信すべきだと思う。	男性	75 歳以上	大谷小
子育て支援、少子化対策も結構だが、人口減少・高齢化の潮流は変わらないと思う。労働力の減少対策や春日市の人口規模・面積を活かしたコンパクトシティ・スマートシティへの方向も検討価値があるのではないか。	男性	40 歳代	天神山小
数年来の課題である労働生産性の低さを解消し、人口が減少しても国力を維持できるような施策を推進する。私が子どもの頃に比べ、小中学校の数、人口は倍近くになっている。人口減少に対する施策は必要ないのではないか。	男性	75 歳以上	春日西小
都市機能を充実させる取組の整備と充実	男性	70～74 歳	春日東小
団塊の世代の方達がどんどん減っていく中で、明るい未来とかでは無く住みやすい環境づくりやインフラ設備を充実した取り組みを早急に実施する事です。土日の道路の混雑解消を早急にやる事です。古賀誠の様な方が出て来て欲しい。	男性	70～74 歳	春日野小
春日市に住むとメリットが沢山と思える市場整理。家賃補助や転入費用の補助など	男性	60～64 歳	天神山小
大橋、二日市の賑わいに負けないような春日原駅周辺の再開発に期待しています。	男性	40 歳代	春日南小

内容	性別	年代	居住校区
移住しやすい町づくり（支援金補助制度）	男性	70～74 歳	春日野小
春日原駅近辺のみにぎわっている感じ。住宅地が多いということもあるが、市全体が活気のある感じがしない。	女性	60～64 歳	春日西小
人口減少社会に適した行政の在り方への改革を望みます。集約型都市へと変えていく時点で各集落にもう少し広い緑化公園を集落の近くに設けてほしい。東京の方から緑化が進んでいます。西鉄の高架下を緑道にして散歩やスポーツができる施設としてほしい。	女性	50 歳代	春日原小

⑥　行政・税金（10件）

内容	性別	年代	居住校区
税金対策、住民税・固定資産税の高さ	男性	40 歳代	春日北小
人口が違うから仕方がないのですが、水道・ガス（ライフライン）の基本料金が高いのも、福岡市へ移ってしまう要因ではないでしょうか。	男性	40 歳代	春日北小
高齢化社会・少子化の影響により、全国的に人口減少は明らかであることから、福岡都市圏内の春日市としては単独行政ではなく、福岡市を含めた近隣自治体との連携を図り都市圏一体となった行政を行い、人口減少に歯止めをかけているべきではないだろうか。	男性	75 歳以上	春日東小
大野城市との合併も視野に入れる。 那珂川市と連携し、通常の研究ではない画期的な研究都市をつくる。	男性	50 歳代	須玖小
まちづくりや環境整備ではなく、金銭的補助をすべき。環境を変えるのには時間がかかるが、金銭的補助があれば仕事の時間を減らせ、習い事や保育・出産費用などの高額で悩むことを減らせる。人口が増えれば、働き手が増えるので、増収となり市の税金も回収できる。	男性	30 歳代	春日北小
市県民税が高すぎる。	女性	50 歳代	須玖小
マイナカードの義務化を辞めてほしい。春日市の水道料金を安くしてほしい。	女性	30 歳代	春日西小
固定資産税の減額を望みます。	女性	65～69 歳	須玖小
高齢者が増え若者が減りました。 これから人口減少や労働人数も減っていくと思っています 私は 20 代で若者部類ですが、若者は給与が低いのに国に納めるお金は高いと感じております 今の政治に期待などしていません。	女性	18～20 歳代	春日西小
免許返納した後の生活が不便になりそう。水道代が高い。	回答しない	50 歳代	春日南小

⑦　高齢者・地域福祉（9件）

内容	性別	年代	居住校区
他県で元気な方が福祉のお手伝いをポイント制にし、それを自分の老後または他県の親に使える制度がありました。人手が不足する中、ボランティアばかりでは大変なのでは。お買い物や病院の付き添い等をポイント化し、ポイントがたまったら本人が支援を受ける時に使える仕組みがあるとよい。		75 歳以上	春日西
なぜ、なぎのえんからヘルストロンを外したのか。福祉センターに置いていないのは春日市だけ。大野城市はいこいの里と社会福祉協議会の２カ所にある。収益はとれているはず。	男性	60～64 歳	春日東小
高齢者が住みよい春日市にしてほしい。例えば、交通の便、出前の買物販売、冬季の灯油販売を補助してほしい。	男性	75 歳以上	春日南小
老人が公民館等で体力づくりのための体制づくりを急いでつくってほしい。	女性	75 歳以上	春日西小
高齢者が心配・不安に思うことなく、楽しくすごせる福祉に取り組んでほしい。	女性	50 歳代	天神山小
就業していなくても、子どもを預けられる制度や元気なお年寄りと子どもが交流しながら見守るような制度があればいいと思う。お年寄りもデイサービスに行くだけではなく、まだまだ世の中で役に立ちたいと思っているはずだ。	女性	60～64 歳	春日西小
老人と子供がともに活動する場所が増えればよいのでは。	女性	30 歳代	春日西小
紅葉ヶ丘の福祉推進員をしていますが、いきいきサロンやお誕生日訪問などで、どのような状況で暮らしていらっしゃるのか把握しながら、今後の生活にプラスになるような訪問を続けていきたいと思います。お年寄りの見守りネットワークの拡充、子育てサロンの推進をがんばっていこうと思います。	女性	50 歳代	春日南小
自助を求めすぎないでほしい。共助は地域のつながりを大事にすることで、ある程度できることは増えると思う。人が孤立化、孤独化しないよう様々な働きかけが必要。公助をもっと充実してほしい。近隣他市に比べて支援が少ないことが多い。特に子育て世代と高齢者への支援を充実させてほしい。	回答しない	65～69 歳	春日野小

⑧　住宅・土地（7件）

内容	性別	年代	居住校区
交通の便のよい場所で手ごろな価格で住宅を購入できるようにしてほしい。	男性	50 歳代	春日野小
子育て世帯への補助金を出す。住居を購入する若い世代へ一定の補助金を出す。	男性	75 歳以上	春日西小
春日市の土地代が高くて、春日市が好きでも、春日で家を建てない、建てられないとよく知人が言っています。もっと人口を増やしたいのであれば、補助金など打ち出すべきではないかと思う。	男性	30 歳代	春日野小
空き家対策等やれば出来る	男性	75 歳以上	春日南小
空き家が多すぎる。空き家バンクの取組を充実する。	女性	75 歳以上	春日西小

内容	性別	年代	居住校区
地価が高騰し住みにくくなっている。少子化は国の問題で春日市だけでは無理。	女性	65～69 歳	春日東小
最近では春日周辺の物件なども賃料が高く諦めている人も多いと思う。もう少し安くできるのであれば検討すると人口も増えると思う。	女性	18～20 歳代	春日原小

⑨　雇用・働き方（7件）

内容	性別	年代	居住校区
少子化はやむを得ないが、若者が減ると困りそうだ。若者が働けるまちづくりをするべきだ。	男性	50 歳代	春日北小
契約社員を減らして、安心して仕事ができるようにする	男性	75 歳以上	日の出小
・若い人が結婚・自立できるような職場環境の整備に国が何等かの対策を立てること ・AI やロボットなどが進化すると人手不足も職業を奪われて自立も難しく破綻するかもしれない。	男性	75 歳以上	日の出小
母親が働ける環境を作る	男性	40 歳代	白水小
働き続けたいと思う職場と、子育てを両立しようとする女性は素晴らしくすごいと思う。そんな女性をどうやったら春日市に住んでいて良かったと思わせることができるのか。何が魅力的価値なのか。	女性	40 歳代	春日野小
共に働き、共に育てると言えば聞こえはいいですが、毎日、終電まで働く生活をしていれば考えられないと思います。人手不足でやる仕事がたくさんあるようです。人口は減ると思いますがシニアは増えると思います。心身元気な方々には、いろんな方面で活躍して頂くのが良いのはないかと思います。	女性	50 歳代	春日西小
もっと高齢者が働ける場所・機会があるとうれしい。	女性	60～64 歳	春日西小

⑩　商業施設・産業振興（7件）

内容	性別	年代	居住校区
イオンクラスの商業施設ももう 1 つはほしいところです。	男性	60～64 歳	天神山小
企業誘致して税収をあげてほしい。	男性	50 歳代	春日北小
春日公園や白水大池公園など大きな公園もあり、図書館やウールも充実しており大変良い市だと思います。強いて言うなら春日原駅、博多南駅の周りがさみしいところです。わざわざ行きたくなるような駅ではないので。ショッピングモールやアクロスモールがありますが空きテナントが多く、活気はあまり感じられません。リニューアルして雰囲気は少し明るくなりましたが、商業施設を充実させてもらえるともっと住みたくなると思います。	男性	40 歳代	春日小
西鉄高架下の有効活用（起業者への貸し出し）外国人労働者の活用。	男性	70～74 歳	春日野小
春日市は住宅が多い。事業所を誘致する施策を考えてもらいたい。	女性	50 歳代	春日南小
食品に添加物が多すぎる。オーガニックスーパーや有機野菜を増やしてほしい。	女性	30 歳代	春日西小

内容	性別	年代	居住校区
先日お知らせがあったスマイル商品券に魅力を感じませんでした。1万円分で1万3千円の買いものができるではあまり商品券を買いたくありませんでした。ポイントがついたり、春日市のゴミ袋が安くなるなど、そういった方が私は魅力的です。また、春日市は生ごみ専用のゴミ箱を買う際、補助金を出していただけたりしますか	女性	18～20歳代	春日西小

⑪ 結婚（5件）

内容	性別	年代	居住校区
結婚に意味や価値を見出せるような施策。経済的な理由で結婚をあきらめている人が多いように思う。	男性	75歳以上	春日西小
・人口減少・少子化に悔いは子どもに対していろんな援助をしていますが、原因は若い男女の晩婚や非婚化で特に男性にその傾向があり、辛抱・忍耐力が欠如していると思います。	男性	75歳以上	日の出小
若い世代の独身者が参加できる企画を計画してほしい（30歳の集いや中学OBの同窓会など、30～40歳くらいの年齢が参加できる企画がなく出会いが少ない）	男性	50歳代	須玖小
結婚しやすいように、仲人を市が引き受けて頂ける取組をしてほしい。自ら縁をつくることが難しい時代だから。	男性	40歳代	春日西小
子どもをつくりたい、これから結婚したら絶対に子どもをつくるという男女だけを集めて婚活パーティをするといいかもしれません。ただ親が結婚しろというからという子どもたちの出会いではなく。	女性	50歳代	天神山小

⑫ 安全（4件）

内容	性別	年代	居住校区
防災について 星見ヶ丘居住であるが、元ゴルフ場に搬入されてできた盛り土を何とかして欲しい 崩れてからじゃ遅いと思います	男性	30歳代	天神山小
水や緑などの豊かな自然環境を適切に維持・整備していってもらいたい。防災・防犯面でも安心して暮らせるまちづくりをお願いします。	女性	60～64歳	白水小
桜の樹がどんどん減っているのが悲しい。春日市なのに。 夜のまちが暗すぎて大人でも怖い。高い位置にある古い街灯だけでは足りない。海外ヨーロッパの町のような腰高の向こうから歩いてくる人の顔がよく見えるような街灯を増やして、素敵な雰囲気のまちになってほしい。	女性	50歳代	春日南小
様々な行政サービスにより、犯罪のない安全で安心して子育てができる町として認識されて、若い家族が自然と増えることを期待いたします。	女性	65～69歳	春日東小

⑬　地域コミュニティ（4件）

内容	性別	年代	居住校区
春頃に行われた下白水第２公園でのお祭りのような、地域の方々が集まって盛り上がれるような行事をもっと行うべきかと思います。	女性	18～20 歳代	春日西小
自治会役員は報酬、地位、目的で地域を良くしようという気持ちがうすれています。地域を良くしようという気持ちが薄れています。自治会に協力しようという人が少なくなっています。市の方か指導してください。	女性	75 歳以上	春日西小
元々の住民の方たちの考えが強い感じを受けます。転勤してきた者に対して、あまり受け入れてくれない	女性	40 歳代	春日野小
我が家の子どもはコミュニティスクールの取組によって、地域に愛着を持っているとのことです。子育て支援、経済対策（春日市に住みたくなる）によって、地域の魅力が増して、人口が増え、活気があるまちになることを期待しています。	女性	50 歳代	白水小

⑭　歴史・文化（4件）

内容	性別	年代	居住校区
春日あんどん祭りの花火大会の復活	男性	40 歳代	春日小
福岡市のように一部で路上アーティスト登録などして音楽交流を市民全体に受け入れていくまちづくりを期待します。春日公園など音楽でエイジレスに社会活動することで市や近隣での活性化が促進され、双方に良い影響があるのではないかと思います。春日公園はとてもすばらしく、他の都市にも誇れるものだと思っています。	男性	40 歳代	春日北小
春日花火祭りの復活	男性	70～74 歳	春日野小
春日の祭りを以前のように。賑わいがほしい。近隣と比べいろいろと活動が劣っているように思う。	女性	65～69 歳	春日野小

⑮　その他（14件）

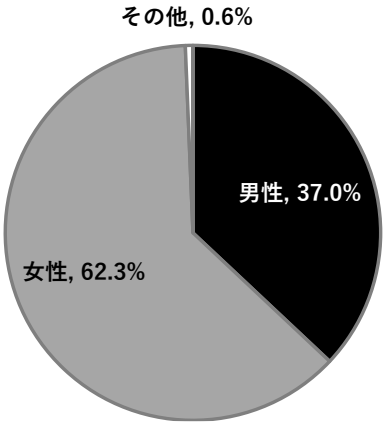
内容	性別	年代	居住校区
アンケートは春日市のラインがあるのだからそこでアンケートを取り、年１回ではなく、タイムリーに対応すべき	男性	30 歳代	春日北小
若者に出る杭を叩くようなことをしては一向に良くならない　規制やルールで縛りつけ過ぎてなにもできないオーバールールである　実務経験がないと他業界に参入出来ない縛りは無くすべき万人がどの業界でも自由に参入できるようにすべき、そうしなければ業界の競争や発展が生まれない	男性	30 歳代	須玖小
経済的な支援も必要と思う	男性	75 歳以上	春日東小
市民全体でバックアップできる市政作りをお願いしたい。	男性	60～64 歳	春日南小
ゴミのポイ捨てがとても気になります。市役所の方たちでパトロールをかねてゴミ拾いをしたりしてほしいです。特に公園周辺は業者の方を雇うのではなく、自分たちが動くべきかと。	女性	18～20 歳代	春日西小
旅行や趣味のサークルをつくってほしい。	女性	65～69 歳	春日東小

内容	性別	年代	居住校区
私は 3 年前に難病になり、足が不自由になりました。そして。春日市で育ち、縁があって春日市在住の方と結婚し子どもが産まれ、春日市内は住みやすく、市内で 3 回転居しました。いろいろな当事者になって、今まで気づかなかったことも気になるようになりました。コミュニティバスのバス停にイスがあればとか、共働きで子どもが中学になって毎日のお弁当は無理だとか、全小学校と公園の遊具がすべて同じに変わったのはなぜかとか市内の教員の自殺問題とか、改善策はあったのか気になります。これからのために今の問題を解決してほしいです。	女性	40 歳代	春日原小
障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすいまちにもっとなるよう施設やカフェなどのバリアフリー化を進めてほしいです。	女性	30 歳代	春日野小
昨年、家族がガンになり、抗がん剤治療のためウィッグが必要となりました。福岡市や大野城市は医療用ウィッグの助成金があるのに福祉が充実していると思っていた春日市はありませんでした。とても残念に思います。早急に医療用ウィッグの助成金をお願いします。	女性	60～64 歳	春日西小
ワクチンの助成金について区市町村、地方自治体によって違いがあります。例えば、帯状疱疹予防接種が現在、春日市では補助が受けられません。隣の大野城市は補助を実施されているそうです。春日市も助成できるようお願いしたいです。	女性	50 歳代	春日東小
どこかの世代に深いサポートをすると、他の世代は不公平を感じると思う。例えば、子育て世代に手厚いサポートをすると、高齢者世代にももっとサポートしてと思う。すべての世代に広く薄くサポートするでも良いと思う。	女性	50 歳代	春日西小
白水大池公園にスタバみたいなカフェを誘致してほしい。せっかくのロケーションを活かして名所を作って市外の人も来るようにして財政アップを目指してはどうか。 市役所の駐車場を利用したフリーマーケットの復活を希望	女性	50 歳代	春日南小
移民政策だけはやめてください。埼玉の川口氏の二の舞になります。	女性	18～20 歳代	大谷小
以前春日市に 10 年ほど住み、その後他の自治体に転居したのち、春日市に住みたくて戻ってきました。今まで住んだところと比べてもとても住みやすいと思います。 ただ、他の自治体も人口流出を止めるため、いろいろ取り組まれていました。 日本の人口が減少して行く中で福岡市の人口は今後も増えると予測されています。春日市もより魅力的な市になって、福岡市とともに発展して行けたら良いなと思います。	女性	40 歳代	春日北小

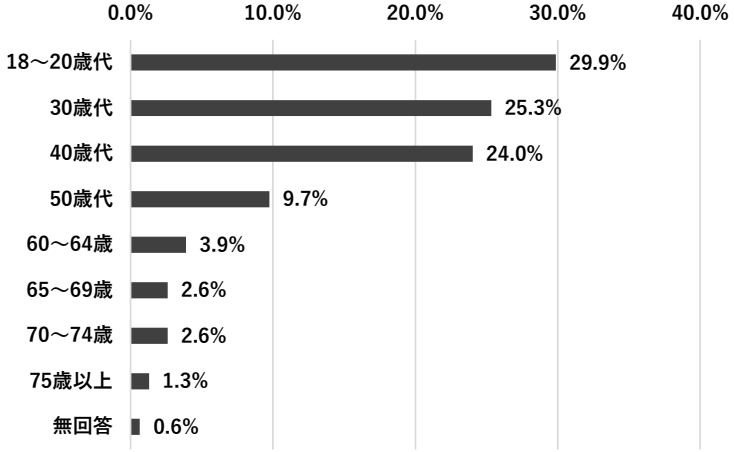
Ⅲ　転入者アンケート調査結果

１．基本属性

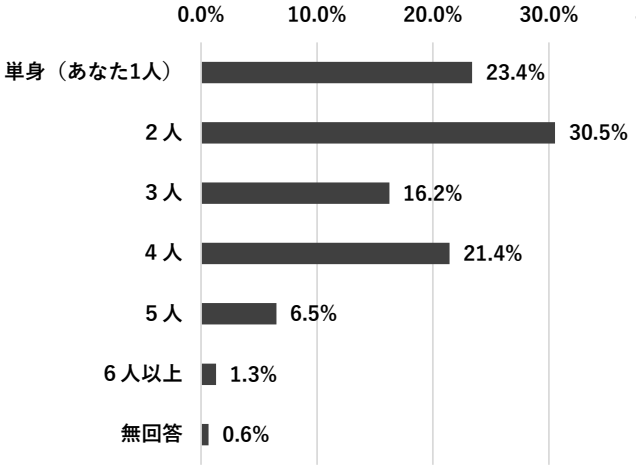
①　性別　(N=154)



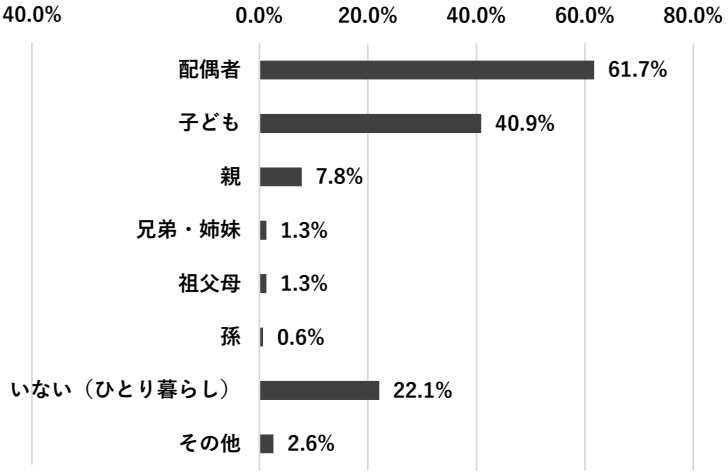
②　年代 (N=154)



③　家族構成員数 (N=154)



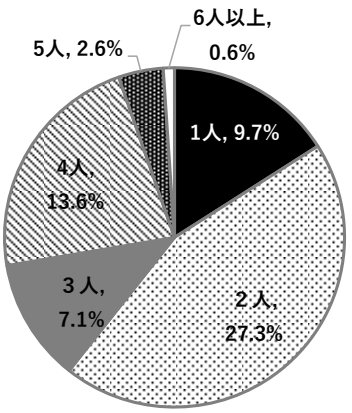
④　同居者 (複数回答N=154)



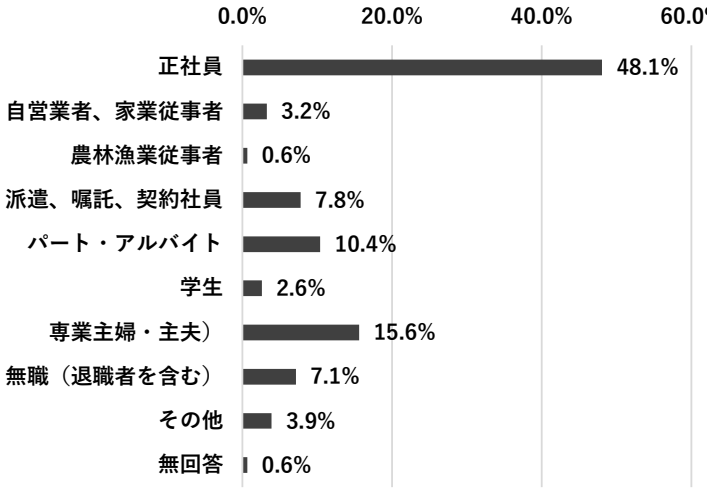
⑤ 子どもの人数(同居の有無に関わらず　N=154)

	1人	２人	３人	4人以上
未就学児	24.0%	12.3%	1.3%	0.6%
小学生	14.9%	7.8%	3.2%	0.0%
中学生以上の学生	16.9%	3.9%	0.6%	0.6%
社会人	15.6%	4.5%	2.6%	0.0%

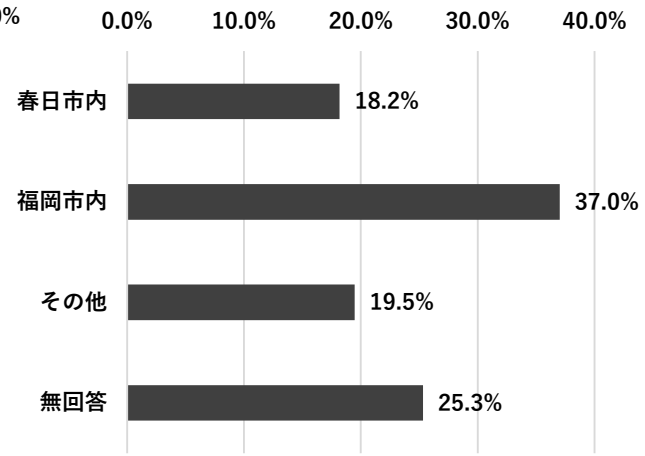
【子どもの人数（合計）】



⑥ **職業**（N=154）



⑦ **勤務先（通勤先）**（N=154）



2．春日市への転入について

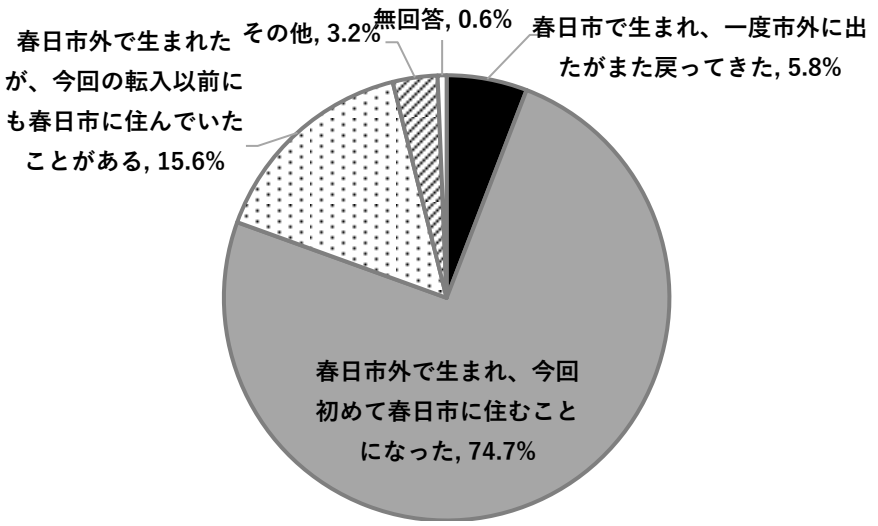
（1）春日市への居住体験／転入前の住所・居住年数

■　転入者の春日市の居住経験について、「**春日市外で生まれ、今回初めて春日市に住むことになった**」が74.7%と最も高くなっています。「**春日市外で生まれたが、今回の転入以前にも春日市に住んでいたことがある**」と「**春日市で生まれ、一度市外に出たがまた戻ってきた**」をあわせた**21.4%**が春日市へのUターン者となっています。

■　転入前の住所は、「**福岡県内**」が79件と多く、県内でも「**福岡市**」が32件と約40%を占めています。

■　転入前の住居の居住年数は、「**1～3年未満**」が23.4%と最も高くなっています。

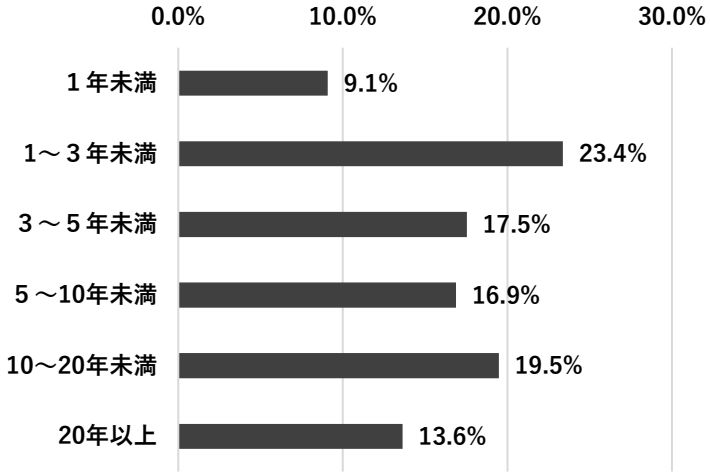
【問２　あなたは、以前に春日市に住んでいたことはありますか。(N=154)】



【問３　転入前の住所はどちらですか。(N=154)】

■福岡県内　79件
福岡市（32件）、大野城市（14件）、那珂川市（９件）、北九州市（５件）、久留米市（5件）等
■その他の県
長崎県（12件）、熊本県（8件）、埼玉県（6件）、大分県（５件）ほか

【問４　転入前の住居には何年お住まいでしたか(N=154)】

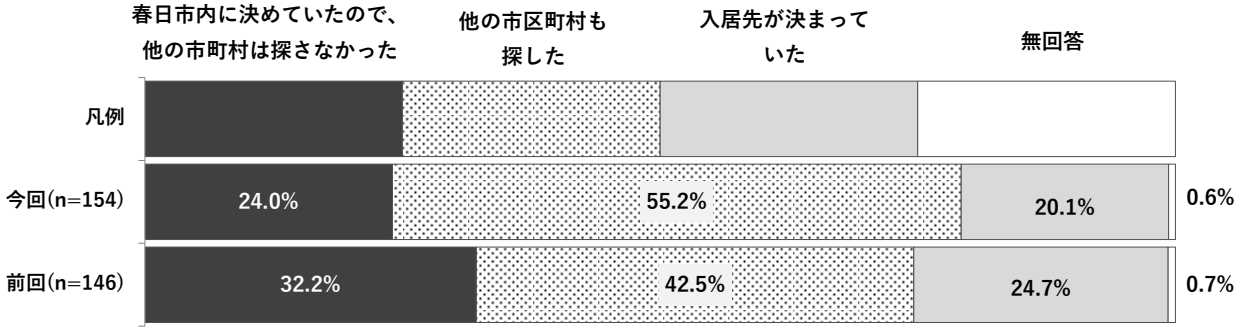


（２）転入先探しについて

■　転入者にあたって、春日市以外の「**他の市町村も探した**」が55.2％と最も高く、前回調査に比べ高くなっています。

■　転入にあたって検討した他市町村は、多くが春日市周辺の自治体で、特に福岡市が多くあげられています。

【問５　転入にあたって、春日市以外の地域でも住まいを探しましたか。(N=154)】



（転入にあたって検討した市町村　※上位順）

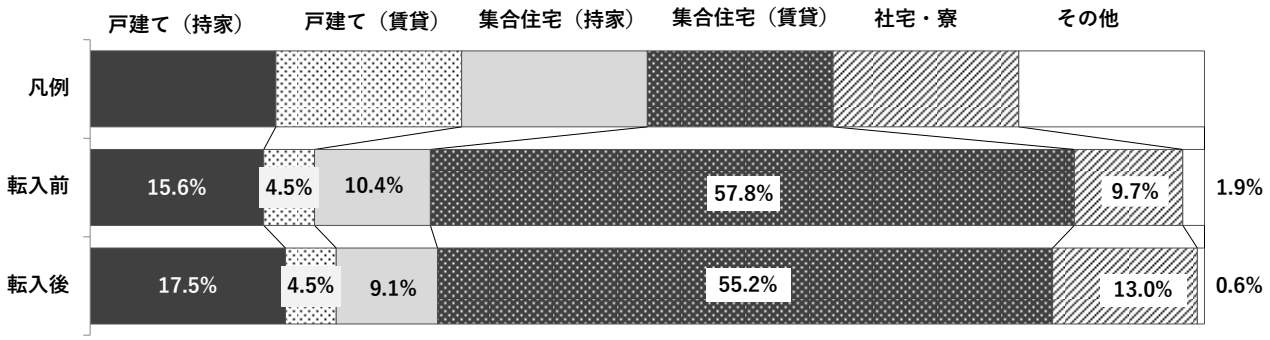
□福岡市（79件）　□大野城市（30件）　□太宰府市（9件）　□筑紫野市（8件）
□那珂川市（7件）

（3）転入前と転入後の住居形態

■　転入前と転入後の住居形態について、転入前・転入後ともに、「集合住宅（賃貸）」が50%以上と高くなっています。

■　「**戸建て（持家）**」「**社宅・寮**」については春日市に転入後の方が高くなっています。

【問６　転入前と転入後の住宅の状況をお聞かせください。(N=154)】

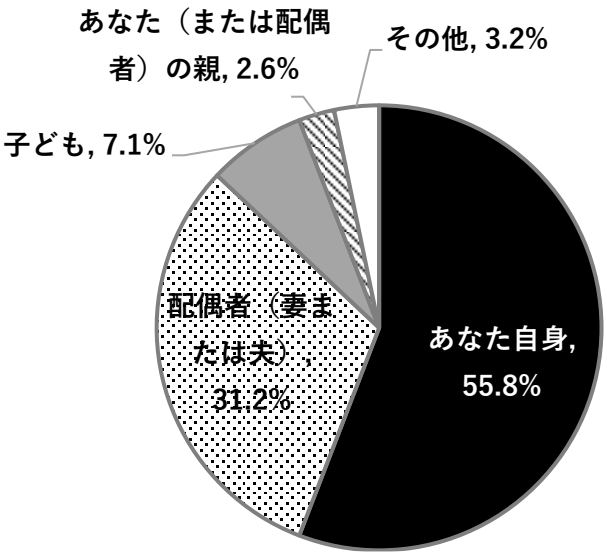


（4）転入することになったきっかけ

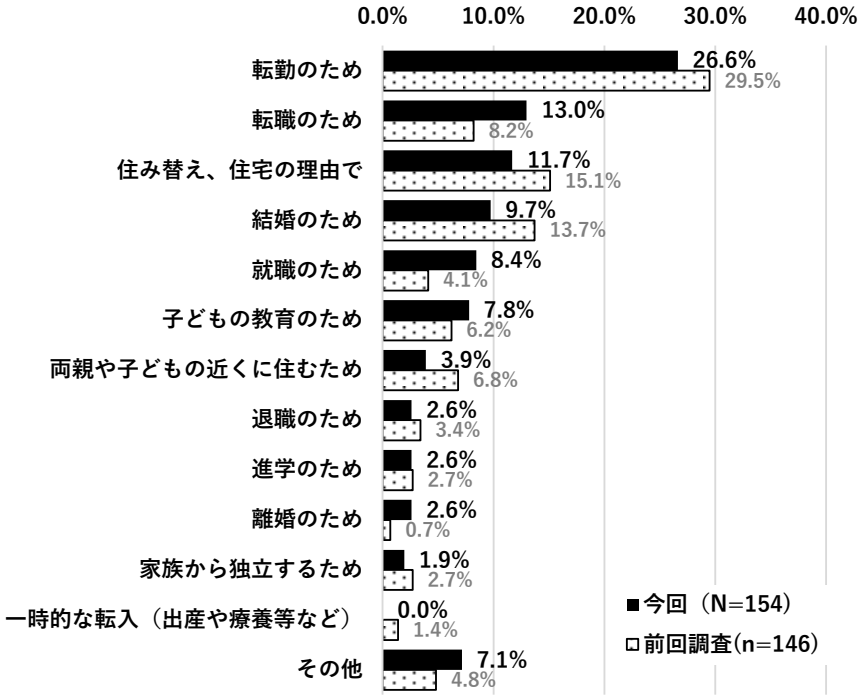
■　転入するきっかけとなった人は「**あなた自身**」が55.8%と最も高くなっています。

■　春日市に転入する最も大きなきっかけは「**転勤のため**」が26.6%と最も高く、前回調査と同様となっています。次いで「**転職のため**（13.0%）」となり、仕事に関することが大きな転入の要因となっていることが考えられます。

【問７　転入することになったきっかけは主にどなたによるものですか。（N=154)】



【問８ 転入することになった最も大きなきっかけは何ですか。（N=154)】

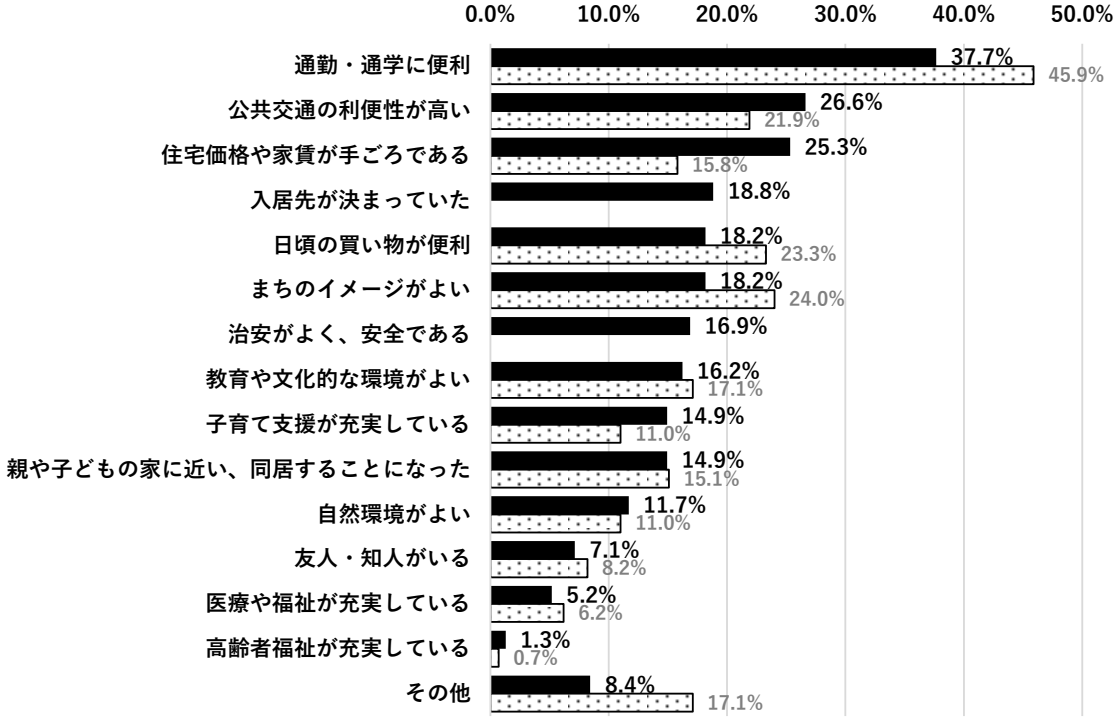


（５）春日市を転入先に選んだ理由

■ 転入先に春日市を選んだ理由は、「**通勤・通学に便利**」が37.7%と最も高く、前回調査と同様となっています。次いで「**公共交通の利便性が高い**（26.6%）」となっています。

■ 春日市の転入者の多くは転勤等の仕事上の理由で通勤に便利なまちとして選ばれている転入者が多いことがわかります。

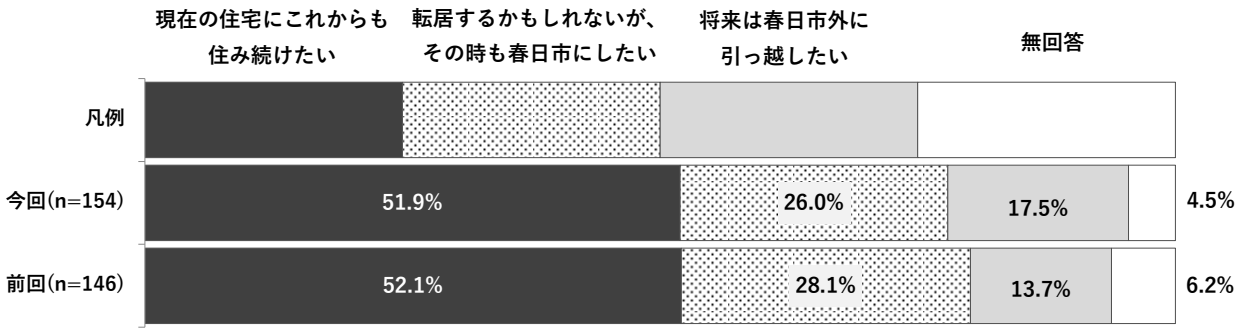
【問９ 転入先に春日市を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇） (N=154)】



（６）今後の春日市の居住意向

■　今後の春日市の居住意向は、「**現在の住宅にこれからも住み続けたい**」が51.9％と最も高く、「**転居するかもしれないが、その時も春日市にしたい**（26.0％）」とあわせ、今後も春日市に住み続けたい回答者は**77.9％**となっています。

【問１０　今後も春日市に住み続けたいと思われますか。(N=154)】



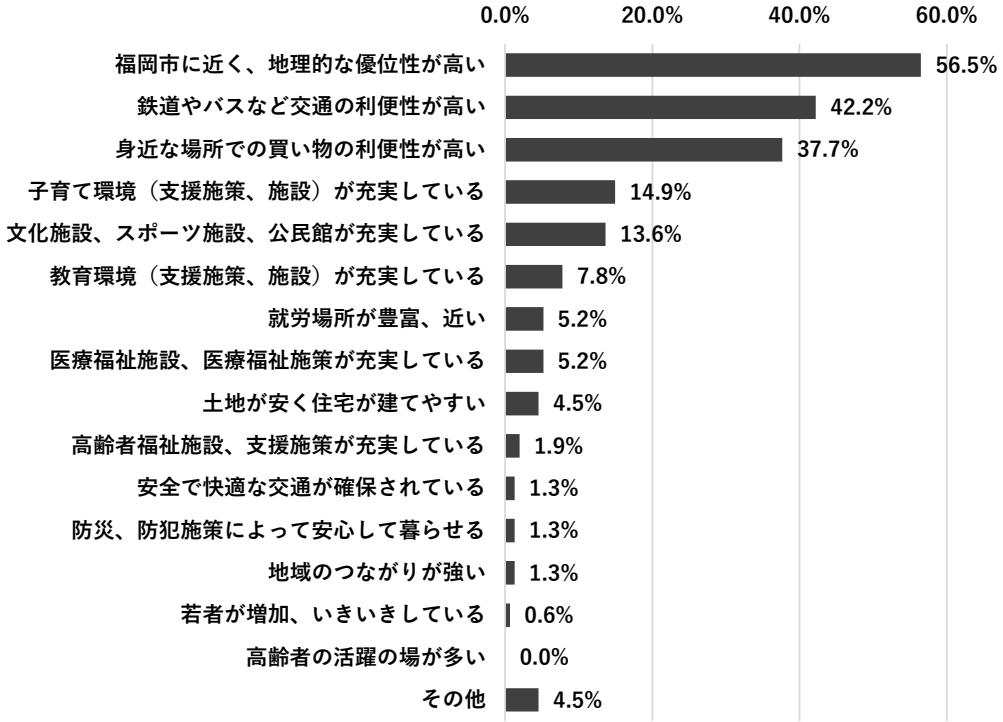
（将来は春日市外に引っ越したい回答者の主な理由）

□福岡市等が子育てによい（保育料が無料など）　□通勤が困難（駅までが遠い、時間がかかる）
□就職・転勤、進学のため　　□実家に戻る

（７）住んで良かったと感じる点

■　転入者が春日市に住んで良かった点は、「**福岡市に近く、地理的な優位性が高い**」が56.5％と最も高く、次いで「**鉄道やバスなど交通の利便性が高い**（42.2％）」「**身近な場所での買い物の利便性が高い**（37.7％）」となっています。

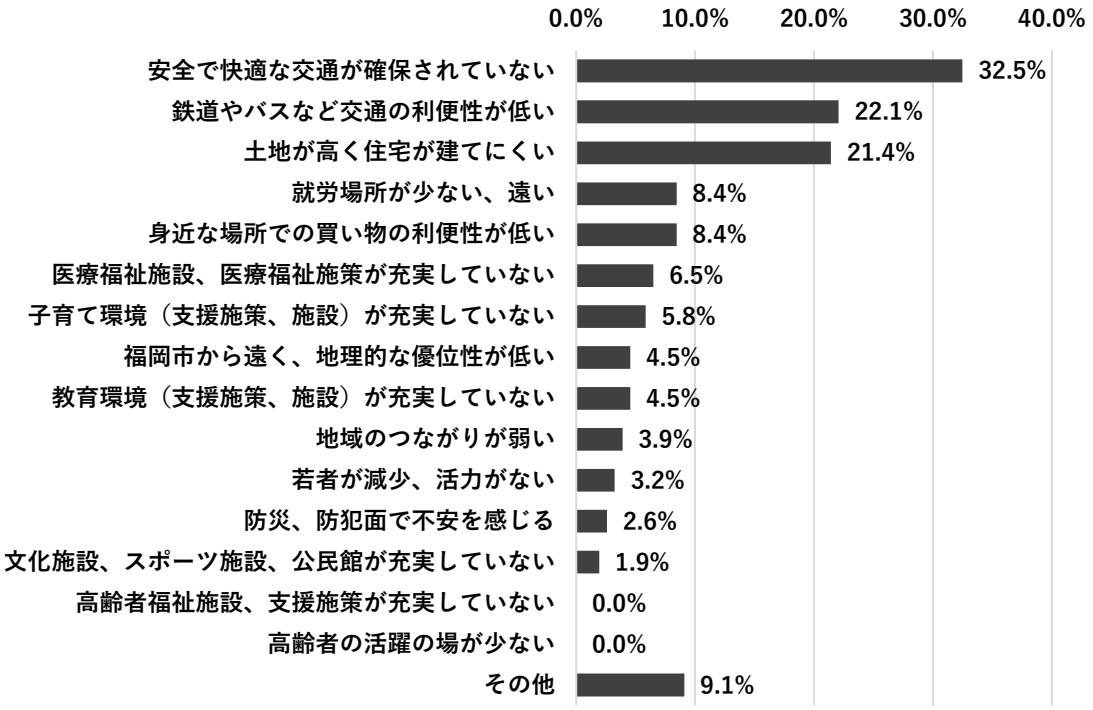
【問１１　春日市に住んで良かったと感じる点をお選びください。（○は３つまで）(N=154)】



（8）不満に感じる点

■　転入者が春日市に住んで不満に感じる点は、「（道路が整備されておらず、渋滞が多く、）**安全で快適な交通が確保されていない**」が32.5％と最も高く、次いで「**鉄道やバスなど交通の利便性が低い**（22.1％）」「**土地が高く住宅が建てにくい**（21.4％）」となっています。

【問１２　春日市に住んで不満と感じる点をお選びください。（○は３つまで）(N=154)**】**



３．自由回答

【問１３ これから、春日市で生活するうえでのご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。】

①　渋滞・道路整備（17件）

内容	性別	年代
昇町交差点からの１車線がすごく混むのでいやだ。春日市から出る際にすごく混む。	女性	30 歳代
信号がある交差点を増やしてほしい。車が多いので子どもの通学路は歩道を確保してほしい。	女性	40 歳代
・大野城イオンを経由するようなバス路線がほしい。・自衛隊側の歩道はきれいに舗装されているが向かい側の歩道はガタガタしている。・宝町、大和町の間の道路など舗装されておらず、歩道に大きな水たまりがある。	女性	18～20 歳代
白水大池公園とアルペンの間に横断歩道を設置してほしい	女性	40 歳代
自転車で買い物へ行く時やウォーキングをしていると一旦停止する車が少なく完全に車優先と勘違いされている方が多いと思うのでその点、冊子などで大きく記載してほしいです。	女性	50 歳代
道路に整備されていると思います。それでも渋滞が多い。都心に近いので仕方がないと思います。もっと交通の利便性が別の形で良くなればと思います。	女性	18～20 歳代
・３１号線の渋滞（岡本あたり）を解消される取組を	女性	50 歳代
・３１号線の渋滞がひどい	女性	30 歳代
朝の渋滞のせいか狭い道でもスピードを出している車をよく見かけます。子ども達の通学時間でもあるのでとても心配です。子どもの通学時間だけでも、通行禁止や一方通行など交通規制のかかる通りが増えれば安心だなと思います。	女性	30 歳代
渋滞が多い	男性	18～20 歳代
道路の渋滞がどうにかならないものかと思っています。車線を増やすなど対策をたててほしい。	女性	30 歳代
どの時間帯もどの道路もいつも渋滞しているので対策していただきたいです	男性	18～20 歳代
渋滞が解消されるといいかと思います。	女性	18～20 歳代
どの道路も平日、休日問わず混んでいる。 井尻六角に出るまでの道路の車線を増やして欲しい。	その他	30 歳代
春日市のコンパクトにまとまった街の利便性と、転入者を快く受け入れてくれる丁度良い都会感が恋しくなり、また戻って来ました。 住宅街など歩道がとても狭い所もあるので、子供を歩かせるのが怖いと思う道もありますが、出来る限り工夫をしてくださっているんだなと感じています。 これからも住み良い街づくりを続けていただきたいです。春日市が大好きです。	女性	30 歳代
車で移動する場合、場所によって渋滞が発生しやすい	女性	40 歳代
とにかく交通の便の悪さが激しい。混雑する道路の全体的な拡張もしくは鉄道などの拡充を図ってほしい。長期的な計画を立ててほしい。	男性	40 歳代

② 子育て・少子化対策（14件）

内容	性別	年代
子どもと遊べる屋内施設をつくってほしい	女性	40 歳代
子どもの医療費を無料にしてほしい。	男性	30 歳代
若い人を増やすためにも支援制度を設けた助成金を検討していただきたいです。	男性	30 歳代
子どもの医療費も佐世保市より高いし、あまり子育てしやすい環境であるとは言えない。子育てなどで悩んだ時など、どこに相談すればいいかも不明。もう１人産もうと思えない。	女性	30 歳代
学童保育も高いです。人口が多い分不審者も多いと感じる	女性	30 歳代
空きがある保育園にお願いしたが駄目だった。仕事をしているので困っていたのに残念です。認可外だと空きがなくて困っている。収入面にもかかわるのでどうにかしてほしいです。	女性	40 歳代
県外から引っ越してきて、周りに頼る人もいないのに保育園に入園できない。まず待機児童をなくしてほしい。もしなくせないのなら大野城市や太宰府市がしている待機児童に対しての補助金を出してほしい。子育て支援を充実させないと子育て世帯は引っ越ししていこない。	男性	30 歳代
もっと家庭で楽しめるような複合施設などがあったらいい。出産・子育ての手当てをもっと充実させてほしい。福岡市は２人目の保育料が無償化になっているように。	女性	18～20 歳代
街がきれいで市民性が高いと感じる。マナーのある方、子育て世帯が多いので住みやすい。多子世帯にサービスが充実していれば、もっと子どもを産みたい世帯が増えると思う。転勤族も多いので、産前産後サポートに力を入れてほしいです。	女性	40 歳代
福岡市みたいに子育てがしやすくなる様、ポイント交換でおむつや粉ミルクや子供用品などがもらえるような制度を取り入れて欲しいです。春日市は、環境も良く子供も伸び伸び育ちやすそうなので子育て世帯に対して充実した制度があれば嬉しいです！	女性	18～20 歳代
学童に入れる基準が厳しすぎる。週４以上ではなくてもいいとおもう。 福岡市のように習い事補助や放課後デイサービスの補助を検討してほしい。習い事も高くなかなか習わせたくても難しい。	女性	40 歳代
子ども上の２人が待機児童です。少しでも早く入園させたいものです。大変、困ってます。どうにか、よろしくお願いします。	女性	30 歳代
子育て支援の強化と渋滞緩和	男性	30 歳代
安心して行ける総合病院、救急、小児夜間医療ができる病院は筑紫地区自体になく、いざという時にとても不安に感じています。春日市独自のファストドクターや信頼できる夜間、休日の小児科が春日市にあれば良いと切望します。	女性	40 歳代

③　公共交通（6件）

内容	性別	年代
平日は毎日のように渋滞が発生し不便さを感じています。やよいバスの本数が少なく、結局西鉄バスを利用する車が多くなります。もう少し本数を増やしてほしいです。	男性	60～64 歳
七隈方面にもバスを出してほしい	女性	18～20 歳代
バスをもっと増やすことで交通の利便性を高まり、渋滞を減らせると思います。	男性	30 歳代
高齢者や子どもの福祉施策ばかりではなくて、それ以外の大人のためにも暮らしやすい街づくりが求められます。やよいバスの 70 歳以上無料化はおかしい。100 円でも他の市町村のコミュニティバスより安いのに。どこからやよいバスの財源は出ているのか	女性	50 歳代
コミュニティバスやよいの路線図をお願いします。日ノ出町に住んでいますが車の運転ができません。せめて 1 日に 2 本位、春日市役所行きのコミュニティバスやよいを走らせてほしいです。	女性	65～69 歳
昇町 3 丁目付近に行くバスを増やして欲しい	女性	30 歳代

④　公園・社会教育施設（6件）

内容	性別	年代
最近は公園の遊具が新しく安全性のあるものが増えてきました。ただ小さな公園の遊具は古く、安全性に欠けます。どうか全部の公園をチェックして頂き新しい遊具にして頂きたいです。	女性	50 歳代
スポーツ施設など自宅から遠いので、公民館で安価で利用できるようにしてほしい。	女性	65～69 歳
図書館が小さい	男性	50 歳代
駅の近くに図書館が欲しい(現在主にまどかぴあ図書館を利用してます)	女性	30 歳代
平田台公民館、平田台第二公園の跡地も市が管理して活用していただきたいです。	男性	40 歳代

⑤　行政（ごみ関連等）（4件）

内容	性別	年代
ごみの分別をもう少し分類しやすくできたら、白色トレイのみではなく、白以外のトレイやプラスティックのゴミのある日もよいな。有料ゴミ袋の日ばかりではなく、プラの日は透明でも良いなど。他県の取り入れているゴミ収集のやり方は難しいでしょうか。	女性	40 歳代
缶ビンのゴミ袋 45ℓをつくってほしい。	男性	30 歳代
他の市の特典（筑紫野市のお米がもらえる券など）を聞くといいなと思う。	女性	30 歳代
・ゴミ袋家庭用小 1.5ℓよりも小さいサイズが欲しい。	女性	50 歳代

⑥　教育（学校教育・社会教育・給食等）（3件）

内容	性別	年代
もう少し子どもに向けたイベントなど体験ができることを増やして頂きたいです。小学校などの区域がとても遠い子がすぐ近くに小学校があり、そっちの学校お方が近いのにわざわざすごく遠い学校まで通うなど、下白水北一丁目は絶対に春日小が近く、安全を考える西小より適正かと。	女性	30 歳代
中学校は選択制ではなく完全給食にしてほしい。 小学校給食の無償化	女性	40 歳代
・福岡市と違って公民館でのリーズナブルな習い事がない	女性	30 歳代

⑦　商業施設・産業振興（3件）

内容	性別	年代
カフェがほしいです。春日公園近くにあったら良いなと思います。	女性	18～20 歳代
引っ越してきた人にとってスマイル商品券やペイの受取など日にちが少ないかな。	女性	50 歳代
シングルマザーの就労場所が少ない。	女性	30 歳代

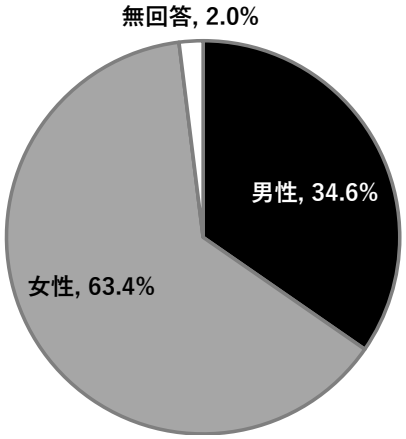
⑧　その他（6件）

内容	性別	年代
たまたま春日市に住んでただけだったのですが、思った以上に良い市で驚いています。医療福祉施策がしっかりし、立派な春日公園はすばらしいです。ただ、春日市のイメージがいまいちです。知人に春日市に住んでいるというとすごく遠い田舎に住んでいるように思われる。もう少しイメージアップしてほしいと思います。	女性	30 歳代
あんどん祭りが復活してほしいです。	女性	18～20 歳代
とにかく土地が高すぎます。下がることを願っています。	女性	30 歳代
ゴミを減らす方針は大変良いが、出せるゴミの数量が決まっていたり、可燃以外のゴミを出せる日が少ないと感じる。一度逃すと１ヶ月待つのは長すぎる。	女性	40 歳代
単身赴任先を退職して家族と同居になりました。毎日楽しく暮らしています。	男性	60～64 歳
住み始めたばかりで、まだ何とも言い難い	男性	40 歳代

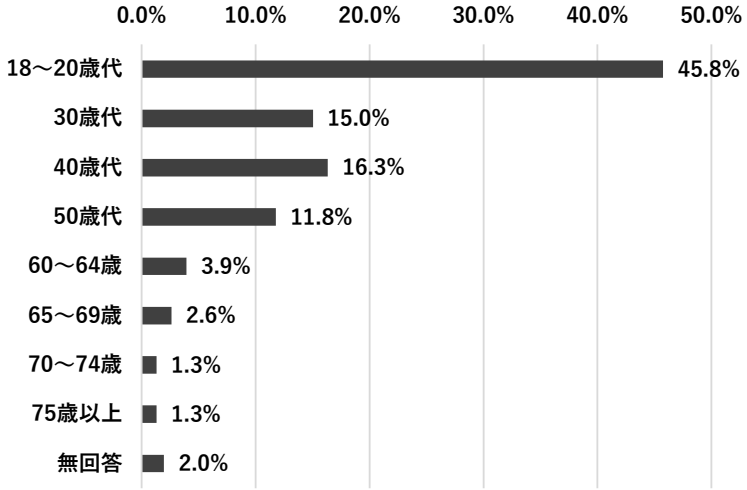
Ⅳ　転出者アンケート調査結果

１．基本属性

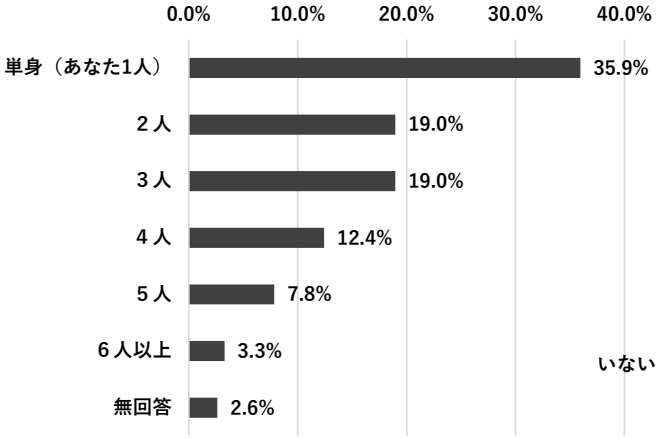
①　性別　(N=153)



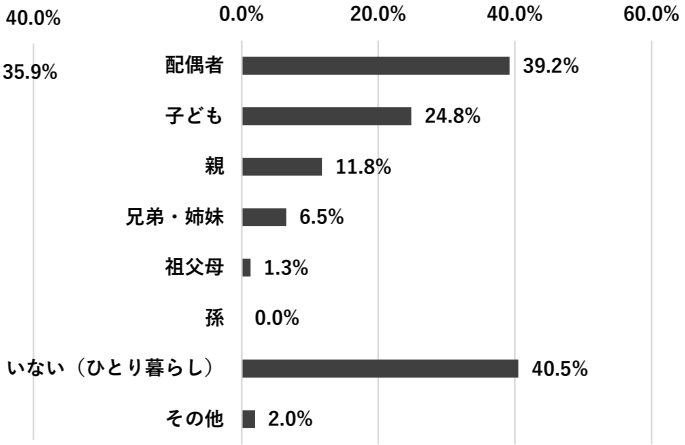
②　年代 (N=153)



③　家族構成員数 (N=153)



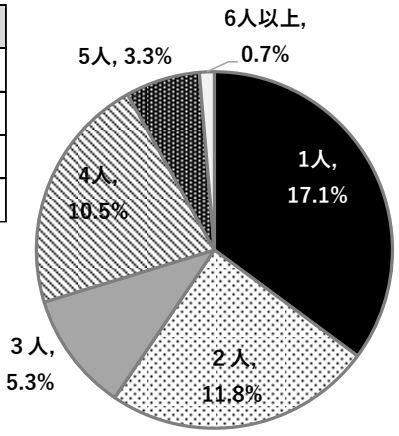
④　同居者 (複数回答N=153)



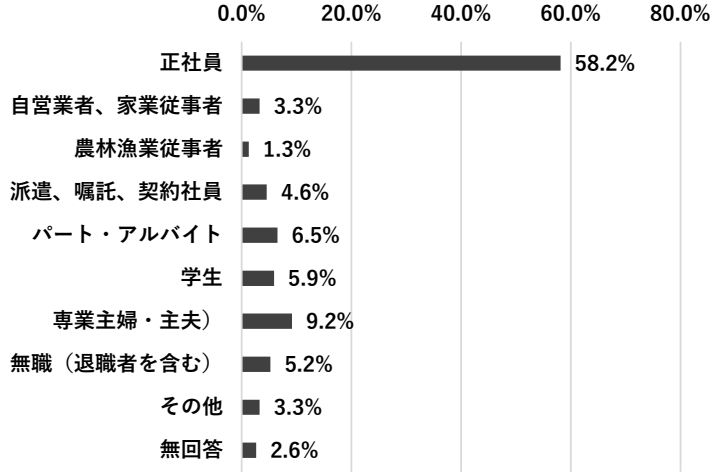
⑤ 子どもの人数(同居の有無に関わらず　N=153)

	1人	2人	3人	4人以上
未就学児	25.5%	1.3%	2.6%	0.0%
小学生	17.0%	3.9%	2.0%	0.0%
中学生以上の学生	17.6%	2.0%	0.7%	0.0%
社会人	15.0%	5.2%	2.6%	0.0%

【子どもの人数（合計）】



⑥ **職業**（N=153）



2．春日市からの転出について

（1）転出先

■　春日市からの転出先は「**福岡県内**」が多く、県内のうち、「**福岡市**」が32件と多くなっています。

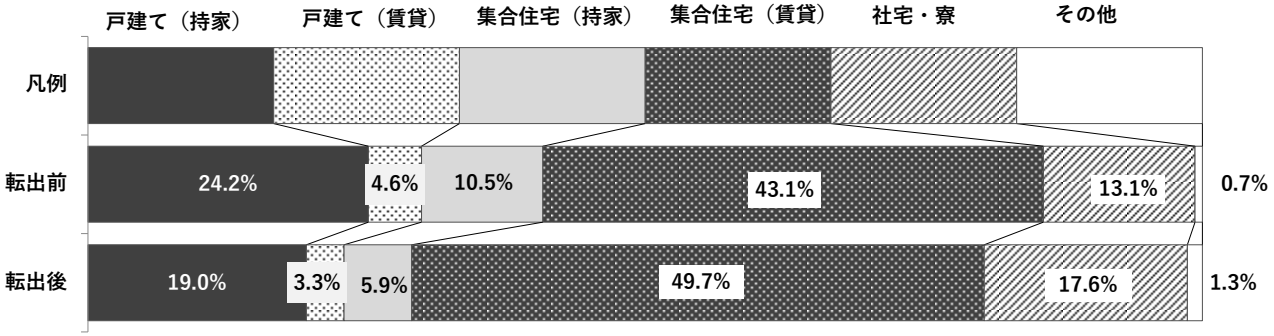
【問２　転出先の住所はどちらですか。（N=153）】

■福岡県内　73件
福岡市（32件）、大野城市（10件）、太宰府市（5件）、北九州市（7件）、筑紫野市（3件）等
■その他の県
東京都（12件）、熊本県（7件）、佐賀県（7件）、長崎県（６件）ほか

（2）転出前と転出後の住居形態

■　転出前と転出後の住居形態について、転入前・転入後ともに、「集合住宅（賃貸）」が40%以上と高くなっていますが、転出後の方が高くなっています。

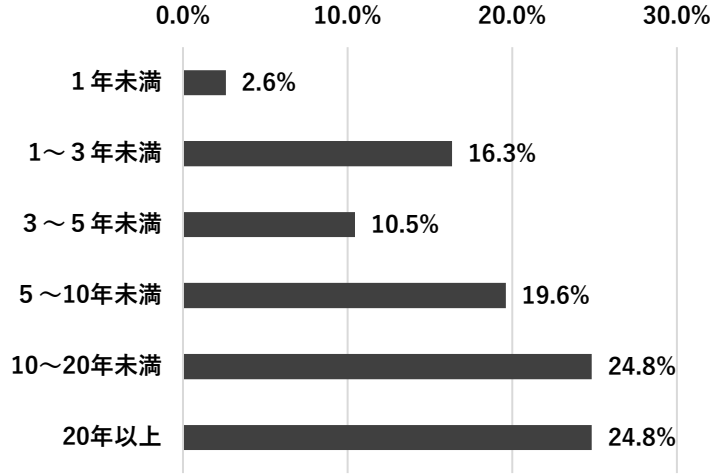
【問３　転出前と転出後の住宅の状況をお聞かせください。（N=153）】



（3）転出者の春日市の居住体験

■　転出者の春日市の居住経験は、「**20年以上**」「**10～20年未満**」がともに24.8%と最も高くなっています。

【問4　春日市には何年お住まいでしたか。(N=153)】

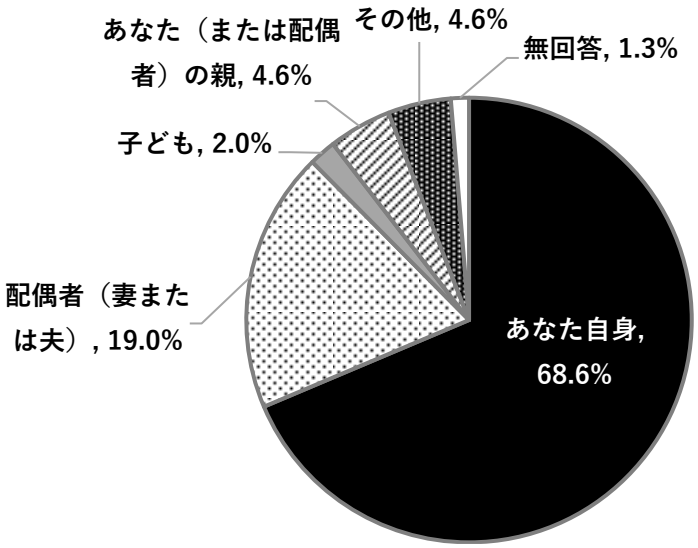


（4）転出することになったきっかけ

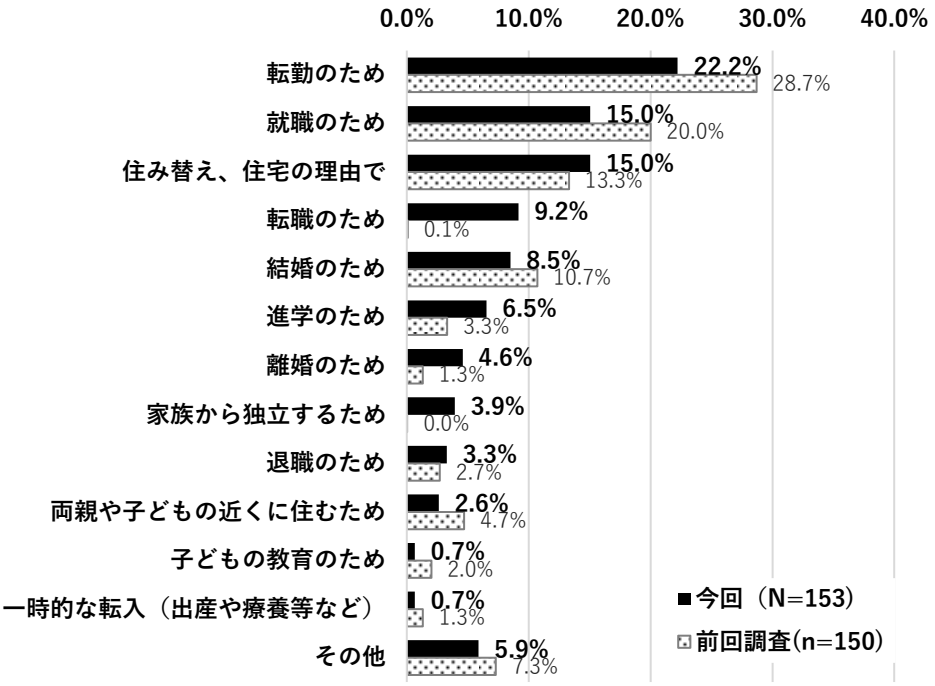
■　転入するきっかけとなった人は「**あなた自身**」が68.6%と最も高くなっています。

■　春日市から転出することになったきっかけは、「**転勤のため**」が22.2%と最も高く、前回調査と同様の傾向となっています。次いで「**就職のため**（15.0%）」「**住み替え、住宅の理由で**（15.0%）」「**転職のため**（9.2%）」と仕事関連の理由が多くなっています。

【問5　転出することになったきっかけは主にどなたによるものですか。（N=153)】



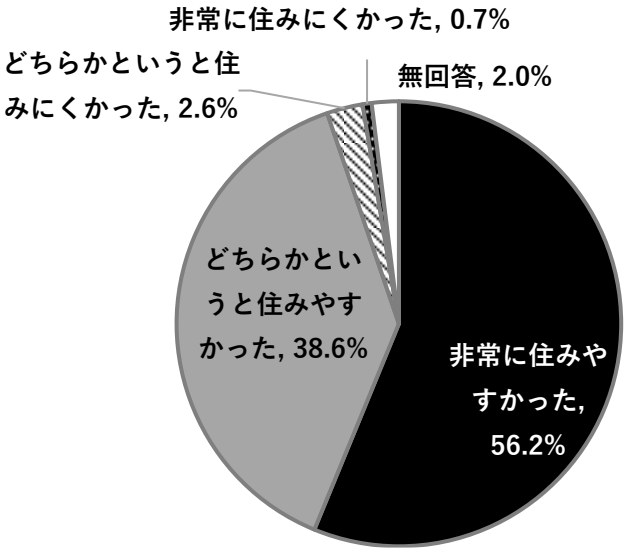
【問６ 転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。（N=153)】



（５）春日市の住みよさ

■ 転出者は、春日市が『**住みよかった**（非常に住みよかった＋どちらかというと住みやすかった）』は**94.8%**と高く、転出者にとっても春日市は住みよく、住みにくさが転出の要因ではないことがわかります。

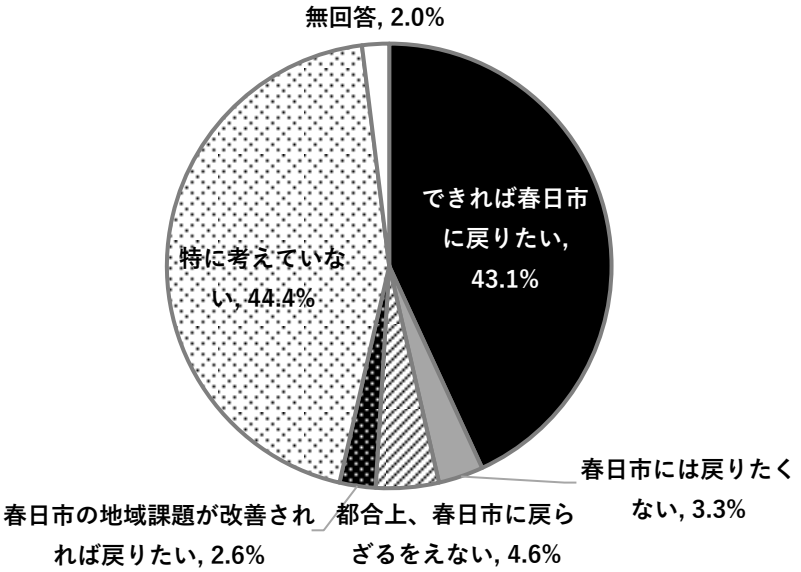
【問７ 春日市は住みやすかったですか。（N=153)】



（6）春日市に戻ることへの意向

■　転出者に機会があれば春日市に戻りたいかお聞きしたところ、43.1%が「**できれば春日市に戻りたい**」と回答しています。

【問８ 将来、機会があれば春日市に戻りたいというお考えはありますか。（N=153)】



（戻りたい回答者の主な理由）

□福岡市へのアクセスがよいから　□交通の利便性が高く、周囲に商業施設や公園があるため
□公園も多く治安も良く、住みやすい　□春日市が好きだから

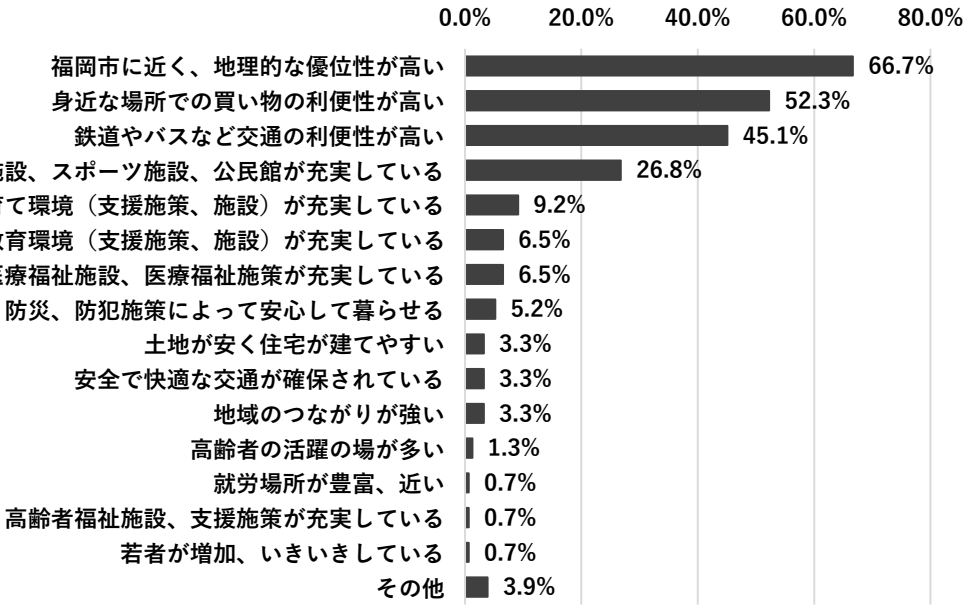
（地域課題が改善されれば戻りたい回答者の主な改善内容）

□渋滞の改善　□道路の整備不足

（7）住んで良かったと感じる点

■　転出者が春日市に住んで良かった点は、「**福岡市に近く、地理的な優位性が高い**」が66.7%と最も高く、次いで「**身近な場所での買い物の利便性が高い**（52.3%）」「**鉄道やバスなど交通の利便性が高い**（45.1%）」となっています。

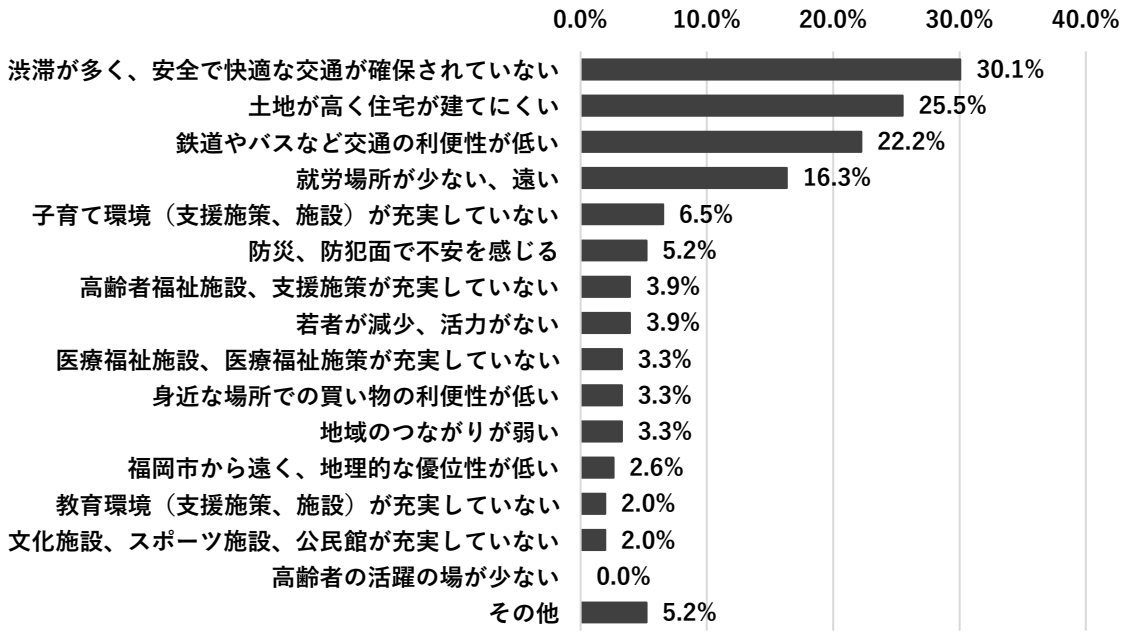
【問９ 春日市に住んでいて良かったと感じる点をお選びください。（○は３つまで）(N=153)**】**



（8）不満に感じる点

■　春日市に住んで不満に感じる点は、「（道路が整備されておらず、渋滞が多く、）**安全で快適な交通が確保されていない**」が30.1%と最も高く、次いで「**土地が高く住宅が建てにくい**（25.5%）」「**鉄道やバスなど交通の利便性が低い**（22.2%）」となっています。

【問１０ 春日市に住んでいて不満と感じていた点をお選びください。（○は３つまで）(N=153)**】**



３．自由回答

【問１１ 春日市に対するご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。】

① 渋滞・道路整備（8件）

内容	性別	年代
春日中校区に住んでいましたが 505 号線の小中学校の前は歩車分離にできないでしょうか。渋滞がひどいため無理に車が進入することが普通でした。バスが 20 分以上遅延することもあり、非常に不便に感じました。	女性	40 歳代
なぎの木通りの渋滞が多く、不便に思っていた。		
岡本の交差点を通り、小学校に通学していました。朝の交通量が多く、赤信号でも右左折している車もあり小学生を通学させるにはとても怖かったです	女性	40 歳代
交通がもう少し充実すると人が動きやすいと思います。また、交差点などが多いため道路整備や安全な道路の拡充にもう少し力を入れるとより一層良いのではないかと思いました	女性	30 歳代
春日市桜ケ丘から井尻環状下まで出る道が混むので改善して頂きたい	女性	70～74 歳
道が狭くて渋滞が多い。 渋滞は大土居交差点周辺	女性	30 歳代
バスや鉄道の会社との兼ね合いもあるかと思いますが、渋滞せずに駅まで行けるようにしてほしいです。車がなくても便利に過ごせるようにしてほしいです。教育、福祉の面は充実していて良いと思います。	女性	18 歳～20 歳代
非常に住みやすい街ですが、道が狭く、入り組んでいるというのが難点だと思います。（特に駅周辺） 難題だと承知していますが、ぜひ、解決に取り組んでいただけると嬉しく存じます。	女性	40 歳代

② 公共交通（3件）

内容	性別	年代
市バスが全員無料になってほしかったです	女性	30 歳代
私の実家の平田台にはコミュニティバスしか運行しておらず。一番近いバス停（西鉄）が惣利２丁目です。車が運行できなくなれば少し不便になると思います。タクシーチケットの配布等、車を運転できない高齢者への支援があると助かると思います。	女性	40 歳代
バスと電車で通勤していたのですが渋滞が多く大変でした。コミュニティバスを何度か利用していましたが春日市全域を運行しているため、とてもありがたかったです。	男性	50 歳代

③ 行政（3件）

内容	性別	年代
市役所が広く、職員の方も親切でとても快適でした。	女性	50 歳代

保育園のことで、こども未来課の方にとても親切に相談にのって頂けました。どこの市役所よりも全体的に接客態度がすばらしいと実感しました。	女性	18 歳～20 歳代
土日も開いている出張所があり住民票等が取りやすかった 隣町の那珂川市と比べて物価は高かった気がする	女性	50 歳代

④ 住みよさ（2件）

内容	性別	年代
博多に行くにもとても便利で、買い物や娯楽施設も充実しており住みやすかったです。	女性	18 歳～20 歳代
防犯等もしっかりしており、家族連れや高齢者の方も住みやすい市だと感じました。	男性	50 歳代

⑤ 税金（2件）

内容	性別	年代
良いまちではあるが細かい点で他市に劣る点がある。水道料金が高いと感じた	男性	40 歳代
市民税、水道代等が高いと感じていました。		

⑥ 地域コミュニティ（2件）

内容	性別	年代
ファミリー世帯はとても住みやすいと思います。ただ単身世帯は地域活動の参加など難しい面もあり住みにくいかと思った。	女性	40 歳代
市報等で地域イベントがある事は良い事だと感じるが、初めての場に顔を出すのは勇気がいり高齢者がほとんどだろうと思って参加にふみきれなかった。（例えばゴミ拾い活動）、20～30 代も参加しているというアピールがあればより地域活動に参加しやすいと感じました。	男性	18 歳～20 歳代

⑦ 安全（2件）

内容	性別	年代
転職のため転出しましたが、とても住みやすかったです。 防犯上不安なことがあったため、その点を改善したらさらに良くなるかと思います。	女性	18 歳～20 歳代
防犯の強化に努めてほしい	男性	40 歳代

⑧ その他（7件）

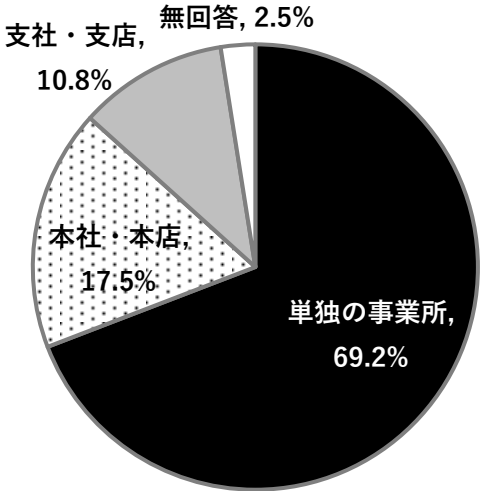
内容	性別	年代
西鉄春日原駅の周りについてですが、大野城市はお祭り広場など、活性化にがんばっているのがわかりますが、春日市はがんばっているように見えませんでした。せっかく駅がきれいになるのにもったいないと感じました。	女性	30 歳代
小さい頃から春日市で育ちました。大好きなまちです。現在は就職で県外にいますがいつか戻りたいです。	女性	18 歳～20 歳代

とても住みやすい市でした	男性	18 歳～20 歳代
この度、一人暮らしをするために春日市を出ました。春日市は大好きです。	女性	18 歳～20 歳代
今後、活気ある若者が活躍する明るい春日市になるよう期待しています	女性	40 歳代
春日市はどんどん人気なまちになっており、家賃や土地の価格が上昇しているため、お金面では住みにくいと感じてしまう。	男性	18 歳～20 歳代
とても暮らしやすいふるさとです。ふるさと納税などで関わって行けたらと思います。	女性	18 歳～20 歳代

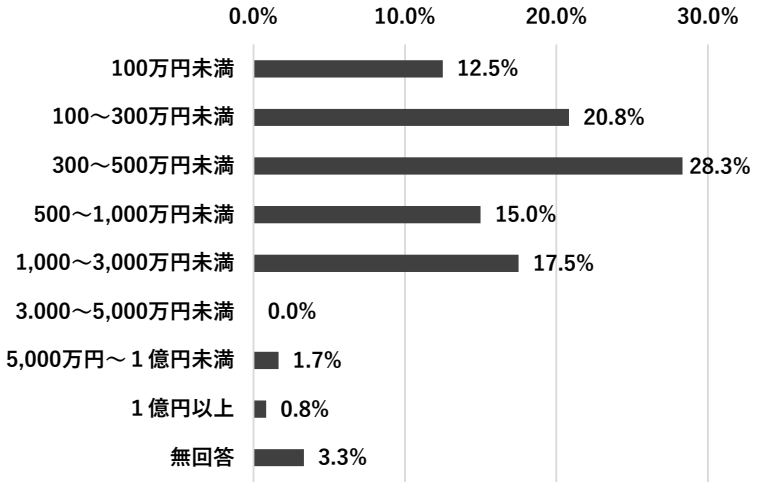
Ⅴ　事業者アンケート調査結果

１．基本属性

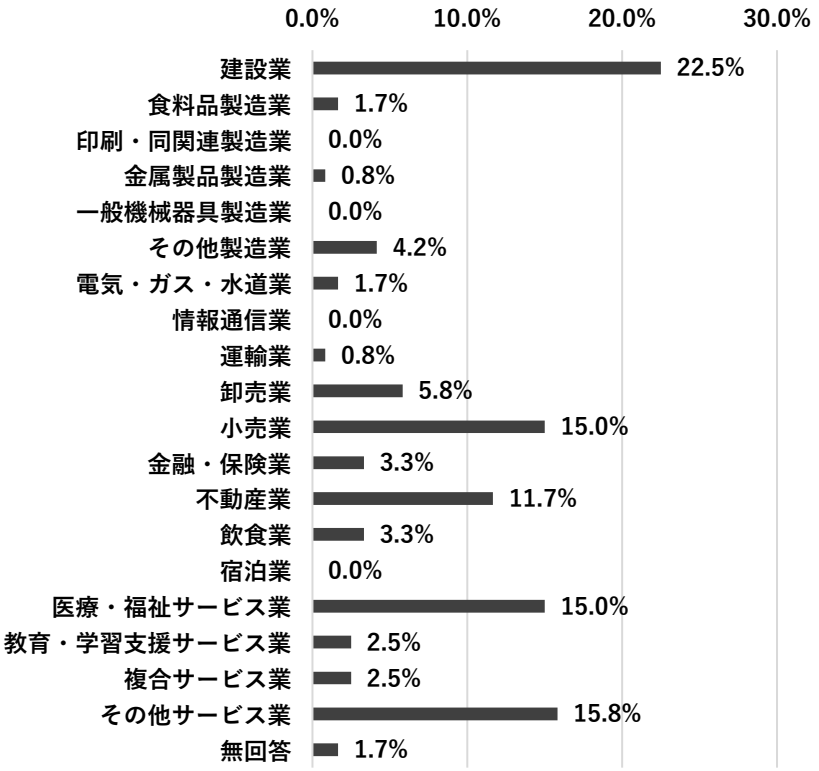
①　会社形態　(N=120)



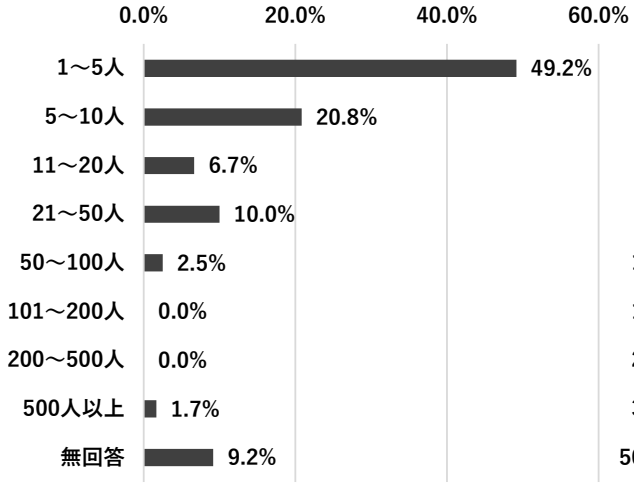
②　資本金 (N=120)



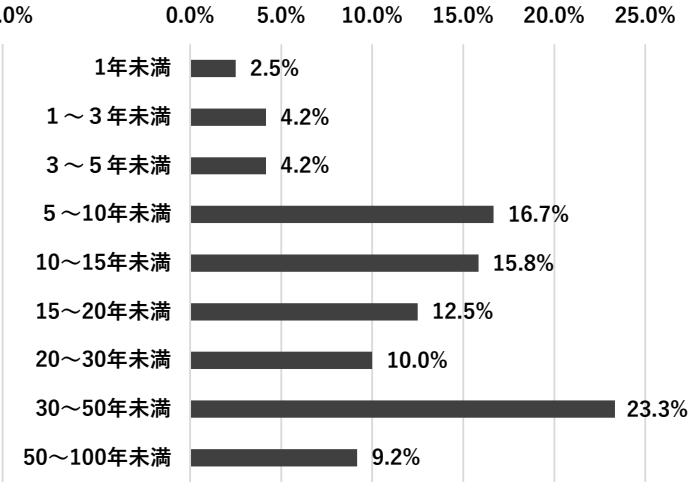
③　業種 (N=120)



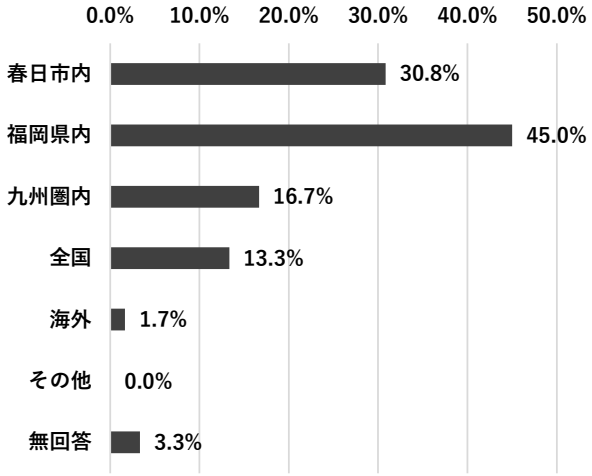
④　従業員数　(N=120)



⑤　春日市内での事業開始からの期間 (N=120)



⑥　主な取引先の立地場所　(N=120)

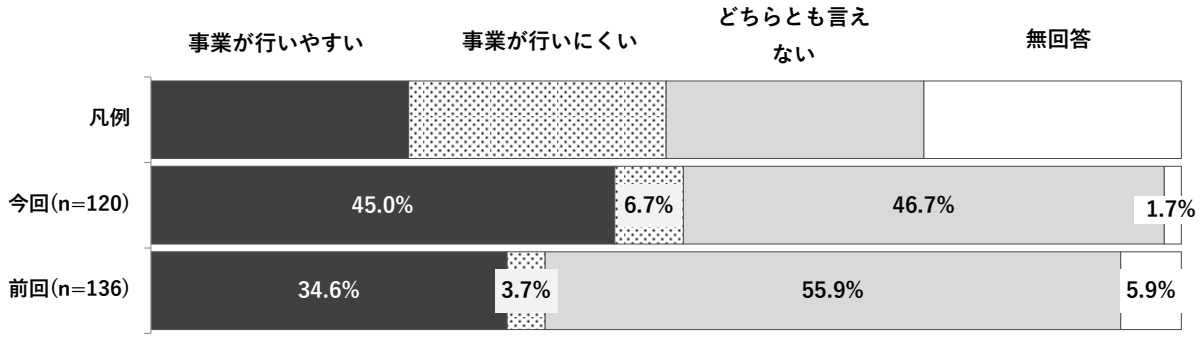


1．春日市内での事業活動について

（1）春日市の事業活動の行いやすさ

■　市内の事業者の春日市の事業活動の行いやすさについて、「**事業が行いやすい**」事業者が**45.0%**となり、前回調査と比較して高くなっています。「**事業が行いにくい**」事業者は**6.7%**となっています。

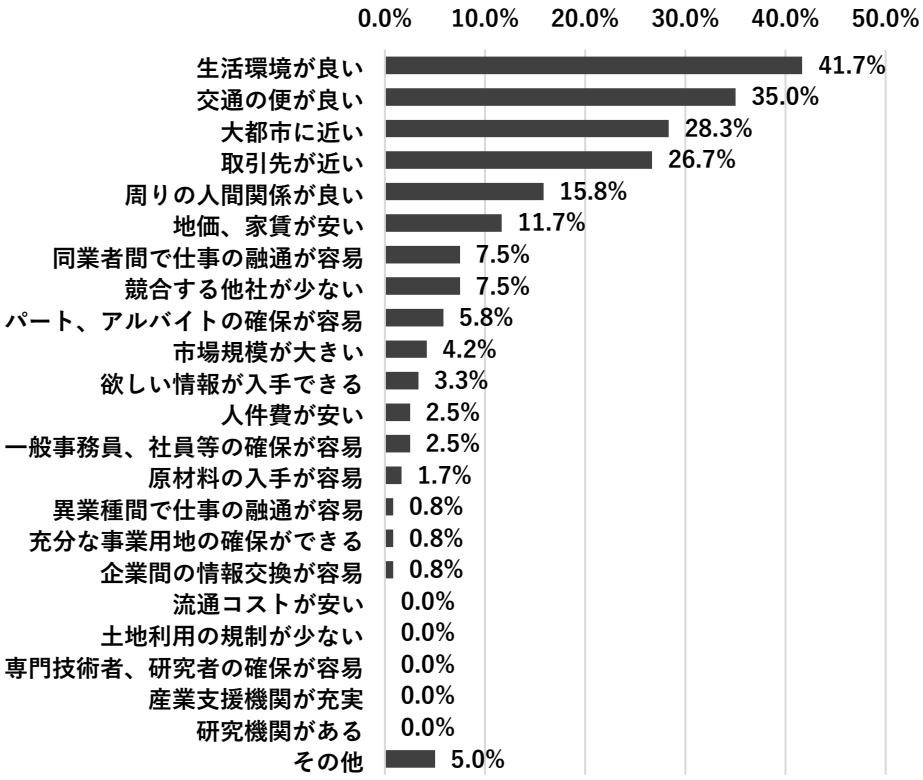
【問２　事業活動を行う上で、春日市は事業活動が行いやすいですか。(N=120)】



（2）事業活動を行う上での春日市の強み（メリット）

■　春日市で事業活動を行う上での強み（メリット）は「**生活環境が良い**」が41.7%と最も高く、次いで「**交通の便が良い**（35.0%）」「**大都市に近い**（28.3%）」「**取引先に近い**（26.7%）」となっています。

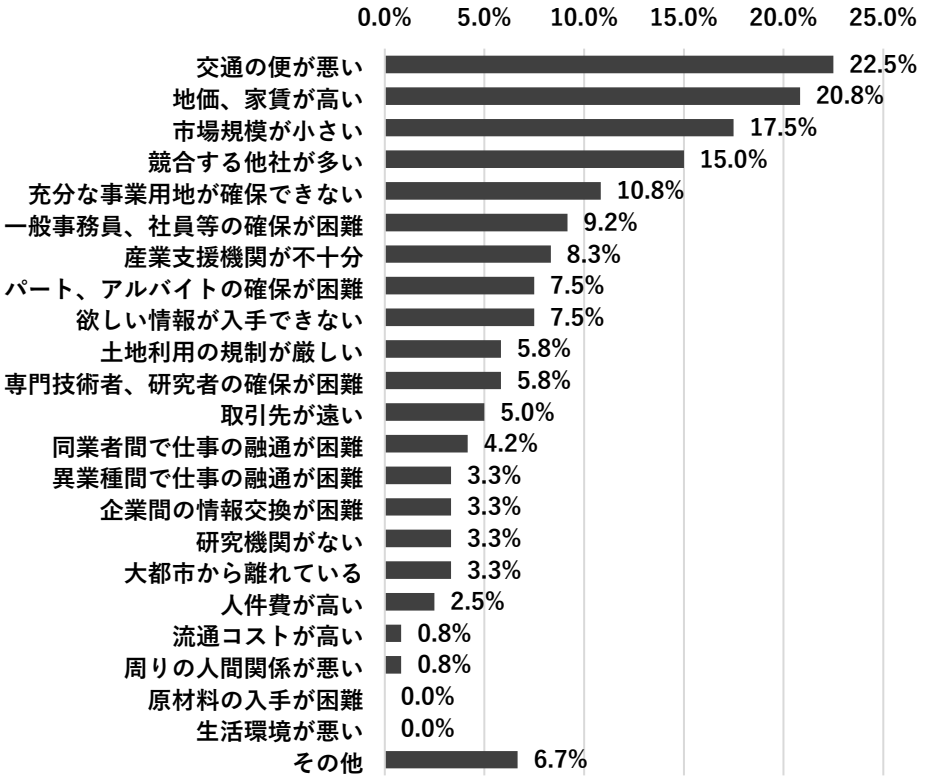
【問３　事業活動を行う上での春日市の強み（メリット）は何ですか。（○は３つまで）(N=120)】



（3）事業活動を行う上での春日市の弱み（デメリット）

■　春日市で事業活動を行う上での弱み（デメリット）は、「**交通の便が悪い**」が22.5%と最も高く、次いで「**地価・家賃が高い**（20.8%）」「**市場規模が小さい**（17.5%）」「**競合する他社が多い**（15.0%）」となっています。

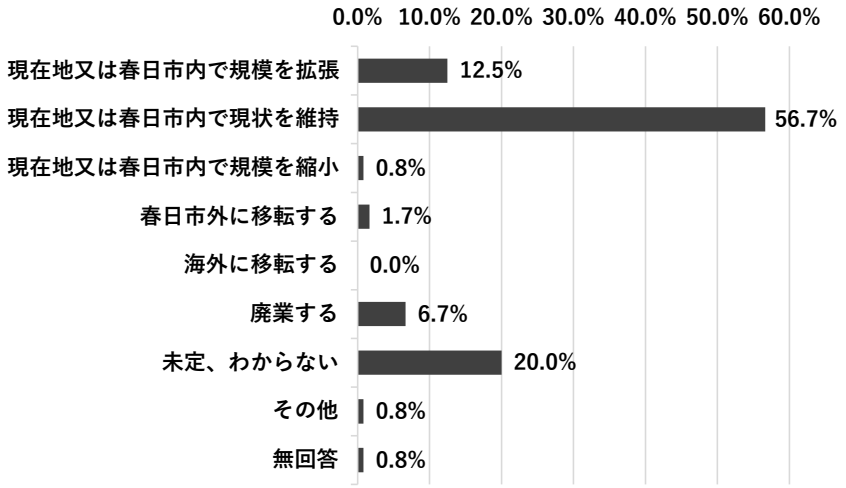
【問４　事業活動を行う上での春日市の弱み（デメリット）は何ですか。(N=120)】



（4）今後の事業継続について

■　今後の春日市での事業継続について、「**現在地または春日市内**」で事業を継続する事業者は56.7%、「**未定・わからない**」と回答した事業者が20.0%となっています。

【問５　今後の事業継続についてどうお考えですか。(N=120)】



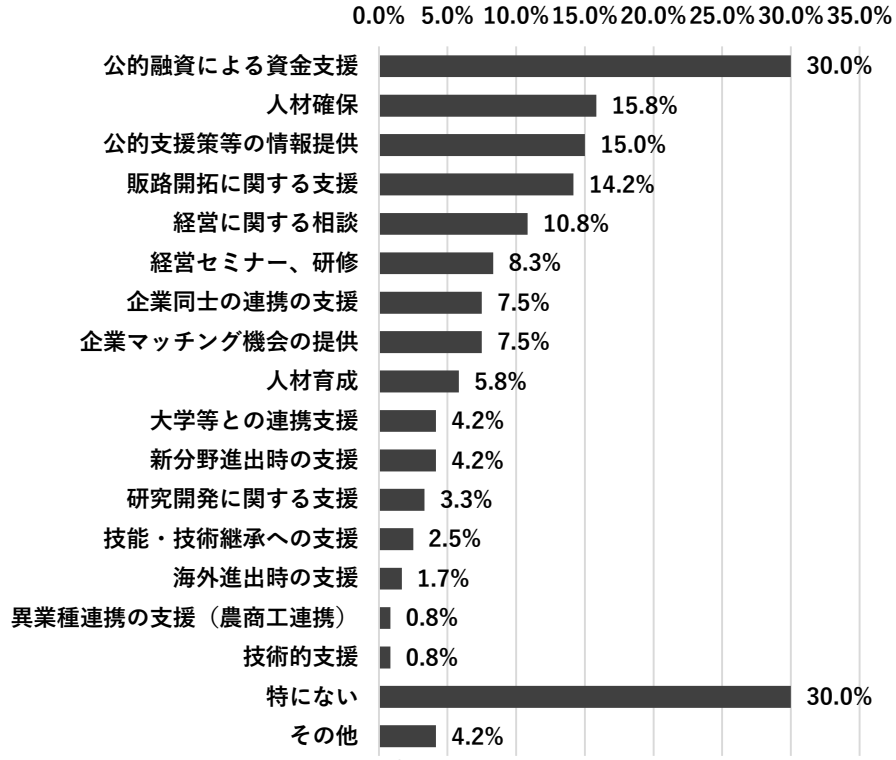
（市外に移転する回答の移転先）

□福岡市　1件　□筑紫地域（筑紫野市、大野城市、太宰府市、那珂川市）　1件

（5）春日市に求める行政支援

■　春日市内での事業活動にあたり、行政に求める支援は、「**公的融資による資金支援**」が30.0%と最も高く、次いで「**人材確保**（15.8%）」となっています。

【問６　春日市内での事業活動にあたり、行政に求める支援は何ですか。（〇は３つまで）(N=120)】



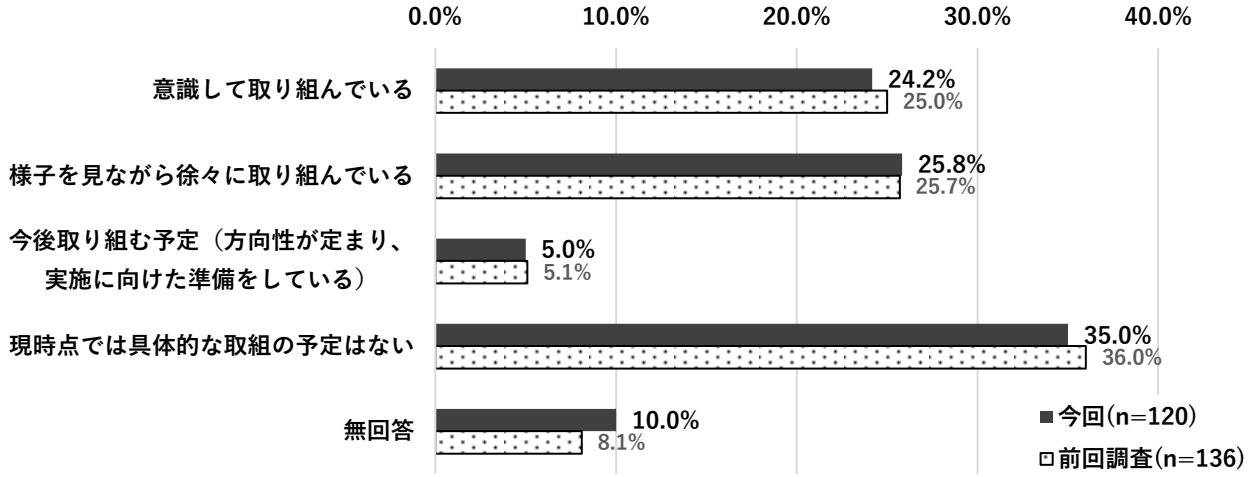
２．働き方改革について

（１）働き方改革への取組状況について

■　働き方改革への取組状況は、「**現時点では具体的な取組予定はない**」の割合が最も高く、35.0％となっています。次いで、「**様子を見ながら徐々に取り組んでいる**（25.8％）」、「**意識して取り組んでいる**（24.2％）」となっています。

■　働き方改革への取組状況については、前回調査と同じ傾向となり、進展がない状況となっています。

【問７　貴事業所の「働き方改革」への取組状況をお答えください。(N=120)】

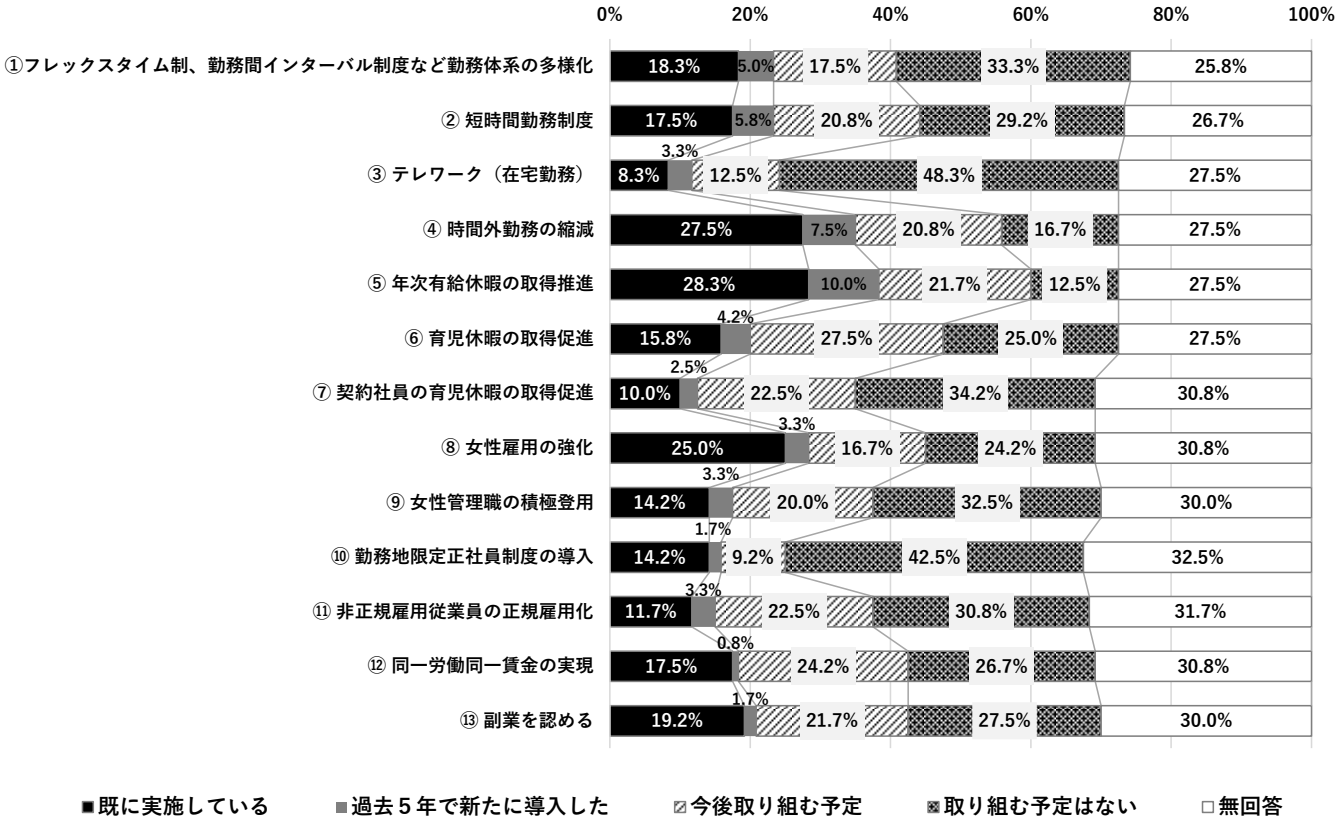


（２）働き方改革の具体的な取組状況

■　働き方改革の具体的な取組状況については、「**実施している**（すでに実施＋過去５年間に新たに導入）」取組は「**時間外勤務の縮減**」「**年次有給休暇の取得推進**」「**女性雇用の強化**」、「**今後取り組み予定**」は上記以外では「**育児休暇の取得促進**」「**同一労働同一賃金の実現**」が高くなっています。

■　すべての項目に対して「**特に取り組んでいない**」事業者は**26.7%**となっています。

【問８　「働き方改革」の具体的な取組として、どのようなことを実施または予定されていますか。
(N=120)】



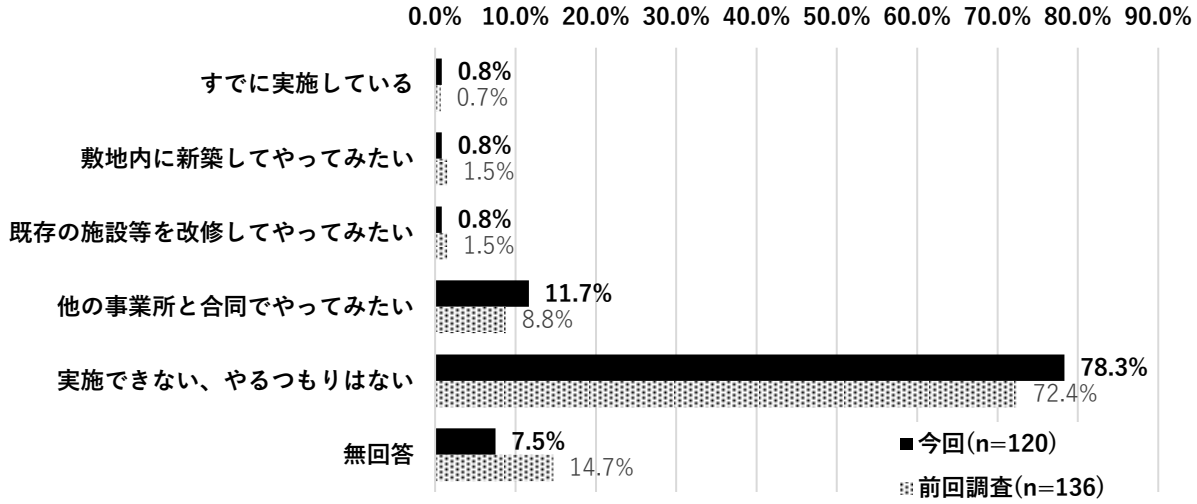
３．子育て世代の社員の勤務や雇用状況について

（１）事業所内保育所等の設置について

■　事業所内保育所等の設置について、「すでに実施している」「新築してやってみたい」「施設を改修してやってみたい」事業者はあわせて**2.4％（3件）**と**前回調査と比較して低く**なっています。

■　「**他の事業所と合同でやってみたい**」は11.7％と前回調査より高くなっています。

【問９　事業所内に保育所等を設置し、子どもを預けて勤務することについて（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）(N=120)】

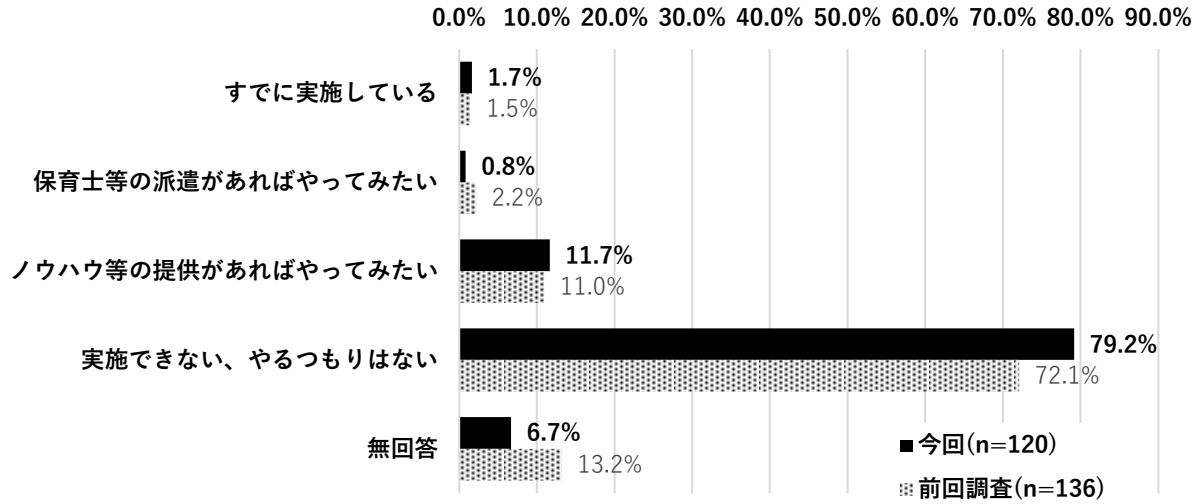


（２）少人数制の託児室施設の設置について

■　会議室等を利用した少人数制の託児室施設の設置について、「すでに実施している」は**1.7％**で前回調査と同様の結果となっています。

■　「**ノウハウ等の提供があればやってみたい**」は11.7％と前回調査より高くなっています。

【問１０　会議室等を利用した少人数制の託児室を設置し、子どもを預けて勤務することについて（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）(N=120)】

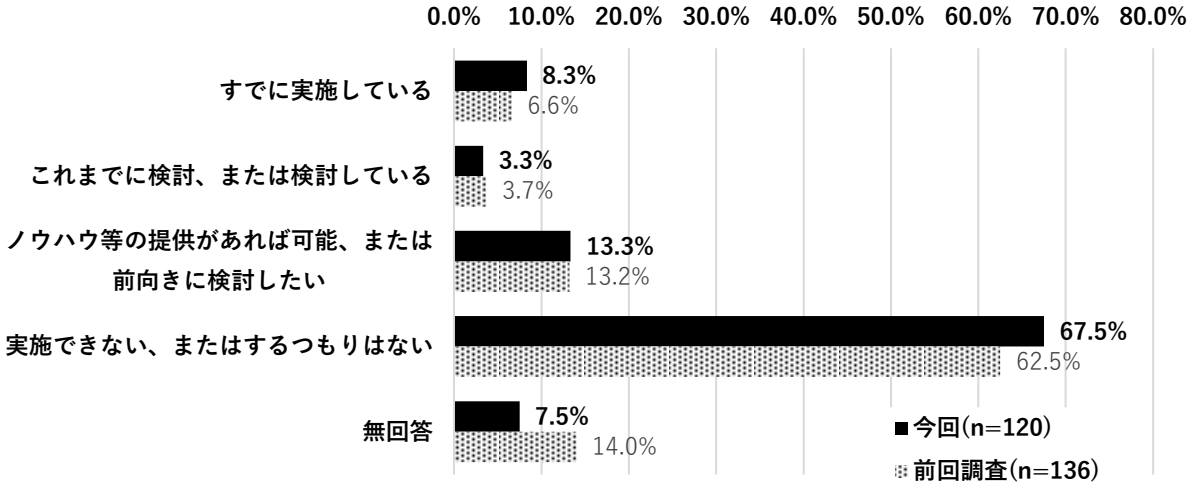


（３）子連れ出勤について

■　職場に子どもを連れて出勤（子連れ出勤）について、「**すでに実施している**」事業者はあわせて**8.3%**となり、**前回調査から若干高く**なっています。

■　「**ノウハウ等の提供があれば可能、または前向きに検討したい**」13.3%となっています。

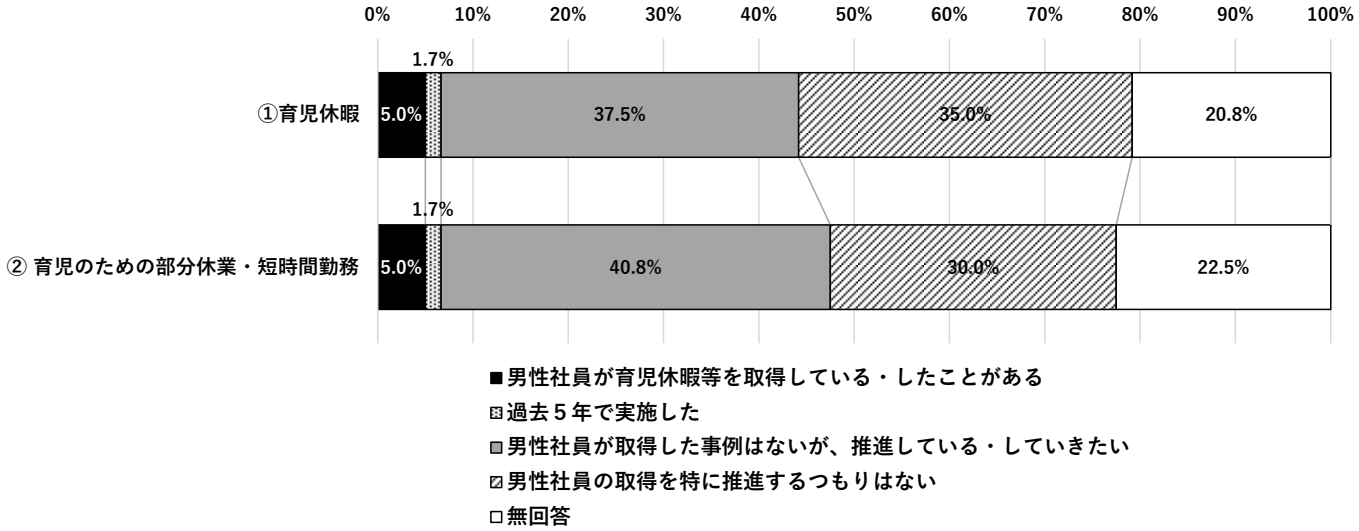
【問１１　職場に子どもを連れて出勤（子連れ出勤）して、勤務することについて(n=116)**】**



（４）男性の育児休暇等の取得について

■　男性の「育児休暇」「育児のための部分休業（短時間勤務）」については、男性社員が精度を取得した事業所はともに**5.0%**と低くなっています。「男性社員が取得した事例はないが、推進している・していきたい」事業者は40%前後となっています。

【問１２　男性の育児休暇等の取得について、あてはまる番号に○をつけてください。また、すでに実施している取組のうち、過去５年の実績がある場合もお答えください。(N=120)**】**

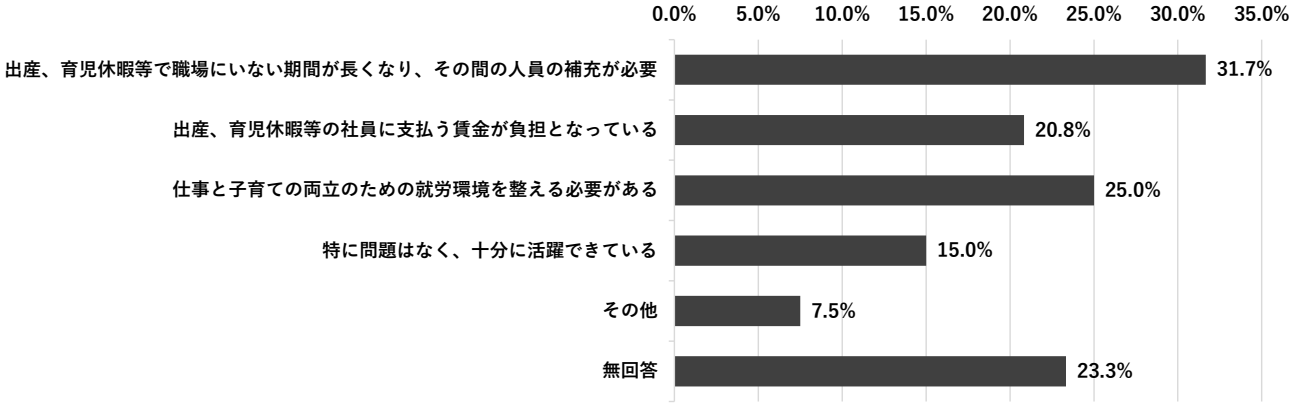


（５）子育て世代の社員の活用や、活躍してもらう上での課題

■　子育て世代の社員の活用や、活躍してもらう上での課題は、「**出産、育児休暇等で職場にいない期間が長くなり、その間の人員の補充が必要**」が31.7％と最も高く、次いで「**仕事と子育ての両立のための就労環境を整える必要がある**（25.0％）」となっています。

■　「**特に問題なく、十分に活躍できている**」15.0％となっています。

【問１３ 子育て世代の社員の活用や、活躍してもらう上での課題（最もあてはまるものを２つまで○）
(N=120)】



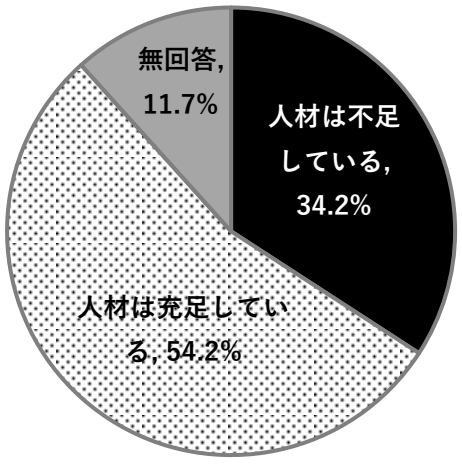
４．現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進について

（１）人材の充足度について

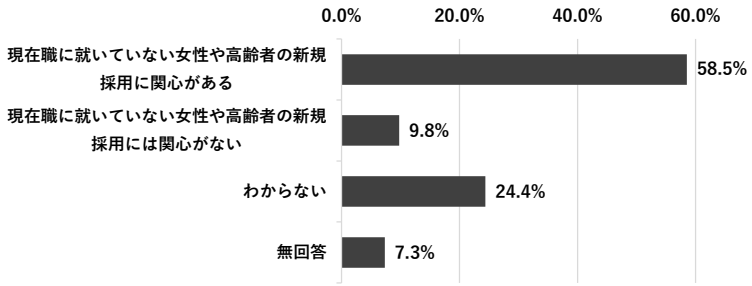
■　事業所の人材の充足度について、「**人材は充足している**」は**54.2**％となり、「**人材が不足している**」は**34.2%**となっています。「新築してやってみたい」「施設を改修してやってみたい」事業者はあわせて**2.7%（3件）**と**前回調査と比較して低く**なっています。

■　人材が不足している事業者のうち、女性や高齢者の新規採用に「**関心がある**」事業者は58.5％となっています。

【問１４ 貴事業所の人材は充足していますか。
(N=120)】



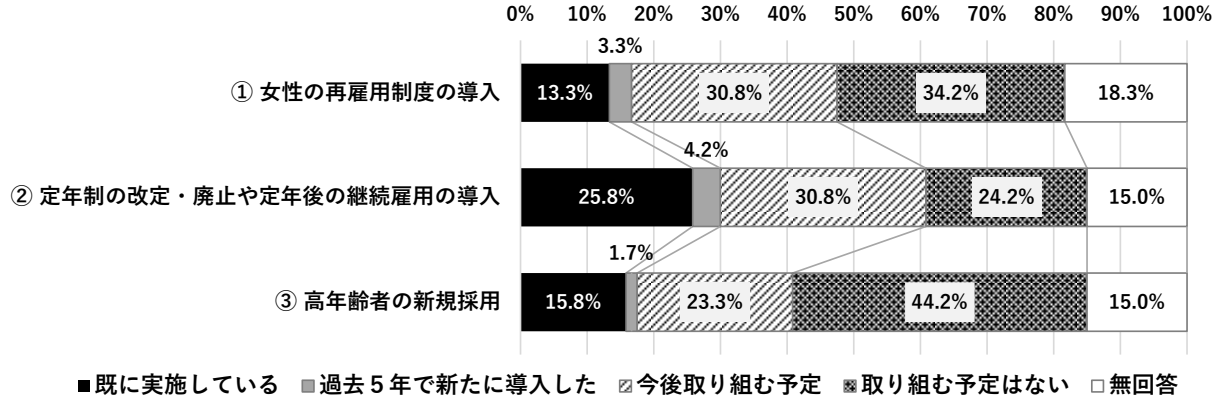
【問１４-１ 現在職に就いていない女性や高齢者の新規採用についてお答えください。(n=41)】
※「人材が不足している」と回答した方のみ



（２）女性や高齢者の雇用推進の状況について

■　現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進に向けた取組状況については、「**実施している**（すでに実施＋過去５年間に新たに導入）」取組は「**定年制の改定・廃止や定年後の継続雇用の導入**」が高く、「**女性の再雇用制度の導入**」は「今後取り組む予定（30.8%）」を加えて**取り組む（予定）の事業者は約半数**となっています。

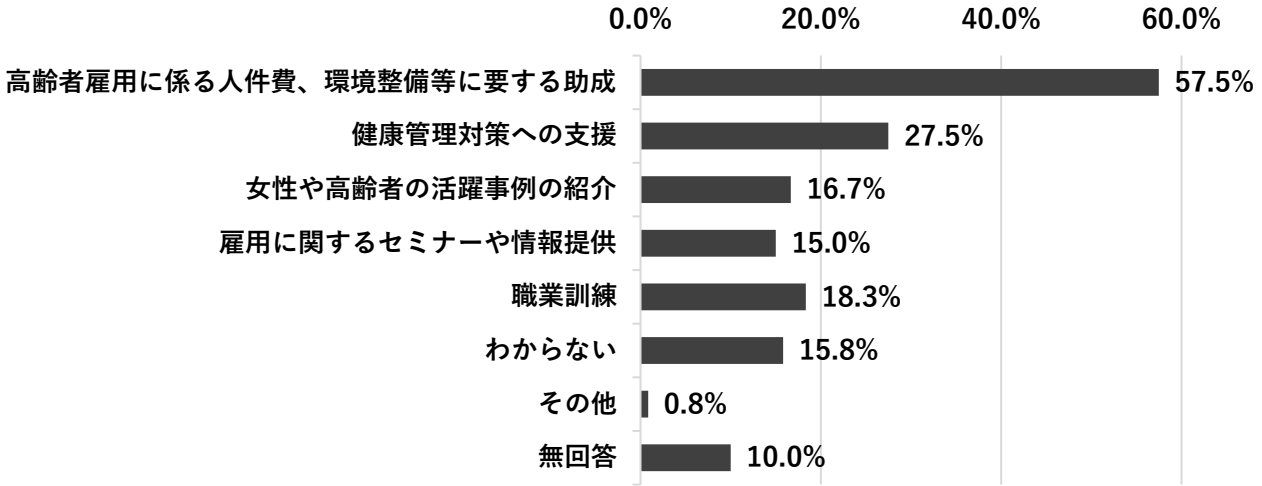
【問１５ 現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進の状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、すでに実施している取組のうち、過去５年の実績がある場合についてもお答えください。(N=120)】



（３）女性や高齢者雇用拡大に向けて必要と思われる支援策

■　女性や高齢者雇用拡大に向けて必要と思われる支援策は、「**高齢者雇用に係る人件費、環境整備等に要する助成**」が57.5%と最も高く、次いで「**健康管理対策への支援**（27.5%）」となっています。

【問１６ 女性や高齢者雇用拡大に向けて必要と思われる支援策についてお答えください。(N=120)】

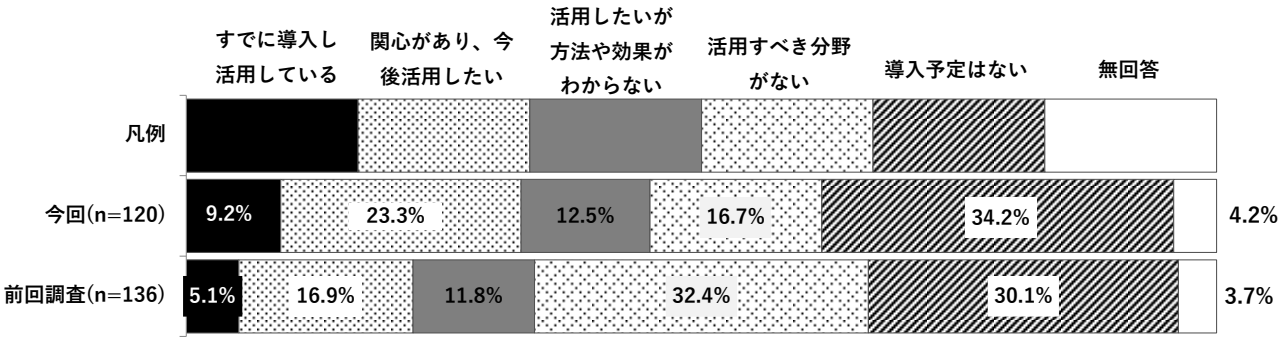


４．新技術・高度技術の導入や国際化について

（１）ＩｏＴ、人工知能（ＡＩ）等の新技術・高度技術の導入状況、利用意向

■　ＩｏＴ、人工知能（ＡＩ）等の新技術・高度技術の導入について、「**すでに導入し活用している**」事業者は**9.1%**となり、**前回調査より増加**しています。「**関心があり、今後活用したい**」事業者も**前回調査より増加**しており、市内の事業者の新技術・高度技術の導入に向けた取組は進んでいると考えられます。

【問１７　ＩｏＴ、人工知能（ＡＩ）等の新技術・高度技術の導入状況、利用意向について、あてはまる番号に○をつけてください。(N=120)】



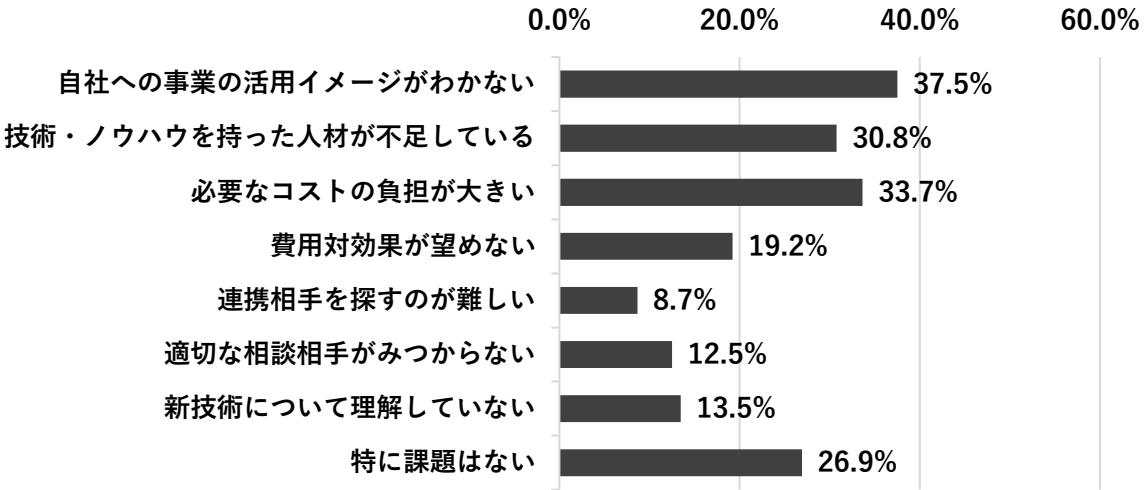
（２）新技術の活用に向けた課題

■　新技術・高度技術の活用意向のある事業者の課題は、「**自社への事業の活用イメージがわかない**」が37.5%と最も高く、次いで、「**必要なコストの負担が大きい**（33.7%）」「**技術・ノウハウを持った人材が不足している**（30.8%）」

■　「**特に課題のない**」事業者は26.7%となっています。

【問１７-１ 新技術の活用に向けた課題としてあてはまる番号に○をつけてください。　（あてはまるものすべてに○）(n=104)】

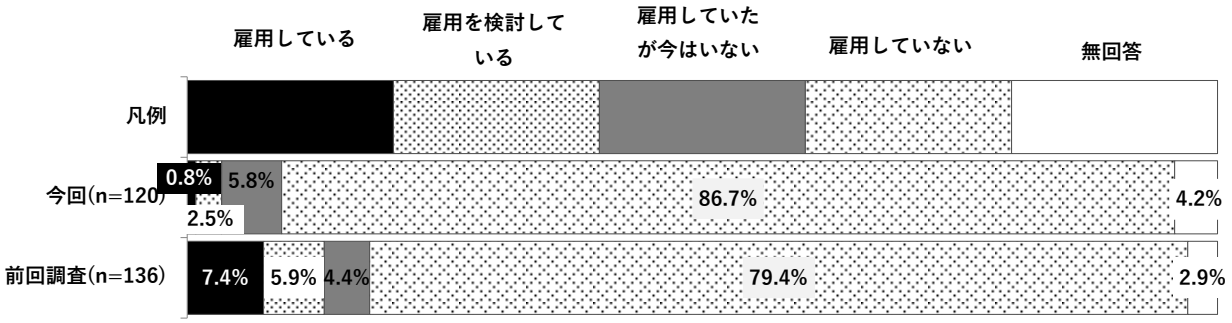
※新技術･高度技術の導入状況や利用意向について､｢関心があり､今後活用したい｣､｢活用したいが方法や効果がわからない｣､｢活用すべき分野がない｣､｢導入予定はない｣と回答した方のみ



（3）外国人の雇用状況

■　外国人の雇用については「雇用している」事業者は**0.8%**と前回調査より低くなっています。

【問１８　貴事業所での外国人の雇用状況をお答えください。(N=120)】



（雇用している事業者（1件）の内訳）

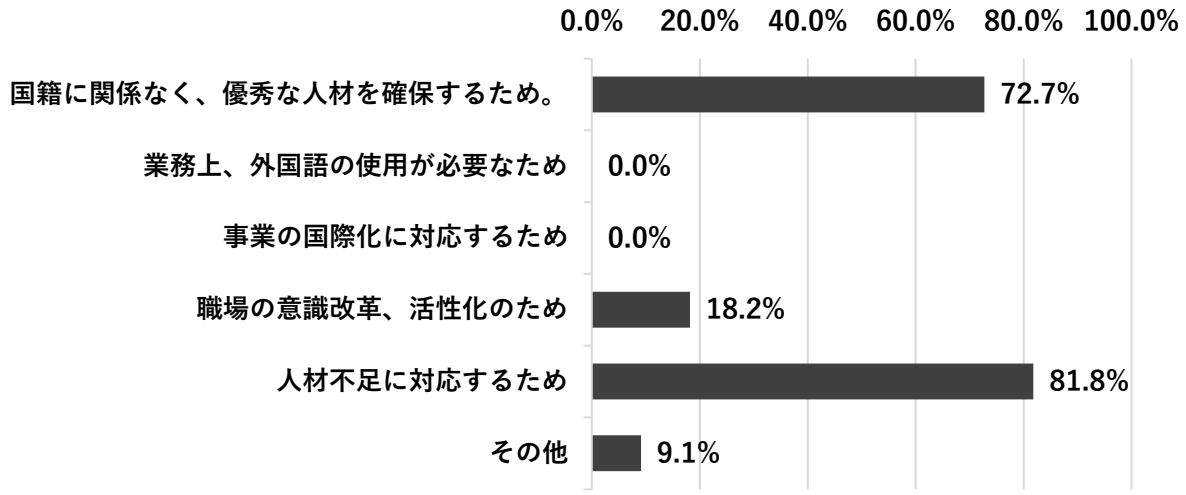
□正社員：2名

（4）外国人を採用する理由

■　外国人の雇用をしている（検討している）事業者の採用する理由は、該当する事業者の81.8%が「**人材不足に対応するため**」を回答します。次いで「**国籍に関係なく、優秀な人材を確保するため**（72.7%）」となっています。

【問１８　貴事業所での外国人の雇用状況をお答えください。(n=11)】

※外国人の雇用状況について、「雇用している」、「雇用を検討している」、「雇用していたが今はしていない」と回答した方のみ



Ⅵ　調査票

（1）市民アンケート・調査票

一般世帯の方へ

春日市総合戦略に関する アンケート調査

調 査 票

【ご協力をお願いします】

市民の皆さまには日ごろから市政運営について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、人口減少社会に的確に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、「第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和7年度～令和12年度）」の策定作業を行っています。

この調査は、市民の皆さまの結婚・出産・子育て、就労、住まいに関する意向や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお伺いし、戦略策定の基礎資料として活用するものです。

市内にお住まいの 18 歳以上の方から 2,000 人を無作為に選び、調査票をお送りしています。一人でも多くの市民の皆さまの声をお聴きし、戦略策定に反映させるだけでなく、今後の春日市政を推進するための貴重な資料といたします。ご記入いただいた調査票はすべて統計処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和6年7月　　春日市長　井上　澄和

ご記入にあたってのお願い

1．原則、封筒の宛名のご本人が回答してください。何らかの事情でご本人の回答が難しい場合は、ご家族または日常ご本人のことをよくわかっている方がご回答ください。
2．ご回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（　）内に具体的な内容をご記入ください。
3．ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて **7月31日（水）まで** にご投函ください。
4．ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

春日市 経営企画課 企画担当
電話：092-584-1111（代）　　FAX：092-584-1145

このアンケート調査はインターネットでも回答できます。
〈アンケート画面へのアクセス方法〉
1）スマートフォン・携帯電話から
　右のQRコードを読み取っていただくと、アンケート回答画面へつながります。
2）パソコンから
　アドレス（https://questant.jp/q/kasuga01）を直接入力して下さい。
※インターネットで回答いただきましたら、アンケート用紙の返送は不要です。

（QRコード）

あなた自身のことについておたずねします

問１　回答者ご本人について、あてはまる番号に○印をつけてください。

① 性別	１．男性　　２．女性　　３．その他　　４．回答しない
② 年代	１．18～20歳代　　２．30歳代　　３．40歳代 ４．50歳代　　５．60～64歳　　６．65～69歳 ７．70～74歳　　８．75歳以上
③ 住まいの小学校区	１．春日小学校　　２．春日北小学校　　３．春日東小学校 ４．春日原小学校　　５．春日西小学校　　６．須玖小学校 ７．春日南小学校　　８．大谷小学校　　９．天神山小学校 10．春日野小学校　　11．日の出小学校　　12．白水小学校
	13．わからない（お住いの地区・町→　　）
④ 春日市における居住年数	１．１年未満　　２．１～３年未満　　３．３～５年未満 ４．５～10年未満　　５．10～20年未満　　６．20年以上
⑤ 転入の有無	１．春日市で生まれ、市内に住み続けている ２．春日市で生まれ、市外に出たが戻ってきた ３．春日市外で生まれ、就学・就職（転職含む）を機に転入してきた ４．春日市外で生まれ、結婚を機に転入してきた ５．春日市外で生まれ、「３」「４」以外の理由で転入してきた （転入した理由：　　）
⑥ 住居の種類	１．戸建て（持家）　　２．戸建て（賃貸） ３．集合住宅（持家）　　４．集合住宅（賃貸） ５．社宅・寮　　６．その他（　　）
⑦同居家族の構成員数（回答者を含む）	１．単身（あなた1人）　　２．２人　　３．３人 ４．４人　　５．５人　　６．６人以上
⑧ 同居者（複数回答可）	１．配偶者　　２．子ども　　３．親　　４．兄弟・姉妹 ５．祖父母　　６．孫　　７．いない（ひとり暮らし） ８．その他（　　）
（→同居の有無に関わらず子どものいる方のみ）⑨ 子どもの人数	未就学児（　　）人　　小学生（　　）人 中学生以上の学生（　　）人　　社会人（　　）人
（→⑧で「１．配偶者」と回答した方のみ）⑩ 世帯の働き方	１．夫のみ働いている　　２．妻のみ働いている ３．共働きである　　４．夫婦ともに退職している ５．その他（　　）
⑪ 昨年１～12月の世帯年収	１．100万円未満　　２．100万円台　　３．200万円台 ４．300万円台　　５．400万円台　　６．500万円台 ７．600万円台　　８．700万円台　　９．800万円台 10．900万円台　　11．1,000万円以上 １２．分からない・答えたくない

現在の就労状況についておたずねします

問２　あなたの就労形態についてお聞かせください。（ひとつに○）

1．正社員　　2．パート・アルバイト　　3．派遣、嘱託、契約社員
4．自営業者、家業従事者

5．学生　　6．家事（専業主婦・主夫）　　7．無職（退職者を含む）　（→ 問3へ）

問２の「１」～「４」を選んだ方は、以下の問２－１～問２－５をお答えください

問２－１　あなたのお仕事の主たる業種をお答えください。（ひとつに○）

1．農業　　2．林業　　3．漁業　　4．鉱業　　5．建設業
6．製造業　　7．電気・ガス・水道業　　8．情報通信業　　9．運輸業
10．卸売業　　11．小売業　　12．金融・保険業　　13．不動産業
14．学術研究　　15．飲食店、宿泊業　　16．娯楽業　　17．教育、学習支援業
18．医療、福祉　　19．個人向けサービス事業　　20．企業向けサービス業
21．サービス業（他に分類されない）　　22．公務員・団体職員
23．その他（　　）

問２－２　勤務地の所在地はどちらですか。（ひとつに○）

1．春日市内　　2．福岡市（　　区）　　3．大野城市　　4．那珂川市
5．太宰府市　　6．筑紫野市　　7．その他（　　）

問２－３　自宅から勤務地までの交通手段は何ですか。また通勤にかかる所要時間はどれくらいですか。（交通手段が複数ある場合は、あてはまるものすべてに○）

1．ＪＲ　　2．西鉄電車　　3．バス　　4．地下鉄　　5．自家用車
6．バイク　　7．自転車　　8．徒歩　　9．その他（　　）

通勤にかかる所要時間（　　）時間（　　）分

問２－４　あなたが仕事を選ぶ上で重視したことまたはしていることは、どんなことですか。（最もあてはまるものを最大３つまで○）

1．高い収入を得る　　2．相応の年収を得る
3．やりたいことに取り組む　　4．最先端のことに取り組む
5．自分の経験や知識が活かせる　　6．希望する勤務地域で働く
7．仕事と私生活を両立する　　8．充実した福利厚生を受ける
9．尊敬する社長や社員等がいる　　10．慣習にとらわれず自由な働き方をする
11．覚えていない、わからない
12．その他（具体的に：　　）

問２－５　現在の居住地と勤務地の関係について、あてはまるものをお選びください。（ひとつに○）

1．就職前から春日市に住んでおり、春日市内の企業を選んだ
2．現在の居住地と勤務地は特に関係はない
3．勤務地への通いやすさなどを考えて、市外から春日市に移転してきた
4．その他（　　）

就職・転職・再就職・起業の意向についておたずねします

問３　春日市には、「雇用の場」が十分に確保されていると思いますか。（ひとつに○）

１．十分確保されている	２．ある程度確保されている
３．どちらともいえない	４．あまり確保されていない
５．全く確保されていない	６．よくわからない

問４　今後の就業について、あなたのお考えにあてはまるものを選んでください。（ひとつに○）

１．現在の職場で働き続けたい　（→ 問４-１ へ）
２．転職したい
３．現在は就労していないが、今後仕事に就きたい　（→ 問４-１～３ へ）
４．起業する予定である、いずれ起業したい　（→ 問４-２～５ へ）
５．現在は仕事に就いておらず、今後も就業するつもりはない　（→ 問５ へ）

問４の「１」～「３」を選んだ方のみお答えください

問４－１　あなたが仕事において求める条件は何ですか。（最もあてはまるものを最大２つまで○）

１．希望する業種である	２．収入面	３．通勤しやすい場所
４．自分の経験や資格が活かせる	５．充実した福利厚生	
６．仕事と生活の両立が図れる	７．子育てに理解のある企業	
８．その他（　　）		

問４の「２」～「４」を選んだ方は以下の問４－２、問４－３をお答えください

問４－２　就職・転職・起業する場合、関心のある業種は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．農業	２．林業	３．漁業	４．鉱業	５．建設業
６．製造業	７．電気・ガス・水道業	８．情報通信業	９．運輸業	
10．卸売業	11．小売業	12．金融・保険業	13．不動産業	14．学術研究
15．飲食店、宿泊業	16．娯楽業	17．教育、学習支援業		
18．医療、福祉	19．個人向けサービス事業	20．企業向けサービス業		
21．サービス業（他に分類されない）	22．公務員・団体職員			
23．その他（　　）				

問４－３　就職・転職・起業する場合、働く場所はどこがよいですか。（あてはまるものすべてに○）

１．春日市内	２．春日市近郊（ 大野城市・那珂川市・太宰府市・筑紫野市 ）
３．福岡市（　　区 ）	４．離島・中山間地域
５．大都市圏（東京・大阪等）	６．わからない
７．その他（具体的に：　　）	

問４の「４．起業する予定である、いずれ起業したい」を選択した方は以下の問４－４、問４－５をお答えください

問４－４　起業の準備に際し、以下のような悩みを感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．相談相手がいない
2．一緒にやってくれる仲間がいない
3．事業用地・物件が見つからない
4．資金が集まらない
5．知識、経験、技術が不足している
6．特に悩みはない
7．その他（具体的に：　　）

問４－５　起業する時期はどのくらいを予定していますか。（ひとつに○）

1．１年以内　　2．１～５年以内　　3．５～10 年以内
4．10～20 年以内　　5．時期は未定

結婚の状況や意向についておたずねします

問５　あなたは現在、結婚（事実婚を含む）していますか。（ひとつに○）

1．結婚している（または結婚していた）（→ 問６へ）　2．結婚していない（→ 問5-1 へ）

問５で「２．結婚していない」を選んだ方のみお答えください

問５－１　結婚（事実婚を含む）に関するお考えをお聞かせください。（ひとつに○）

1．いずれ結婚するつもり　（→ 問６へ）
2．結婚するつもりはない　（→ 問5-2 へ）

問５－１で「２．結婚するつもりはない」を選んだ方のみお答えください

問５－２　結婚するつもりがない理由は何ですか。（○は３つまで）

1．結婚する必要を感じないから
2．仕事にうちこみたいから
3．趣味や娯楽を楽しみたいから
4．独身の自由さや気楽さを失いたくないから
5．結婚したいと思う相手にまだめぐり会わないから
6．異性とうまくつきあえないから
7．経済的に困難であるから
8．結婚生活のための住居のメドがたたないから
9．親や周囲が結婚に同意しないから
10．その他（　　）

→問６、問７、問８ は、すべての方にうかがいます

問６　結婚することには何か利点があると思いますか。（ひとつに○）

１．利点があると思う（→ 問6-1 へ）	２．利点はないと思う（→ 問７へ）

問６で「１．利点があると思う」を選んだ方のみお答えください

問６－１　具体的な利点をご回答ください。（○は２つまで）

１．経済的に余裕が持てる	２．社会的信用を得ることができる
３．精神的な安らぎの場が得られる	４．現在愛情を感じている人と暮らせる
５．自分の子どもや家族が持てる	６．生活上便利になる
７．親から独立できる	８．親や周囲を安心させることができる
９．その他（　　）	

問７　独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。

１．利点があると思う（→ 問7-1 へ）	２．利点はないと思う（→ 問８へ）

問７で「１．利点があると思う」を選んだ方のみお答えください

問７－１　具体的な利点をご回答ください。（○は２つまで）

１．行動や生き方が自由	２．恋愛が自由
３．金銭的に裕福	４．住宅や環境の選択が広い
５．家族を養う責任が無く、気楽	６．広い人間関係が保ちやすい
７．現在の家族とのつながりが保てる	８．その他（　　）

問８　結婚することを考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか（気になりましたか）。（あてはまるものすべてに○）

１．お金を自由に使えるか
２．現在の仕事を続けられるか
３．職業を自由に選べるか
４．仕事（または学業）の時間を自由に取れるか
５．余暇や遊びの時間を自由に取れるか
６．住む場所が制約されないか
７．自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
８．ファッションや食物などの好みが制約されないか
９．自由な人生設計ができるか
１０．その他（　　）

理想とする子育て中の男女の働き方について

問１２　子育て中の働き方として理想とするものは次のどれですか。男性の場合と女性の場合、両方お答えください。（それぞれあてはまるものを最大２つまで○）

【男性の子育て中の働き方】	【女性の子育て中の働き方】
１．育休制度の取得、期間延長	１．育休制度の取得、期間延長
２．短時間正社員（時短勤務）※1	２．短時間正社員（時短勤務）※1
３．テレワーク（在宅勤務）※2	３．テレワーク（在宅勤務）※2
４．企業内託児所の利用	４．企業内託児所の利用
５．子連れ出社	５．子連れ出社
６．子育て中は仕事を辞めて育児に専念した方がよい	６．子育て中は仕事を辞めて育児に専念した方がよい
７．その他（　　）	７．その他（　　）
８．特にない	８．特にない

※1 短時間正社員（時短勤務）：子どもが３歳になるまでの間は１日原則６時間の勤務ができる制度
※2 テレワーク（在宅勤務）：従業員が会社に出社せず、自宅など自由な場所で仕事をする働き方のこと

春日市の住み心地についておたずねします

問１３　あなたは、春日市に対して「自分のまち」としての愛着や誇りをどの程度感じていますか。（ひとつに○）

１．とても感じている　　２．どちらかというと感じている
３．あまり感じていない　　４．感じていない　（→問 14 へ）

問１３で「１．とても感じている」、「２．どちらかというと感じている」を選んだ方にうかがいます

問１３-１　あなたは春日市のどのようなところに愛着や誇りを感じていますか。（○は３つまで）

１．生まれ育ったところだから
２．買い物など日常生活に便利なところ
３．交通の便（公共交通・道路整備）がよいところ
４．スポーツセンター、野球場などスポーツ施設が充実しているところ
５．文化センター、図書館など文化施設が充実しているところ
６．春日市の歴史や史跡
７．春日市民が親切で人情味があるところ、近所づきあいなど
８．緑豊かな自然環境
９．その他（　　）

問１４　あなたは、春日市を住みやすいまちだと思いますか。（ひとつに○）

１．住みやすい	２．どちらかと言えば住みやすい
３．どちらかと言えば住みにくい	４．住みにくい

問１４で「１．住みやすい」、「２．どちらかと言えば住みやすい」を選んだ方のみお答えください

問１４－１　春日市が住みやすいと感じる理由は何ですか。（○は３つまで）

1. 福岡市に近く、地理的な優位性が高い
2. 鉄道やバスなど交通の利便性が高い
3. 就労場所が豊富、近い
4. 土地が安く住宅が建てやすい
5. 子育て環境（支援施策、施設）が充実している
6. 教育環境（支援施策、施設）が充実している
7. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している
8. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している
9. 文化施設、スポーツ施設、公民館が充実している
10. 身近な場所での買い物の利便性が高い
11. 道路が整備され、渋滞が少なく、安全で快適な交通が確保されている
12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる
13. 地域のつながりが強い
14. 若者が増加、いきいきしている
15. 高齢者の活躍の場が多い
16. その他（　　）

問１４で「３．どちらかと言えば住みにくい」、「４．住みにくい」を選んだ方のみお答えください

問１４－２　春日市が住みにくいと感じる理由は何ですか。（○は３つまで）

1. 福岡市から遠く、地理的な優位性が低い
2. 鉄道やバスなど交通の利便性が低い
3. 就労場所が少ない、遠い
4. 土地が高く住宅が建てにくい
5. 子育て環境（支援施策、施設）が充実していない
6. 教育環境（支援施策、施設）が充実していない
7. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない
8. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない
9. 文化施設、スポーツ施設、公民館が充実していない
10. 身近な場所での買い物の利便性が低い
11. 道路が整備されておらず、渋滞が多く、安全で快適な交通が確保されていない
12. 防災、防犯面で不安を感じる
13. 地域のつながりが弱い
14. 若者が減少、活力がない
15. 高齢者の活躍の場が少ない
16. その他（　　）

問１５　あなたは、今後も春日市に住み続けたいと思いますか。（ひとつに○）

1．住み続けたい
2．どちらかと言えば住み続けたい
3．どちらかと言えば市外に移りたい
4．市外に移りたい

▶問１５で「１．住み続けたい」「２．どちらかと言えば住み続けたい」を選んだ方のみお答えください

問１５-１　あなたが、春日市に住み続けたい理由は何ですか。（○は３つまで）

1．親や親せき、または知人や友人が近くにいる
2．高齢者になっても暮らしやすい
3．保育・教育環境が整っている
4．職場や学校への交通の便がよい
5．自然環境がよい
6．普段の買い物などが便利
7．春日市に愛着があるから
8．自然災害の影響が少ない
9．希望する価格、広さの住まいが確保できるから
10．その他（　　）

▶問１５で「３．どちらかと言えば市外に移りたい」「４．市外に移りたい」を選んだ方のみお答えください

問１５-２　どのような条件が整えば、春日市に住み続けたいですか。（○は３つまで）

1．希望する価格、広さの住まいが確保できる
2．保育・教育環境が充実している
3．高齢者への支援が充実している
4．春日市内で就職ができる
5．徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている
6．普段の買い物などが便利
7．交通機関が充実している
8．その他（　　）

地域の活動についておたずねします

問１６　あなたは、春日市が、まちづくりや教育、福祉の分野で市民の活動が活発であり、生活の場面の多くを支えていると思いますか。（ひとつに○）

1．そう思う　　2．どちらかと言えば、そう思う
3．どちらかと言えば、そう思わない　　4．そう思わない

問１７　あなたは、春日市が、市民の交流の機会が多く、地域の連帯感を感じるまちだと思いますか（ひとつに○）

1．感じる　　2．どちらかと言えば感じる
3．どちらかと言えば感じない　　4．感じない

男女共同参画に関することについて、おたずねします

問１８　「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなたは、この考え方にどの程度同感しますか。（ひとつに○）

１．同感する	２．ある程度同感する
３．あまり同感しない	４．同感しない

問１９　あなたは、子どもの育て方についてどのような考え方をお持ちですか。お子さんの有無にかかわらず、次の（ア）から（エ）のそれぞれについて、あてはまるものを選んでください。（各項目ひとつずつに○）

※項目ごとに横に見てお答えください		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
（ア）性別に関わらず、同等に仕事を持ち、経済的に自立できるよう育てる	⇒	1	2	3	4	5
（イ）性別に関わらず、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけるよう育てる	⇒	1	2	3	4	5
（ウ）幼い時から男女の区別をしないで同じように育てる	⇒	1	2	3	4	5
（エ）女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる	⇒	1	2	3	4	5

春日市の人口減少問題についておたずねします

問２０　将来的に春日市の人口が減少していくことについてあなたの考えに最も近いものをお答えください。（ひとつに○）

１．現在より増加するよう努力すべきだ
２．現在程度の人口維持を目指すべきだ
３．一定の人口減少はやむを得ないが、なるべく人口減少に歯止めをかけるべきだ
４．人口減少はやむを得ない
５．その他（　　）

問２１　春日市の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、次のうち、影響が大きいと考えること及び不安に感じることは何ですか。（○は３つまで）

１．国や地方が税収減となり、行政サービスが低下
２．年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増
３．地域を支える担い手の不足や地域活力の低下
４．労働力人口の減少などによる地域産業の衰退
５．人口減少による消費減などで、商店街などの中心部のにぎわいが喪失
６．地域の伝統や文化の衰退・喪失
７．スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ施設・環境の縮減
８．それほど影響はない
９．その他（　　）

問２２　人口減少を克服し活力ある社会を目指して、春日市が今後取り組むべきことについて、重視すべきことは何だと思いますか。（○は３つまで）

1．良質な住環境を形成し、都市機能※1を充実させる取組
2．移住の促進や定住・Uターンなどの取組
3．結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組
4．人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組
5．地域の活性化やにぎわいを創出する取組
6．正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ解消
7．起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
8．道路等のインフラ整備や公共交通機関の充実
9．駅前周辺の整備など地域の活性化やにぎわい作り
10．その他（　　）

※1 都市機能：医療・福祉・商業施設などの生活を支える機能

問２３　春日市がこれから少子化に歯止めをかけるため、どういった取組に力を入れるべきだと考えますか。（○は３つまで）

1．結婚につながる出会いの機会創出の促進
2．仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進するなどの働き方の見直し
3．妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備の支援
4．妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
5．子育て・教育における経済的な負担の軽減
6．多子世帯に対する支援の充実
7．幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実
8．保育環境の充実（保育所、放課後児童クラブ等）
9．生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成
10．その他（　　）

問２４　人口減少や少子化、これからのまちづくりなどについて、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。
調査にご協力いただきありがとうございました。
同封の封筒に入れて、切手は貼らずに 7月31日（水）までに
お近くのポストにご投函ください。

（２）転入者アンケート・調査票

転入された方へ

春日市総合戦略に関する アンケート調査

調 査 票

【ご協力をお願いします】

市民の皆さまには日ごろから市政運営について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、人口減少社会に的確に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、「第３期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和７年度～令和１２年度）」の策定作業を行っています。

この調査は、春日市に転入された皆さまが現在のまちづくりの状況や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお伺いし、戦略策定の基礎資料として活用するものです。

一人でも多くの市民の皆さまの声をお聴きし、戦略策定に反映させるだけでなく、今後の春日市政を推進するための貴重な資料といたします。ご記入いただいた調査票はすべて統計処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和６年７月

春日市長　井上　澄和

⇨ ご記入にあたってのお願い ⇦

1. 原則、封筒の宛名のご本人が回答してください。何らかの事情でご本人の回答が難しい場合は、ご家族または日常ご本人のことをよくわかっている方がご回答ください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（　）内に具体的な内容をご記入ください。
3. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて **７月３１日（水）まで** にご投函ください。
4. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

春日市 経営企画課 企画担当
電話：092-584-1111（代）　FAX：092-584-1145

このアンケート調査はインターネットでも回答できます。
〈アンケート画面へのアクセス方法〉
1)スマートフォン・携帯電話から
右のQRコードを読み取っていただくと、アンケート回答画面へつながります。
2)パソコンから
アドレス（https://questant.jp/q/kasuga02）を直接入力して下さい。
※インターネットで回答いただきましたら、アンケート用紙の返送は不要です。

（QRコード）

あなた自身のことについておたずねします

問１　回答者ご本人について、差し支えない範囲でお答えください。

① 性別	1．男性　2．女性　3．その他　4．回答しない
② 年代	1．18～20歳代　2．30歳代　3．40歳代 4．50歳代　5．60～64歳　6．65～69歳 7．70～74歳　8．75歳以上
③ 家族の構成員数（回答者を含む）	1．単身（あなた1人）　2．2人　3．3人 4．4人　5．5人　6．6人以上
④ 同居者（複数回答可）	1．配偶者　2．子ども　3．親　4．兄弟・姉妹 5．祖父母　6．孫　7．いない（ひとり暮らし） 8．その他（　　）
（一同居の有無に関わらず子どものいる方のみ）⑤ 子どもの人数	未就学児（　　）人　小学生（　　）人 中学生以上の学生（　　）人　社会人（　　）人
⑥ 職業	1．正社員　2．自営業者、家業従事者 3．農林漁業従事者　4．派遣、嘱託、契約社員 5．パート・アルバイト　6．学生 7．専業主婦（主夫）　8．無職（退職者を含む） 9．その他（　　）
⑦ 勤務先（通勤先）	1．春日市内　2．福岡市内　3．その他（　　）

春日市への転入について

問２　あなたは、以前に春日市に住んでいたことはありますか。（ひとつに○）

1．春日市で生まれ、一度市外に出たがまた戻ってきた
2．春日市外で生まれ、今回初めて春日市に住むことになった
3．春日市外で生まれたが、今回の転入以前にも春日市に住んでいたことがある
4．その他

問３　転入前の住所はどちらですか。（ご記入ください）

（　　都・道・府・県）（　　市・町・村）

問４　転入前の住居には何年お住まいでしたか。（ひとつに○）

1．１年未満	2．1～3年未満	3．3～5年未満
4．5～10 年未満	5．10～20 年未満	6．20 年以上

問５　転入にあたって、春日市以外の地域でも住まいを探しましたか。（ひとつに○）

1．春日市内に決めていたので、他の市町村は探さなかった
2．他の市区町村も探した
　→（検討された市町村名（候補１）：　　）
　（検討された市町村名（候補２）：　　）
3．入居先が決まっていた（会社の寮や社宅があった、同居をはじめる家族の住宅があった、など）

問６　転入前と転入後の住宅の状況をお聞かせください。（それぞれひとつに○）

① 転入前		② 転入後（春日市での住居）
1．戸建て（持家） 2．戸建て（賃貸） 3．集合住宅（持家） 4．集合住宅（賃貸） 5．社宅・寮 6．その他（　　）	⇒	1．戸建て（持家） 2．戸建て（賃貸） 3．集合住宅（持家） 4．集合住宅（賃貸） 5．社宅・寮 6．その他（　　）

問７　転入することになったきっかけは主にどなたによるものですか。（ひとつに○）

1．あなた自身
2．配偶者（妻または夫）
3．子ども
4．あなた（または配偶者）の親
5．その他（具体的に：　　）

問８　転入することになった最も大きなきっかけは何ですか。（ひとつに○）

1．転勤のため	2．就職のため	3．転職のため
4．退職のため	5．進学のため	6．子どもの教育のため
7．結婚のため	8．離婚のため	9．両親や子どもの近くに住むため
10．家族から独立するため		11．住み替え、住宅の理由で
12．一時的な転入（出産や療養等など）		
13．その他（　　）		

問９　転入先に春日市を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．通勤・通学に便利	2．公共交通の利便性が高い
3．子育て支援が充実している	4．教育や文化的な環境がよい
5．高齢者福祉が充実している	6．医療や福祉が充実している
7．自然環境がよい	8．日頃の買い物が便利
9．住宅価格や家賃が手ごろである	10．治安がよく、安全である
11．まちのイメージがよい	12．友人・知人がいる

13．親や子どもの家に近かった、あるいは同居することになった
14．入居先が決まっていた（会社の寮や社宅があった、同居をはじめる家族の住宅があった、など）
15．その他（　　）

問１０　今後も春日市に住み続けたいと思われますか。（ひとつに○）

1．現在の住宅にこれからも住み続けたい。
2．転居するかもしれないが、その時も春日市にしたい。
3．将来は春日市外に引っ越したい
　→それはなぜですか。（具体的にお書きください）
（　　）

問１１　春日市に住んで良かったと感じる点をお選びください。（○は３つまで）

1．福岡市に近く、地理的な優位性が高い
2．鉄道やバスなど交通の利便性が高い
3．就労場所が豊富、近い
4．土地が安く住宅が建てやすい
5．子育て環境（支援施策、施設）が充実している
6．教育環境（支援施策、施設）が充実している
7．医療福祉施設、医療福祉施策が充実している
8．高齢者福祉施設、支援施策が充実している
9．文化施設、スポーツ施設、公民館が充実している
10．身近な場所での買い物の利便性が高い
11．道路が整備され、渋滞が少なく、安全で快適な交通が確保されている
12．防災、防犯施策によって安心して暮らせる
13．地域のつながりが強い
14．若者が増加、いきいきしている
15．高齢者の活躍の場が多い
16．その他（　　）

問１２　春日市に住んで不満と感じる点をお選びください。（○は３つまで）

1．福岡市から遠く、地理的な優位性が低い
2．鉄道やバスなど交通の利便性が低い
3．就労場所が少ない、遠い
4．土地が高く住宅が建てにくい
5．子育て環境（支援施策、施設）が充実していない
6．教育環境（支援施策、施設）が充実していない
7．医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない
8．高齢者福祉施設、支援施策が充実していない
9．文化施設、スポーツ施設、公民館が充実していない
10．身近な場所での買い物の利便性が低い
11．道路が整備されておらず、渋滞が多く、安全で快適な交通が確保されていない
12．防災、防犯面で不安を感じる
13．地域のつながりが弱い
14．若者が減少、活力がない
15．高齢者の活躍の場が少ない
16．その他（　　）

問１３　これから、春日市で生活するうえでのご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。
同封の封筒に入れて、切手は貼らずに ７月３１日（水） までに
お近くのポストにご投函ください。

（3）転出者アンケート・調査票

転出された方へ

春日市総合戦略に関するアンケート調査

調 査 票

【ご協力をお願いします】

市民の皆さまには日ごろから市政運営について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、人口減少社会に的確に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、「第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和7年度～令和12年度）」の策定作業を行っています。

この調査は、春日市から転出された皆さまが現在のまちづくりの状況や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお伺いし、戦略策定の基礎資料として活用するものです。

一人でも多くの市民の皆さまの声をお聴きし、戦略策定に反映させるだけでなく、今後の春日市政を推進するための貴重な資料といたします。ご記入いただいた調査票はすべて統計処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和6年7月　　春日市長　井上　澄和

⇨ ご記入にあたってのお願い ⇦

1．原則、封筒の宛名のご本人が回答してください。何らかの事情でご本人の回答が難しい場合は、ご家族または日常ご本人のことをよくわかっている方がご回答ください。
2．ご回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（　）内に具体的な内容をご記入ください。
3．ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**7月31日（水）まで**にご投函ください。
4．ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

春日市 経営企画課 企画担当
電話：092-584-1111（代）　FAX：092-584-1145

このアンケート調査はインターネットでも回答できます。
〈アンケート画面へのアクセス方法〉
1）スマートフォン・携帯電話から
右のQRコードを読み取っていただくと、アンケート回答画面へつながります。
2）パソコンから
アドレス（https://questant.jp/q/kasuga03）を直接入力して下さい。
※インターネットで回答いただきましたら、アンケート用紙の返送は不要です。

（QRコード）

あなた自身のことについておたずねします

問１　回答者ご本人について、差し支えない範囲でお答えください。

① 性別	1．男性　　2．女性　　3．その他
② 年代	1．18歳～20歳代　　2．30歳代　　3．40歳代 4．50歳代　　5．60～64歳　　6．65～69歳 7．70～74歳　　8．75歳以上
③ 家族の構成員数（回答者を含む）	1．単身（あなた1人）　　2．2人　　3．3人 4．4人　　5．5人　　6．6人以上
④ 同居者（複数回答可）	1．配偶者　　2．子ども　　3．親　　4．兄弟・姉妹 5．祖父母　　6．孫　　7．いない（ひとり暮らし） 8．その他（　　）
（一同居の有無に関わらず子どものいる方のみ） ⑤ 子どもの人数	未就学児（　　）人　　小学生（　　）人 中学生以上の学生（　　）人　　社会人（　　）人
⑥ 職業	1．正社員　　2．自営業者、家業従事者 3．農林漁業従事者　　4．派遣、嘱託、契約社員 5．パート・アルバイト　　6．学生 7．専業主婦（主夫）　　8．無職（退職者を含む） 9．その他（　　）

春日市からの転出について

問２　転出先の住所はどちらですか。（ご記入ください）

（　　都・道・府・県）（　　市・町・村）

問３　転出前と転出後の住宅の状況をお聞かせください。（それぞれひとつに○）

① 転出前（春日市での住居）		② 転出後
1．戸建て（持家） 2．戸建て（賃貸） 3．集合住宅（持家） 4．集合住宅（賃貸） 5．社宅・寮 6．その他（　　）	⇒	1．戸建て（持家） 2．戸建て（賃貸） 3．集合住宅（持家） 4．集合住宅（賃貸） 5．社宅・寮 6．その他（　　）

問４　春日市には何年お住まいでしたか。（ひとつに○）

１．１年未満	２．1～３年未満	３．３～５年未満
４．５～10 年未満	５．10～20 年未満	６．20 年以上

問５　転出することになったきっかけは主にどなたによるものですか。（ひとつに○）

１．あなた自身
２．配偶者（妻または夫）
３．子ども
４．あなた（または配偶者）の親
５．その他（具体的に：　　）

問６　転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。（ひとつに○）

１．転勤のため	２．就職のため	３．転職のため
４．退職のため	５．進学のため	６．子どもの教育のため
７．結婚のため	８．離婚のため	９．両親や子どもの近くに住むため
10．家族から独立するため		11．住み替え、住宅の理由で
12．一時的な転出（出産や療養等など）		
13．その他（　　）		

問７　春日市は住みやすかったですか。（ひとつに○）

１．非常に住みやすかった
２．どちらかというと住みやすかった
３．どちらかというと住みにくかった
４．非常に住みにくかった

問８　将来、機会があれば春日市に戻りたいというお考えはありますか。（ひとつに○）
また、その理由があれば合わせてお答えください。

１．できれば春日市に戻りたい
２．春日市には戻りたくない
３．都合上、春日市に戻らざるをえない
４．春日市の地域課題が改善されれば戻りたい
５．特に考えていない

→「１」～「３」を回答された方は、上記の理由をお答えください
→「４」を回答された方は改善内容をお答えください

具体的に：

問９　春日市に住んでいて良かったと感じる点をお選びください。（○は３つまで）

1．福岡市に近く、地理的な優位性が高い
2．鉄道やバスなど交通の利便性が高い
3．就労場所が豊富、近い
4．土地が安く住宅が建てやすい
5．子育て環境（支援施策、施設）が充実している
6．教育環境（支援施策、施設）が充実している
7．医療福祉施設、医療福祉施策が充実している
8．高齢者福祉施設、支援施策が充実している
9．文化施設、スポーツ施設、公民館が充実している
10．身近な場所での買い物の利便性が高い
11．道路が整備され、渋滞が少なく、安全で快適な交通が確保されている
12．防災、防犯施策によって安心して暮らせる
13．地域のつながりが強い
14．若者が増加、いきいきしている
15．高齢者の活躍の場が多い
16．その他（　　）

問１０　春日市に住んでいて不満と感じていた点をお選びください。（○は３つまで）

1．福岡市から遠く、地理的な優位性が低い
2．鉄道やバスなど交通の利便性が低い
3．就労場所が少ない、遠い
4．土地が高く住宅が建てにくい
5．子育て環境（支援施策、施設）が充実していない
6．教育環境（支援施策、施設）が充実していない
7．医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない
8．高齢者福祉施設、支援施策が充実していない
9．文化施設、スポーツ施設、公民館が充実していない
10．身近な場所での買い物の利便性が低い
11．道路が整備されておらず、渋滞が多く、安全で快適な交通が確保されていない
12．防災、防犯面で不安を感じる
13．地域のつながりが弱い
14．若者が減少、活力がない
15．高齢者の活躍の場が少ない
16．その他（　　）

問１１　春日市に対するご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。
同封の封筒に入れて、切手は貼らずに ７月３１日（水） までに
お近くのポストにご投函ください。

（４）事業者アンケート・調査票

事業者の方へ

春日市総合戦略に関する アンケート調査

調 査 票

【ご協力をお願いします】

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、我が国は人口減少期にあるとともに都市部への人口集中が進んでいる状況です。本市においても、今後、人口が減少していくことが想定されており、定住人口と雇用の確保は喫緊の課題となっています。

このため、本市では産業の振興及び雇用の促進等を図るため、「第３期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和７年度～令和１２年度）」の策定作業を行っています。

このアンケート調査は、市内に立地する事業者の皆様に市内での企業活動における特徴をお聞きし、戦略策定に反映させるだけでなく、今後の市内における産業振興や雇用、居住のあり方を考えるための貴重な資料といたします。ご記入いただいた調査票はすべて統計処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和６年７月　　春日市長　井上　澄和

☞ ご記入にあたってのお願い ☜

1．お答えは、経営者または経営全体が分かる方にご記入をお願いいたします。
2．ご回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（　）内に具体的な内容をご記入ください。
3．ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて **７月３１日（水）まで** にご投函ください。
4．ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

春日市 経営企画課 企画担当
電話：092-584-1111（代）　FAX：092-584-1145

このアンケート調査はインターネットでも回答できます。
〈アンケート画面へのアクセス方法〉
1)スマートフォン･携帯電話から
右のQRコードを読み取っていただくと、アンケート回答画面へつながります。
2)パソコンから
アドレス（https://questant.jp/q/kasuga04）を直接入力して下さい。
※インターネットで回答いただきましたら、アンケート用紙の返送は不要です。

（QRコード）

貴事業所の概要についてお伺いします

問１　貴事業所について、あてはまる番号に○印をつけてください。

① 会社形態	１．単独の事業所　　２．本社・本店 ３．支社・支店（本社・本店所在地：　　）
② 資本金	１．100万円未満　　２．100～300万円未満 ３．300～500万円未満　　４．500～1,000万円未満 ５．1,000～3,000万円未満　　６．3,000～5,000万円未満 ７．5,000万円～１億円未満　　８．１億円以上
③ 業種	１．建設業　　２．食料品製造業 ３．印刷・同関連製造業　　４．金属製品製造業 ５．一般機械器具製造業　　６．その他製造業 ７．電気・ガス・水道業　　８．情報通信業 ９．運輸業　　10．卸売業　　11．小売業 12．金融・保険業　　13．不動産業　　14．飲食業 15．宿泊業　　16．医療・福祉サービス業 17．教育・学習支援サービス業　　18．複合サービス業 19．その他サービス業
④ 従業員数 （7月現在の人数）	従業員総数（　　）人　うち、正規社員数（　　）人 ※ 正規社員はパート、アルバイト、契約・派遣社員以外の社員
⑤ 春日市内での事業開始からの期間	１．1年未満　　２．１～３年未満　　３．３～５年未満 ４．５～10年未満　　５．10～15年未満　　６．15～20年未満 ７．20～30年未満　　８．30～50年未満　　９．50～100年未満 10．100年以上
⑥ 主な取引先の立地場所	１．春日市内　　２．福岡県内　　３．九州圏内 ４．全国　　５．海外 ６．その他（　　）

春日市内での事業活動について

問２　事業活動を行う上で、春日市は事業活動が行いやすいですか。（ひとつに○）

１．事業が行いやすい　　２．事業が行いにくい　　３．どちらとも言えない

問３　事業活動を行う上での春日市の強み（メリット）は何ですか。（○は３つまで）

１．取引先が近い
２．流通コストが安い
３．市場規模が大きい
４．同業者間で仕事の融通が容易
５．異業種間で仕事の融通が容易
６．交通の便が良い
７．充分な事業用地の確保ができる
８．企業間の情報交換が容易
９．人件費が安い
10．地価、家賃が安い
11．原材料の入手が容易
12．競合する他社が少ない
13．土地利用の規制が少ない
14．一般事務員、社員等の確保が容易
15．パート、アルバイトの確保が容易
16．専門技術者、研究者の確保が容易
17．産業支援機関が充実
18．研究機関がある
19．欲しい情報が入手できる
20．周りの人間関係が良い
21．生活環境が良い
22．大都市に近い
23．その他（　　）

問４　事業活動を行う上での春日市の弱み（デメリット）は何ですか。（○は３つまで）

１．取引先が遠い
２．流通コストが高い
３．市場規模が小さい
４．同業者間で仕事の融通が困難
５．異業種間で仕事の融通が困難
６．交通の便が悪い
７．充分な事業用地が確保できない
８．企業間の情報交換が困難
９．人件費が高い
10．地価、家賃が高い
11．原材料の入手が困難
12．競合する他社が多い
13．土地利用の規制が厳しい
14．一般事務員、社員等の確保が困難
15．パート、アルバイトの確保が困難
16．専門技術者、研究者の確保が困難
17．産業支援機関が不十分
18．研究機関がない
19．欲しい情報が入手できない
20．周りの人間関係が悪い
21．生活環境が悪い
22．大都市から離れている
23．その他（　　）

問５　今後の事業継続についてどうお考えですか。（ひとつに○）

１．現在地又は春日市内で規模を拡張	５．海外に移転する
２．現在地又は春日市内で現状を維持	６．廃業する
３．現在地又は春日市内で規模を縮小	７．未定、わからない
４．春日市外に移転する	８．その他（　　）

▶問５の「４．市外に移転する」を選んだ方のみお答えください

問５－１　移転先は以下のどこですか。（ひとつに○）

１．福岡市
２．筑紫地域（筑紫野市、大野城市、太宰府市、那珂川市）
３．糟屋地域（古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町）
４．宗像地域（宗像市、福津市）
５．糸島地域（糸島市）
６．上記を除く、福岡県内
７．その他（　　）
８．未定

問６　春日市内での事業活動にあたり、行政に求める支援は何ですか。（○は３つまで）

１．経営に関する相談	10．企業マッチング機会の提供
２．公的融資による資金支援	11．技術的支援
３．販路開拓に関する支援	12．技能・技術継承への支援
４．研究開発に関する支援	13．公的支援策等の情報提供
５．大学等との連携支援	14．経営セミナー、研修
６．企業同士の連携の支援	15．人材育成
７．異業種連携の支援（農商工連携）	16．人材確保
８．新分野進出時の支援	17．特にない
９．海外進出時の支援	18．その他（　　）

働き方改革について

問７　貴事業所の「働き方改革」への取組状況をお答えください。（ひとつに○）

1．意識して取り組んでいる
2．様子を見ながら徐々に取り組んでいる
3．今後取り組む予定（方向性が定まり、実施に向けた準備をしている）
4．現時点では具体的な取組の予定はない

問８　「働き方改革」の具体的な取組として、どのようなことを実施または予定されていますか。（①～⑭のそれぞれあてはまる実施状況に○をつけてください）すでに実施しているものは、過去５年で新たに導入した年についてもお答えください。

		既に実施している	→ 過去５年で新たに導入した年（2020～2024年）	今後取り組む予定	取り組む予定はない
取組内容	① フレックスタイム制、勤務間インターバル制度※1 など勤務体系の多様化	1	2	3	4
	② 短時間勤務制度	1	2	3	4
	③ テレワーク（在宅勤務）※2	1	2	3	4
	④ 時間外勤務の縮減	1	2	3	4
	⑤ 年次有給休暇の取得推進	1	2	3	4
	⑥ 育児休暇の取得促進	1	2	3	4
	⑦ 契約社員の育児休暇の取得促進	1	2	3	4
	⑧ 女性雇用の強化	1	2	3	4
	⑨ 女性管理職の積極登用	1	2	3	4
	⑩ 勤務地限定正社員制度※3 の導入	1	2	3	4
	⑪ 非正規雇用従業員の正規雇用化	1	2	3	4
	⑫ 同一労働同一賃金※4 の実現	1	2	3	4
	⑬ 副業を認める	1	2	3	4
	⑭ その他（具体的に：　　）	1	2	3	
→ ⑮ 特に取り組んでいない		1　（上記の取組を特に取り組んでいない場合は○）			

※1 勤務間インターバル制度：勤務終了後、一定時間以上の「休息時間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保する制度
※2 テレワーク（在宅勤務）：従業員が会社に出社せず、自宅など自由な場所で仕事をする働き方のこと
※3 勤務地限定正社員制度：転勤するエリアが限定されていたり、転居を伴う転勤がなかったり、あるいは転勤が一切ない雇用制度
※4 同一労働同一賃金：職務内容が同じであれば（同一労働）同じ額の賃金を従業員に支払うべきという概念

子育て世代の社員の勤務や雇用状況について

問９　事業所内に保育所等を設置し、子どもを預けて勤務することについて（ひとつに○）
（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）

1．すでに実施している
2．敷地内に新築してやってみたい
3．既存の施設等を改修してやってみたい
4．他の事業所と合同でやってみたい
5．実施できない、やるつもりはない

問１０　会議室等を利用した少人数制の託児室を設置し、子どもを預けて勤務することについて
（ひとつに○）（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）

1．すでに実施している
2．保育士等の派遣があればやってみたい
3．ノウハウ等の提供があればやってみたい
4．実施できない、やるつもりはない

問１１　職場に子どもを連れて出勤（子連れ出勤※5）して、勤務することについて（ひとつに○）

1．すでに実施している
2．これまでに検討、または検討している
3．ノウハウ等の提供があれば可能、または前向きに検討したい
4．実施できない、またはするつもりはない

※5 子連れ出勤：父や母が子どもと一緒に出勤し、社員のための事業所内保育等に預けるのではなく、そのまま子どもが側にいながら仕事をするもの。

問１２　男性の育児休暇等の取得について、あてはまる番号に○をつけてください。また、すでに実施している取組のうち、過去５年の実績がある場合もお答えください。

取組内容	男性社員が育児休暇等を取得している・したことがある	一過去5年で実施した（2020～2024年）	男性社員が取得した事例はないが、推進している・していきたい	男性社員の取得を特に推進するつもりはない
① 育児休暇	1	2	3	4
② 育児のための部分休業・短時間勤務	1	2	3	4

5

問１３　子育て世代の社員の活用や、活躍してもらう上での課題（最もあてはまるものを２つまで○）

１．出産、育児休暇等で職場にいない期間が長くなり、その間の人員の補充が必要
２．出産、育児休暇等の社員に支払う賃金が負担となっている
３．仕事と子育ての両立のための就労環境を整える必要がある
４．特に問題はなく、十分に活躍できている
５．その他（　　）

現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進について

問１４　貴事業所の人材は充足していますか。（ひとつに○）

１．人材は不足している <一問 14-1 へ>　　２．人材は充足している <一問 15 へ>

問１４の「１．人材は不足している」を選んだ方のみお答えください

問１４－１　現在職に就いていない女性や高齢者の新規採用についてお答えください。（ひとつに○）

１．現在職に就いていない女性や高齢者の新規採用に関心がある
２．現在職に就いていない女性や高齢者の新規採用には関心がない
３．わからない

問１５　現在職に就いていない女性や高齢者の雇用推進の状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、すでに実施している取組のうち、過去５年の実績がある場合についてもお答えください。

取組内容	すでに実施している	→過去５年で実施した（2020～2024 年）	推進している、または検討したい	推進するつもりはない
① 女性の再雇用制度の導入	1	2	3	4
② 定年制の改定・廃止や定年後の継続雇用の導入	1	2	3	4
③ 高年齢者の新規採用	1	2	3	4

問１６　女性や高齢者雇用拡大に向けて必要と思われる支援策についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．高齢者雇用に係る人件費、環境整備等に要する助成
２．健康管理対策への支援
３．女性や高齢者の活躍事例の紹介
４．雇用に関するセミナーや情報提供
５．職業訓練
６．わからない
７．その他（　　）

新技術・高度技術の導入や国際化について

問１７　ＩｏＴ※6、人工知能（ＡＩ）等の新技術・高度技術の導入状況、利用意向について、あてはまる番号に○をつけてください。（ひとつに○）

1．すでに導入し活用している	2．関心があり、今後活用したい
3．活用したいが方法や効果がわからない	4．活用すべき分野がない
5．導入予定はない	

※6 IoT：Internet of Things の略。日本語で「モノのインターネット」と言われ、様々なモノがインターネットに接続され、互いに情報交換をするモノのネットワークのこと。

問１７の「２」～「５」を選んだ方のみお答えください

問１７－１　新技術の活用に向けた課題としてあてはまる番号に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

1．自社への事業の活用イメージがわかない	2．技術・ノウハウを持った人材が不足している
3．必要なコストの負担が大きい	4．費用対効果が望めない
5．連携相手を探すのが難しい	6．適切な相談相手がみつからない
7．新技術について理解していない	8．特に課題はない

問１８　貴事業所での外国人の雇用状況をお答えください。（ひとつに○）

1．雇用している　→（正社員：　　人）（アルバイト・パート：　　人）
2．雇用を検討している
3．雇用していたが今はいない
4．雇用していない

問１８の「１」～「３」を選んだ方のみお答えください

問１８－１　外国人を採用する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．国籍に関係なく、優秀な人材を確保するため。
2．業務上、外国語の使用が必要なため
3．事業の国際化に対応するため
4．職場の意識改革、活性化のため
5．人材不足に対応するため
6．その他（　　）

アンケートは以上です。
調査にご協力いただきありがとうございました。
同封の封筒に入れて、切手は貼らずに 7月31日（水） までに
お近くのポストにご投函ください。